

中土佐町国民健康保険保健事業実施計画  
第2期データヘルス計画  
中間評価報告書

令和3年3月

中土佐町

国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）

第2期 中間評価報告書

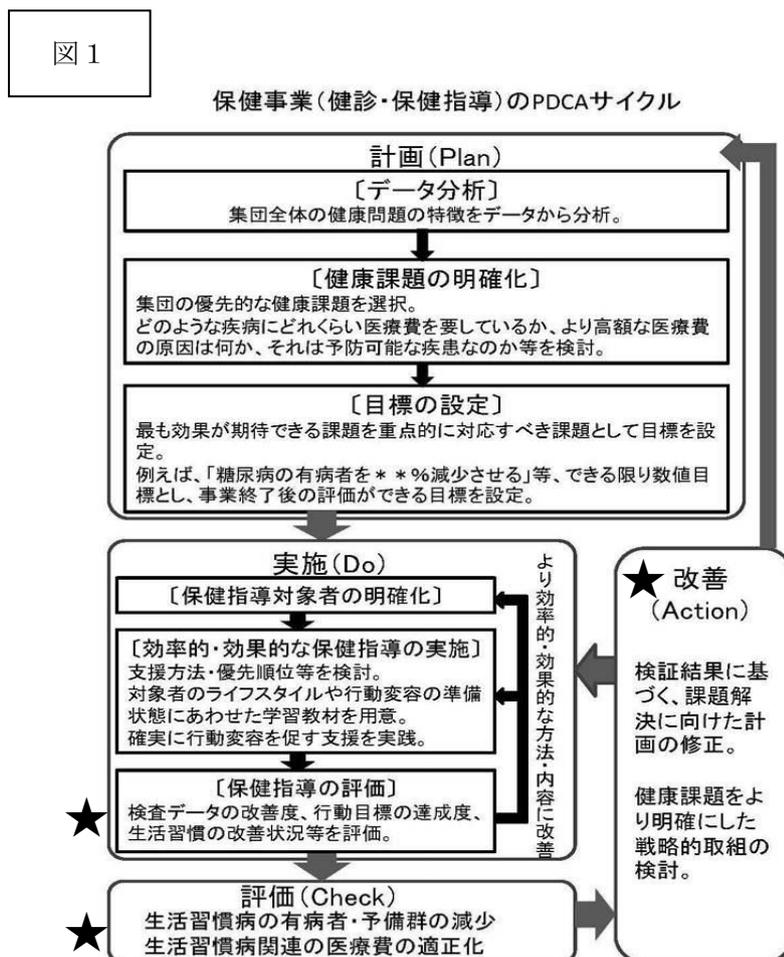
もくじ

1. 評価・見直しの目的	P. 3
2. 評価方法	P. 3
3. 個別保健事業実施計画と個別保健事業評価計画 平成29年度 平成30年度 令和元年度	P. 4
4. 経年評価指標	P. 21
5. 指標の経年データ（様式1）と判定	P. 48
6. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る介護情報	P. 52
7. 事業体系図・他事業との連動（様式2）の加筆修正	P. 54
8. 中間評価の結果をふまえた課題整理、副指標の設定・見直し	P. 55
9. 国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）第2期 中間見直しにおける概要図	P. 56

## 1. 評価・見直しの目的

保健事業実施計画（データヘルス計画）の中間・最終年度における目的・目標の達成状況と評価結果から課題を整理し、次期計画を修正改善することで、PDCA サイクルに沿った保健事業の実施を図ることを目的とする。（図1★印）

また、この中間評価報告書を通じて庁内や関係機関・団体との連携を強化するとともに、共通認識をもって引き続き課題解決に取り組むものとする。



出典：標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】

## 2. 評価方法

「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）で用いられた「目標の評価」の方法で行う。策定時と直近値を比較したうえで、A（目標値に達した）、B（目標値に達していないが、改善傾向にある）、C（変わらない）、D（悪化している）、E（判定不能）といったように複数のレベルで評価する。

### 3. 個別保健事業実施計画と個別保健事業評価計画

#### 平成 29 年度

平成29年度個別保健事業計画									
事業名	目的	目標	対象者	事業内容	方法	実施者	期間	場所	評価
(30歳代健診) (発症予防健診)	将来、生活習慣病にならないために、若い時から健診受診を勧め、健診を受ける習慣をつける	30歳代は年に1回生活習慣病に罹患する人が増えている H28年度 30人 H29年度 30人	①町内在住 ②30～39歳 ③勤務先等では健康診査を受ける機会のない方 *①～③のすべてに該当する方	30歳代健診、追加項目の実施	1、対象者への周知：個別通知、広報等 2、30歳代健診、追加項目の実施、健康情報手帳の配布(年間2回)※追加項目については年間1回 3、受診者への結果通知 4、健診結果が要精密、要医療者へは、来所により、受療勧奨及び保健指導を行う ・未受診者へは、再度来所日を設定する又は訪問等で受療勧奨及び保健指導を行う(受療後は、保健師へ連絡をいただく) 5、受療勧奨を行った方の受療結果の確認(内服状況などレセプトで確認) 6、未受診者へ、電話等で受療勧奨を行う	健康福祉課 健康増進担当	H28～H29年度(年間2回)	保健センター	受診者数 継続受診者数 健診結果
特定健診受診率の向上 (発症予防率の向上)	特定健診の受診率を向上させ、生活習慣病の発症・重症化を予防することで、健康寿命を延伸する	特定健診の重要性が分かり、年に1回特定健診を受診する人が増える H28年度47.7% H29年度50.7%	40歳から74歳までの中土、佐町国保加入者	特定健診未受診者への訪問、電話、ハガキ等での勧奨	1、未受診者への訪問(40～64歳) 2、未受診者への電話勧奨の実施(町民環境課及び健康福祉課職員) 3、郵便ハガキの送付 4、広報、回覧、防災無線等での周知 5、健康づくりサポーターからの啓発	町民環境課 国保担当保健師 健康福祉課 健康増進担当保健師	H28～H29年度	被保険者宅	受診率 未受診者への訪問数
(特定健診指導・重症化予防) (発症予防率の向上)	動機づけ支援：対象者が自らの生活習慣を振り返り、行動目標を立てることができ、終了後、対象者がすぐに実践(行動)に移り、その生活が継続できる 積極的支援：対象者が自らの生活習慣を振り返り、行動目標を設定し、目標達成に向けた実践(行動)に取り組みながら、終了後にはその生活が継続できる	動機づけ支援：対象者本人が自分の生活習慣の改善点等を自覚し、自ら目標を設定し行動に移すことができる 積極的支援：対象者自身が自身の身体に生じている変化への理解を促すとともに、実践可能な行動目標を対象者自身が選択できる H28年度15.7% H29年度18.7%	特定健診の受診結果により健康の保持に努める必要がある方(特定健診指導対象者)	特定健診指導対象者への勧奨 特定健診指導の実施	1、特定健診指導対象者の抽出 2、対象者への個別通知 3、特定健診指導の実施 ・申込み者には、来所又は訪問により特定健診指導の実施 ・申込みのない方へは、対象者宅への訪問又は電話により勧奨を行い、希望者へは特定健診指導を行う	町民環境課 国保担当保健師 健康福祉課 健康増進担当保健師	H28～H29年度	被保険者宅 保健センター 上ノ加江支所 大野見保健福祉センター	特定健診指導実施率 特定健診指導終了率
ハイリスク者の受療勧奨事業(重症化予防)	医療機関への受療が必要な者が適切な検査・治療を受けることができ、生活習慣病の重症化を予防する	1、高血圧の改善 2、血糖コントロール不良者の割合の減少 3、脂質異常症の減少 4、肝機能異常者の減少 5、腎機能異常者の減少	1、最大血圧180以上、最小血圧110以上 2、HbA1c7.4以上 3、LDLコレステロール180以上 4、GOT100以上 5、GPT100以上 6、血色素量 男性10.9以下、女性9.9以下 7、尿酸10.0以上	1、個別面談による受療勧奨および保健指導(40歳から74歳までの中土、佐町国保加入者)	[集団健診] 1、健診結果報告会の案内通知 2、健診結果報告会の実施 ・来所者に対して、治療の必要性を説明し、医療機関を受療勧奨及び保健指導を行う ・健診結果報告会未受診者へは、再度来所日を設定する又は訪問等で受療勧奨及び保健指導を行う(受療後は、保健師へ連絡をいただく) 3、受療勧奨を行った方の受療結果の確認(内服状況などレセプトで確認) 4、未受診者へ、電話等で受療勧奨を行う [個別健診] 1、対象者の受療結果の確認(内服状況などレセプトで確認) 2、未受診者に対し、対象者宅を訪問し、治療の必要性を説明し、医療機関を受療勧奨及び保健指導を行う	健康福祉課 健康増進担当保健師 町民環境課 保健師	H28～H29年度	保健センター 上ノ加江支所 大野見保健福祉センター 被保険者宅	ハイリスク対象者の医療機関受療率 ハイリスク対象者のフォローアップの実施率
			1、最大血圧160-179、最小血圧100-109 2、HbA1c6.5-7.3 3、LDLコレステロール140-179 4、中性脂肪(空腹時)300以上、(食後4時間)未満400以上 5、HDL34以下 6、GOT61-99 7、GPT61-99 8、γ-GTP101以上 9、血色素量 男性10.0-11.0、18.0以上、女性10.0-11.0、16.0以上 10、尿酸9.0-9.9 11、eGFR49.9以下 12、眼底検査 Sheie-S 2以上、Sheie-H 2以上、K-W II a以上、Scott 1b期以上	1、個別面談による受療勧奨および保健指導(40歳から59歳までの中土、佐町国保加入者)	[集団健診] 1、健診結果報告会の案内通知 2、健診結果報告会の実施 ・来所者に対して、治療の必要性を説明し、医療機関を受療勧奨及び保健指導を行う ・健診結果報告会未受診者へは、再度来所日を設定する又は訪問等で受療勧奨及び保健指導を行う(受療後は、保健師へ連絡をいただく) 3、受療勧奨を行った方の受療結果の確認(内服状況などレセプトで確認) 4、未受診者へ、電話等で受療勧奨を行う [個別健診] 1、対象者の受療結果の確認(内服状況などレセプトで確認) 2、未受診者に対し、対象者宅を訪問し、治療の必要性を説明し、医療機関を受療勧奨及び保健指導を行う	健康福祉課 健康増進担当保健師 町民環境課 保健師	H28～H29年度	保健センター 上ノ加江支所 大野見保健福祉センター 被保険者宅	ハイリスク対象者の医療機関受療率 ハイリスク対象者のフォローアップの実施率

事業評価計画				個別保健事業名 H29年度 30歳代健診（発症予防）				
評価の 仕組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価 時期	評価 体制	評価結果	今後の対策
アウトカム	【受診勧奨】 1 対象者のうち、何人が受診したか ①新規受診者が、何人受診したか ②28年度受診者のうち、何人が受診したか(2年継続) ③27-28年度受診者のうち、何人が受診したか(3年継続)	1 受診者数の合計 ① 新規受診者数 ② 28年度受診者のうち、今年度の受診者数 ③ 27-28年度受診者のうち、今年度の受診者数	1 受診者数 計20人 ① 未設定 ② 28年度受診者が全員受診 ③ 27-28年度受診者が全員受診	1 健診受診者数を集計する	H29.10月頃	保健福祉活動再構築 データヘルスチーム(担当者) 健康増進係定例会	1 25人(7月7人、10月18人) ①12人(うち3人は30年度対象外) ②11人(③と重複あり) ③4人	・目標の受診者数は大きく下回った。 ・30歳代健診を受診してくれるメンバーが固定してきており、一部の方は健診受診の習慣が定着してきたかと感じている。健診を受けたことが無い方へのPRが必要。 ・集団健診は半日の定員(特定・後期・若者合わせて)が100名(協会さんより)なので、30歳代健診としての枠は101名程度を考えると、ここ3年集団健診受診者が増えている印象もあり(特に1回目)、特定健診の受診勧奨の進捗・予約状況も併せてみていく必要がある。
	【保健指導】 1 28年度要精密者のうち、何人が受診したか (医療機関受診もしくは今年度30歳代健診受診) 2 要精検・要医療者のうち、何人に保健指導を実施したか	1 前年度要精密者のうち、医療機関もしくは30歳代健診の受診者数 2 保健指導対象人数、保健指導実施人数	1 前年度要精密者が全員受診(前年度要精密者4人) 2 今年度要精検・要医療者 全員に実施(未所/訪問)	1 医療機関・健診受診者数を集計する 2 保健指導対象者数・実施者数を集計する	H29.10月頃 H29.8月.11月	保健福祉活動再構築 データヘルスチーム(担当者) 健康増進係定例会	1 28年度要精密者4人のうち、 ・2人が今年度の健診を受診 ・2人が医療機関で再検査済(服薬なし) 2 対象1名に対し、8/19に未所対応	
アウトプット	1 スケジュール通りに周知を行えたか ①商工会懇談会で周知を行う(チラシの配布・説明) ②JA青年部会で周知を行う(チラシの配布・説明) ③広報への記事掲載時期(6月号)、内容は適切か ④勧奨ハガキの送付時期(5月)、内容は適切か 【受診勧奨】 2 電話による再勧奨を行えたか (28年度受診者のうち、ハガキ勧奨で申込がなかった者)	①チラシの内容 ②チラシの内容 ③広報掲載時期、内容 ④ハガキの送付時期、内容	1 適切な時期に周知を行う ①4/20の懇談会で周知を行う ②〇月頃周知を行う ③広報への啓発記事の掲載(6月号) ④5月上旬に送付、受診歴がある方へは継続受診の必要性の文言を追加 2 28年度受診者のうち、ハガキ勧奨で申込がなかった者 全員	①配布資料を課内(保健班)で回覧 ②配布資料を課内(保健班)で回覧 ③掲載内容を課内(保健班)で回覧 ④ハガキの内容を課内(保健班)で回覧 2 電話による勧奨者数を集計する	H29.10月頃 H29.10月頃	保健福祉活動再構築 データヘルスチーム(担当者) 健康増進係定例会	1 概ね計画通りに実施できた ①懇談会へは出席できず、チラシの配布のみを依頼 ②未実施 ③広報6月号に啓発記事を掲載 ④5/15に発送 2 7月健診に申込後未受診となっていた3名+早めに10月健診を申込んだ6名に電話勧奨⇒8名が受診	
	【保健指導】 2 電話による受診勧奨を行えたか ※28年度要精密者等の受診確認 3 要精検・要医療者に、未所/訪問にて保健指導を実施できたか	2 電話による受診勧奨者数 3 保健指導実施人数	2 前年度要精密者 全員 3 今年度要精検・要医療者 全員	2 電話による受診勧奨者数を集計する 3 保健指導実施人数を集計する	H29.7月.10月頃 H29.11月頃	保健福祉活動再構築 データヘルスチーム(担当者) 健康増進係定例会	2 未実施 受診忘れ防止のための電話勧奨を実施:9名 3 対象者1名に対し、8/19の結果報告会で対応	
	1 健診実施日程(平日、休日)は適切だったか 2 健康情報手帳を配布できたか 3 健康情報手帳を活用してもらえたか 4 健診結果を1か月以内にお返しできたか	1 アウトカム(受診者数) 2 新規受診者数への配布数 3 健康情報手帳の活用状況 4 健診結果送付時期	1 アウトカム(受診者数) 2 新規受診者全員に配布 3 問診時に活用状況を確認できる 4 健診終了後1ヶ月以内	1 アウトカム(受診者数) 2 配布数を集計する 3 問診時に確認する 4 担当者間(保健師・事務)で確認する	H29.10月頃 H29.10月頃 H29.10月頃 H29.8月.11月	保健福祉活動再構築 データヘルスチーム(担当者) 健康増進係定例会	1 休日の方が受診者が多い (7月平日:7名、10月休日:18名) 2 一部配布できなかった人もいた 3 手帳を活用している人は少ない 4 郵送分は1ヶ月以内に通知できた (7月:8/7発送、10月:10/24発送)	
ストラクチャー	1 健診を実施するための予算が確保できたか 2 健康情報手帳の作成時間を確保できたか 3 関係機関との連携はうまくいったか 4 会場の設定は適切だったか 5 健診実施人員に不足がなかったか	1 予算の確保・執行状況 2 事業担当もしくは臨時職員の作業時間 3 総合保険協会、国保連、高知大学等への依頼時期、依頼内容 4 健診実施において十分なスペースか 5 健診実施人員の不足はないか	1 健診を実施するための予算が確保できている (国保受診者の委託料・郵送料は国保の保健事業助成へ) 2 業務時間内に作業を完了することができる 3 スムーズに健診を実施することができる 4 スムーズに健診を実施することができる 5 有資格大学生を確保することができる	【中間評価・最終評価】 1 管理職を含むデータヘルスチームでの検討 2~5 事業担当・保健事務職員の話しあい	【中間・最終】 H29.12月	保健福祉活動再構築 データヘルスチーム(管理職含む) 健康増進係定例会	1 予算が確保できた 2 業務時間内に作業が完了できた 3 概ね計画通りに健診を実施することができた 4 概ね計画通りに健診を実施することができた 5 7月は2名、10月は4名の学生を確保でき、人員は不足なく運営できた (平日は学生の確保が難しい)	



事業評価計画				個別保健事業名 H29年度 特定保健指導実施率の向上（発症予防・重症化予防）				
評価の枠組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策
アウトカム	1. 特定保健指導利用者の割合の増加★ 2. 各対象者に対する行動目標は適切に設定されたか 3. 対象者の健康状態の改善	1. ①実施率(終了者数/対象者数) ②終了率(終了者数/利用者数) 2. ①行動目標達成率 ②プログラム参加継続率 3. ①指導前の腹囲・体重・血圧・生活習慣 ②終了時の腹囲・体重・血圧・生活習慣	1. ①実施率 18.7% ②終了率 100% 2. 各対象者に対する行動目標が適切に達成される 3. 特定保健指導終了者の測定値・生活習慣が改善する	1. 法定報告 2. 支援記録、 3. 支援記録、担当栄養士への聞き取り	H30.10月	データヘルス チーム (担当) 保健福祉活動 再構築	1. ①最終的な実施率は法定報告で確認 ②終了者 19名/20名 2. ①脱落者はいない ②脱落者はいない 3. 委託による保健指導の支援記録は まだ受け取っておらず評価出来ない。	・委託回数5回、保健指導委託のポータル ライン3名がなかなか利用に繋がらず、指 導実施まで委託できたのは今年度1回(3 名)のみだった。 ・栄養士による利用動向不達者4名へは 後日町保健師から再度電話。2名が利用に つながった。(電話番号未把握者＝訪問動 向者は0名) ・委託の場合、指導実施場所が久礼地区 に限られるため、上ノ加江・大野見地区の 対象者にはハードルが高い? ・H28特定健診問診票より「保健指導を利 用しない」と答えた割合が町全体で58.7% (久礼:59.6%、上ノ加江73.9%、大野見 38.8%)。 【栄養士倉津野さんからのコメント】 ・町民性が、電話をしても「自分でやるきか まん」「病院にかかっちゃうきかまん」と断ら れることが多く、特定保健指導に該当する ことを深刻に捉えていない(将来予測が ついていない)ようで、支援者としては「今なら 改善出来るのに」と歯がゆい思い。 ・中土佐町とのやりとりで特に不便を感じる ことはない。 ・尼崎市のようなフローチャートを作成し、 結果報告会等で活用してはどうか。 【来年度に向けて】 ・集団健診受診者への利用動向は委託せ ず、結果報告会において初回面接実施に つなげる。 ・特定保健指導対象者への事前通知や指 導媒体の見直し。
アウトプット	1. 利用動向の実施 2. 特定保健指導の実施	1. 利用動向の実施 ①特定保健指導対象者数 ②利用動向実施件数 2. 特定保健指導実施件数 ①動機付け支援実施件数 ②積極的支援実施件数	1. 特定保健指導対象者 全員	1. 対象者名簿、電話動向業務報告書	H30.6月	データヘルス チーム (担当) 保健福祉活動 再構築	【最終評価(H31.3.8)】 1. ①79名 ②79名 2. 特定保健指導の実施 20件 ①動機付け支援 17件 ②積極的支援 3件	
プロセス	1. 対象者の抽出 2. 事前通知の送付 3. 利用動向の実施 ①直営:集団健診結果報告会の実施 ②委託:電話動向の実施 ③直営:訪問動向の実施(電話不通・電話番号未把握等) 4. 動向結果の集約 5. 特定保健指導の実施	1. 対象者の抽出状況 2. 事前通知の送付状況 3. アウトプット(利用動向実施件数) ①結果報告会未所者数 ②通話件数 ③訪問件数 4. ①特定保健指導利用につながった人数 ②特定保健指導未利用者数・未利用理由 5. アウトプット(特定保健指導利用者数)	1. おおむね2ヶ月毎に対象者の抽出が出来ている 2. 対象者抽出後、2週間以内に送付 3. アウトプット(利用動向実施件数) ①集団健診での特定保健指導対象者 全員 ②電話番号把握者 全員 ③電話不通・電話番号未把握者 全員 4. 動向後、未利用者数・未利用理由を把握できる 5. ①対象者に応じた方法で特定保健指導を実施できる ②業務時間内に特定保健指導を実施できる	1. 対象者名簿 2. 対応記録、電話動向業務報告書 3. 電話動向業務報告書 4. 支援記録 5. 支援記録	H30.6月	データヘルス チーム (担当) 保健福祉活動 再構築	1～2. 実施できている 3. 利用動向 79名(対象者全員)	
ストラクチャー	1. 事業実施に必要な予算が確保できたか 2. 事業実施に必要な人員が確保できたか 3. 健診・実施記録の集約方法 4. 委託先への説明内容は適切だったか 5. 保健指導実施者の研修の機会を確保できたか	1. 予算の確保状況 2. 人員 3. ①個人情報適切に管理している ②健診やレセプト情報で評価できる体制を整えている ③特定保健指導の内容について記録を残している 4. 未設定 5. 県等が開催する研修への参加状況	1. 事業実施に必要な予算が確保されている 2. 事業実施に必要な人員が確保されている 3. 評価指標①～③の達成 4. 必要時、委託先と情報共有を実施している 5. 保健指導実施者の研修の機会が確保されている	1～5. 管理職を含むデータヘルsteamの話し合い	【中間評価】 H30.6 【最終評価】 H30.10	データヘルス チーム (管理職)	1～3. 達成できている 4. 適切に管理できている。 5. 保健指導従事者育成研修会に参加	

事業評価計画				個別保健事業名 H29年度 ハイリスク者の受療勧奨事業（重症化予防）				
評価の枠組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策
アウトカム	1 対象者がどれだけ医療機関を受診したか	1 医療機関受診率	1 医療機関受診率 50%	1 レセプト情報、対応記録を確認	H30.6月	データヘルスチーム（担当者） 保健福祉活動再構築	1 H29年度ハイリスク対象者69名(30年度でハイリスク該当かつ保健指導した人数) 上記のうち、生活習慣病で医療機関を受診した人は58名 よって、受診率は84%	<ul style="list-style-type: none"> <li>「今回の健診結果、過去の勧奨結果」「過去の健診結果」「訪問履歴」が出力できるシステムが整理され、問題なく運用されている。</li> <li>【武田保健師からのコメント】</li> <li>・健診結果の「要医療」「要精検」「要再検」についての理解が不十分。</li> <li>・特定健診受診により、生活習慣病の重症化予防につながることを理解が出来ていない。</li> <li>・健診は必ず受診するが、医療機関での精密検査は受けられないという頑固な方がいる。</li> <li>・健診結果で「要医療」(LDL180~200)となっても、医療機関では内服を勧められないことが多く、受診勧奨の難しさを感じる。</li> <li>・保健指導では、パンフレットや言葉での説得だけで実践に結びつけることが難しい、取り組みのきっかけや楽しみながら継続する方法としては実践の場提供も必要。</li> <li>・訪問を重ねてゆつりお話を聞くことで、対象者自身が生活習慣の改善点に気づき、改善方法を一緒に考えることができる。→生活習慣改善の必要性の理解が得られ、その後の健診結果を持参して来庁される方もいた(検査値の説明希望あり)。</li> </ul>
	2 28年度対象者のリスク因子が改善したか	2 リスク該当項目の改善の有無	3 リスク該当項目の改善率 50%	2 28年度対象者の、今年度の健診結果を確認する			2 28年度ハイリスク該当者7名(28年度でハイリスク該当かつ保健指導した人数) 上記のうち、H29年度特定健診受診者は5名 そのなかでH30年度ハイリスク該当者0名 よって、H29年度ハイリスク該当者7名のうちハイリスク非該当になった方は5人であり、改善率は71.4パーセント。	
アウトプット	1 受診勧奨(保健指導)を行う★ ①集団健診受診者 ・健診結果報告会の実施 ②個別健診受診者 ・嘱託保健師による面接(TEL/訪問)	1 受診勧奨者数 ①集団健診受診者 ・健診結果報告会への来所者数 ②個別健診受診者 ・嘱託保健師による対応数	1 受診勧奨(保健指導)の実施 対象者数 60名程度 勧奨者数 60名程度(対象者 全員)	1 対応記録を確認	H29.12月 H30.6月	データヘルスチーム（担当者） 保健福祉活動再構築	1 ① 集団健診受診者のうち、受診勧奨(保健指導)対象者3名。健診結果報告会を行い、3名とも保健指導を行った。 1 ②対象者数 嘱託保健師による面接(TEL/訪問) 66件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイリスク者を取り巻く地域の中での個々の生活状況を十分把握し、その方に向けた生活習慣改善の保健指導をすることが大切。まず、顔と顔の見え関係づくりを作るためには、家庭訪問が有効。</li> <li>【来年度に向けて】</li> <li>◎引き続き、武田保健師へ訪問・電話等による保健指導・受診勧奨を依頼する。</li> <li>・健診結果が本人の手元に届いてから、早い時期に受診勧奨や生活習慣改善に向けての対応を行う(健康意識が高まっている時に対応する)。結果報告会や訪問で、正しいデータの見える関係づくりのデータの推移を説明する。</li> <li>・生活習慣改善(食生活や運動等)に向けての実践の場を設定する。</li> <li>・ハイリスク者個々の特性に応じて、関係機関(関係職種)との連携を密にとる。</li> <li>◎問診・検査項目の変更に対応するため、ハイリスク者管理台帳の修繕が必要(南部さんに引継)。</li> </ul>
	1 結果を把握して、レセプトを確認したうえで対象者を選定することができたか ①集団健診受診者 ②個別健診受診者 2 対象者への案内文書が送付できたか (集団健診受診者のみ、結果報告会の案内送付) 3 個人特性を把握したうえで、受診勧奨(保健指導)を実施できたか 4 対応記録を確認し、チームで支援の方向性・継続支援の必要性を判断できたか 5 医療機関の受診状況を把握できたか	1 対象者の選定 ①健診終了後1ヶ月半以内 ②毎月 2 対象者への案内文書の送付時期 3 アウトカム(医療機関受診率) 4 対応記録に基づくケース会の開催 5 受診状況の把握 ①受診状況をレセプトで確認する ②受診医療機関、受診日を記録する	1~5 評価指標の達成状況	1~5 勧奨判断整理表、対応記録をデータヘルsteamで確認	H29.12月 H30.6月 H29.12月 H30.6月 H30.6月	データヘルスチーム（担当者） 保健福祉活動再構築	1 ①・② レセプトを確認したうえで、対象者を選定している。 2 29年度は対象者は直接、武田保健師が訪問するといった形をとったので案内は送付していない。 3 ファイルで個人特性等を記録しており、記録を確認したうえで受診勧奨(保健指導)をしている。 4 訪問前に打ち合わせをし、判断している。 5 訪問後、保健師が対象者のレセプトを確認し、受診医療機関、受診日等を記録している。	
ストラクチャ	1 事業実施人員は妥当だったか 2 予算の確保ができたか 3 次年度も引き続き管理できる体制か	1 次年度の事業実施に向けて、専門職(保健師)の不足状況 2 予算の確保 3 システムの運用	1 受診勧奨(保健指導)実施人員の不足がない 2 事業実施に必要な予算が確保できる 3 記録を管理するシステムが整理され、運用されている	1~3 データヘルsteam(管理職含む)での話し合い	H30.6月	データヘルスチーム(管理職含む)	1 実施人員については、増員したいところだが、H30年度はH29年度の体制のまま(嘱託保健師1名)。 1 30年度の嘱託保健師・車のリース代の予算は確保できた。 3 TKPIにより、データは整理し、運用できているが、改良する必要がある。	

# 平成 30 年度

平成30年度個別保健事業計画									
事業名	目的	目標	対象者	事業内容	方法	実施者	期間	場所	評価
(30歳予診)	将来、生活習慣病にならないために、若い時から健診受診を勧め、健診を受ける習慣をつける	30歳代は年に1回生活習慣病に罹患した健診を受ける習慣がついている H29年度 30人 H30年度 30人	①町内在住 ②30～39歳 ③勤務先等では健康診査を受ける機会のない方 *①～③のすべてに該当する方	30歳代健診、追加項目の実施	1. 対象者への周知: 個別通知、広報等 2. 30歳代健診、追加項目の実施、健康情報手帳の配布(年間2回+追加項目については年間1回) 3. 受診者への結果通知 4. 健診結果が要精密、要医療者へは、末所により、受療動奨及び保健指導を行う ・未受診者へは、再度末所日を設定する又は訪問等で受療動奨及び保健指導を行う(受療後は、保健師へ連絡をいただく) 5. 受療動奨を行った方の受療結果の確認(内服状況などレセプトで確認) 6. 未受療者へ、電話等で受療動奨を行う	健康福祉課 健康増進担当	H29～H30年度(年間2回)	保健センター	受診者数 継続受診者数 健診結果
特定健診受診率の向上	特定健診の受診率を向上させ、生活習慣病の発症・重症化を予防することで、健康寿命を延伸する	特定健診の重要性が分かり、年に1回特定健診を受診する人が増える H29年度47.7% H30年度50.7%	40歳から74歳までの中土佐町国保加入者	特定健診未受診者への訪問、電話、ハガキ等での動奨	1. 未受診者への訪問(40～64歳) 2. 未受診者への電話動奨の実施(町民環境課及び健康福祉課職員) 3. 動奨ハガキの送付 4. 広報、回覧、防災無線等での周知 5. 健康づくりサポーターからの啓発	町民環境課 国保担当保健師 健康福祉課 健康増進担当保健師	H29～H30年度	被保険者宅	受診率 未受診者への訪問数
(特定保健指導実施率の向上)	動機づけ支援: 対象者が自らの生活習慣を振り返り、行動目標を立てることができ、終了後、対象者がすぐに実践(行動)に移り、その生活が継続できる  積極的支援: 対象者が自らの生活習慣を振り返り、行動目標を設定し、目標達成に向けた実践(行動)に取り組みながら、終了後にはその生活が継続できる	動機づけ支援: 対象者本人が自分の生活習慣の改善点等を自覚し、自ら目標を設定し行動に移すことができる  積極的支援: 対象者自らが自身の身体に生じている変化への理解を促すとともに、実践可能な行動目標を対象者自身が選択できる  H29年度15.7% H30年度18.7%	特定健診の受診結果により健康の改善に努める必要がある方(特定保健指導対象者)	特定保健指導対象者への動奨 特定保健指導の実施	1. 特定保健指導対象者の抽出 2. 対象者への個別通知 3. 特定保健指導の実施 ・申込み者には、来所又は訪問により特定保健指導の実施 ・申込みのない方へは、対象者宅への訪問又は電話により動奨を行い、希望者へは特定保健指導を行う	町民環境課 国保担当保健師 健康福祉課 健康増進担当保健師	H29～H30年度	被保険者宅 保健センター 上/加江支所 大野見保健福祉センター	特定保健指導実施率 特定保健指導終了率
ハイリスク者の受療動奨事業(重症化予防)	医療機関への受療が必要な者が適切な検査・治療を受けることができ、生活習慣病の重症化を予防する	1、高血圧の改善 2、血糖コントロール不良者の割合の減少 3、脂質異常症の減少 4、肝機能異常者の減少 5、腎機能異常者の減少	1、最大血圧180以上、最小血圧110以上 2、HbA1C7.4以上 3、LDLコレステロール180以上 4、GOT100以上 5、GPT100以上 6、血色素量 男性10.9以下、女性9.9以下 7、尿酸10.0以上	1、個別面談による受療動奨および保健指導(40歳から74歳までの中土佐町国保加入者)	【集団健診】 1. 健診結果報告会の案内通知 2. 健診結果報告会の実施 ・来所者に対して、治療の必要性を説明し、医療機関を受療動奨及び保健指導を行う ・健診結果報告会未受療者へは、再度末所日を設定する又は訪問等で受療動奨及び保健指導を行う(受療後は、保健師へ連絡をいただく) 3. 受療動奨を行った方の受療結果の確認(内服状況などレセプトで確認) 4. 未受療者へ、電話等で受療動奨を行う  【個別健診】 1. 対象者の受療結果の確認(内服状況などレセプトで確認) 2. 未受療者に対し、対象者宅を訪問し、治療の必要性を説明し、医療機関を受療動奨及び保健指導を行う	健康福祉課 健康増進担当保健師 町民環境課 保健師	H29～H30年度	保健センター 上/加江支所 大野見保健福祉センター 被保険者宅	ハイリスク対象者の医療機関受療率 ハイリスク対象者のフォローアップの実施率
		1、最大血圧160～179、最小血圧100～109 2、HbA1C6.5～7.3 3、LDLコレステロール140～179 4、中性脂肪(空腹時)300以上、(食後4時間)未満400以上 5、HDL34以下 6、GOT61～99 7、GPT61～99 8、γ-GTP101以上 9、血色素量 男性10.0～11.0、18.0以上、女性10.0～11.0、16.0以上 10、尿酸9.0～9.9 11、eGFR49以下 12、眼底検査 Sheie-S 2以上、Sheie-H 2以上、K-W II a以上、Scott 1b期以上	1、個別面談による受療動奨および保健指導(40歳から59歳までの中土佐町国保加入者)	【集団健診】 1. 健診結果報告会の案内通知 2. 健診結果報告会の実施 ・来所者に対して、治療の必要性を説明し、医療機関を受療動奨及び保健指導を行う ・健診結果報告会未受療者へは、再度末所日を設定する又は訪問等で受療動奨及び保健指導を行う(受療後は、保健師へ連絡をいただく) 3. 受療動奨を行った方の受療結果の確認(内服状況などレセプトで確認) 4. 未受療者へ、電話等で受療動奨を行う  【個別健診】 1. 対象者の受療結果の確認(内服状況などレセプトで確認) 2. 未受療者に対し、対象者宅を訪問し、治療の必要性を説明し、医療機関を受療動奨及び保健指導を行う	健康福祉課 健康増進担当保健師 町民環境課 保健師	H29～H30年度	保健センター 上/加江支所 大野見保健福祉センター 被保険者宅	ハイリスク対象者の医療機関受療率 ハイリスク対象者のフォローアップの実施率	

事業評価計画

事業評価計画				個別保健事業名:平成30年度 30歳代健診				
評価の枠組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策
アウトカム	1. 対象者のうち、何人が受診したか★ (対象)職場等で健診受診の機会がない30～39歳町民	1. ①受診者数 ②(再掲)新規受診者数 ③(再掲)継続受診者数	1. ①25名 ②未設定 ③未設定	1. 受診者名簿		データヘルスチーム(担当)	【中間評価(H30.10.19)】 1. 7名(新規4名+継続3名) 下半期に向けて継続実施(12/2) 【最終評価(H31.3)】 1. 受診者 12名(新規4名+継続8名) 12月健診は申込があった8名のうち、5名の受診となった。	【中間評価(H30.10.19)】 ★見直し継続(充実)
アウトプット	1. 対象者へ周知を行う 2. 要精密・要医療者に保健指導を行う	1. ①健診対象者数 ②動奨ハガキの送付件数 2. ①保健指導対象者数 ②保健指導実施人数	1. 健診対象者全員に周知を行う 2. 保健指導対象者全員に保健指導を行う	1. 対象者名簿 2. レセプト情報・対応記録		データヘルスチーム(担当)	【中間評価(H30.10.19)】 1. 対象者523名のうち、役場・消防・障害等で把握している方を除いた437名に動奨ハガキを送付 2. 7月健診では保健指導対象者無し 下半期に向けて継続実施(12/2) 【最終評価(H31.3)】 2. 12月健診でも保健指導対象者無し	・個別の通知は行っているが、受診数の大きな伸びは無い。健康増進計画の改訂により、次年度以降の若者向け健診対象者や受診料金が変更の予定であり、対象個人への通知のみだけでなく、地域へのアピールとして広報や回覧等で若者向け健診を知ってもらうことも方法として検討する。(健康増進計画策定委員会にて委員より、「30歳代健診を知らない」という声があった) 【最終評価(H30.3.12)】
プロセス	1. 対象者の抽出 2. 対象者へ周知を行う 3. 健診を実施する 4. 健診結果を通知する 5. 保健指導(情報提供、生活指導、受診動奨)を行う 6. 要精密・要医療者の受診結果を確認する	1. 対象者の抽出状況 2. 受診動奨の実施 3. 問診票・必要物品の送付 4. 健診結果の通知 5. 保健指導の実施 6. 保健指導	1. 対象者の抽出基準が明確である 2. ①受診歴によって文言を変更したハガキの作成(4月中) ②動奨ハガキを送付する(5月上旬) ③広報へ健診案内記事を掲載する(6月号・9月号) ④商工会への周知を行う 3. ①問診票・必要物品の送付(各健診の2週間前) ②健診のスムーズな実施(7/4、9/30→12/2) 4. 健診から1ヶ月半以内に結果のお返しを行う 5. 健診から1ヶ月半以内に結果のお返し・保健指導を行う 6. レセプトや電話・訪問等により受診状況を把握する	1. 対象者名簿 2. 課内で決裁、定例会で進捗報告 3. 定例会で進捗報告 4. 対象者・通知方法について課内で決裁 5. 対象者について課内で決裁、定例会で進捗報告 6. レセプト情報・対応記録等	【中間】 H30.10月 【最終】 H31.3月	データヘルスチーム(担当)	【中間評価(H30.10.19)】 1～4. 概ね計画通りに実施できている 商工会総会への外部組織の受入れは現在していないとのことで、周知未実施 5～6. 7月健診では対象者無し 台風接近により健診日を変更したため、下半期に向けて継続実施(12/2) 【最終評価(H31.3)】 5～6. 12月健診でも対象者無し	・目標の受診者数は大きく下回った。 ・30歳代健診を受診してくれるメンバーが固定できており、一部の方は健診受診の習慣が定着してきたかなと感じている。継続受診者に若者けんしんを受診してもらえるように動奨すること、対象者が20歳代に拡がることも併せて、引き続き、健診を受けたことが無い方へのPRが必要。➡動奨ハガキ、来年度は2回目の集団健診時にお楽しみブースを設定する予定(集団健診前に何等かの周知が必要)。
ストラクチャー	1. 事業実施に必要な予算が確保できたか 2. 事業実施に必要な人員が確保できたか 3. 会場の設定は適切だったか 4. 健診・医療データの集約方法	1. 事業実施に必要な予算が確保されている 2. 事業実施に必要な人員が確保されている 3. 健診実施に十分なスペースが確保されている 4. ①個人情報適切に管理している ②長期的に健診やレセプト情報を評価できる体制を整えている ③保健指導の内容について記録を残している	1～4. 評価指標の達成状況	1～4. 管理職を含むデータヘルスチームの話し合い		データヘルスチーム(管理職含む) 保健福祉活動再構築	【中間評価(H30.10.19)】 1. 達成できている 2～4. 下半期に向けて継続実施(12/2) 【最終評価(H31.3)】 1～4. 達成できている	・集団健診は半日の定員(特定・後期・若者合わせて)が100名(協会さんより)なので、若者けんしんとしての枠は1回15名程度かと考える。ここ2-3年集団健診受診者が増えている印象もあり(特に1回目)、特定健診の受診動奨の進捗・予約状況も併せてみていく必要がある。

事業評価計画				個別保健事業名 H30年度 特定健診受診率の向上（発症予防）				
評価の 枠組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価 時期	評価 体制	評価結果	今後の対策
アウトカム	1 どれだけ受診につながったか	1 受診率	受診率(法定報告):46.0%以上 受診率(月例報告):46.0%以上	【中間①】TKPにより、受診動員実施者数と そのうちの受診割合・受診者数を集計	H31.6	データヘルスチーム(担当) 健康増進係(再構築)	【中間評価①】H30.10.25】 JMC電話動員予定 699件 うち、受診割合・受診者数についてはJMCから動員 結果を一斉をもってから数値を出す予定。 現在の受診率状況 H30.10月月例報告の数値 受診者数218名 受診率15.11%(前年同月比0.3ポイント上昇)	【最終評価(H31.3.19)】 受診率の状況 前年度とほぼ同じようなルーティーンで受診動員 をしたが、2回目の集団健診が台風の影響で遅 期になった影響もあり、受診率が落ち込んでい る。 今後の対策 ・電話動員 H30年度は2月から職員による電話動員をした。 結果はまだ分からないが、感度は良かった。 H31年度はより効果を出すために時期を少し早 めて、1月から職員による電話動員を行う。 また、H31年度は関係委員会(「健康づくり支 援事業」)のなかで、特定健診の電話動員を連合会 のスタッフが行ってくれるというものがあがり、依頼 をした。 JMCに電話動員を依頼する対象者のセグメント 方法も引き続き精査し、より効果的な動員に努め る。
					H31.6	データヘルスチーム(担当)	【最終評価(H31.3.19)】 JMC電話動員予定 699件 うち、受診割合・受診者数についてはJMCから動員 結果を一斉をもってから数値を出す予定。 現在の受診率状況 H31.3月月例報告の数値 受診者数453名 受診率32.20%(前年同月比3.4ポイント減少)	
					【最終評価】平成30年度特定健康診査法定報告	H31.10	データヘルスチーム(担当) 健康増進係(再構築)	
アウトプット	1 未受診者に受診動員をしたか ①JMC専門職電話動員(TKPに電話連絡先がある40～ 65歳の世帯及び66～74歳のうちH28.29年度のいずれか を登録していない世帯) ②電話動員(町職員・町臨時職員)により、上記の専門 職動員後、電話がつながらなかったケース等について電 話動員 ③前年度受診者(個別)への個別通知 ④広報掲載・回覧配布・防災行政無線 2 特定健診の受診意欲が強く、健康意識も高い対象者 の要望に応えられたか	①受診動員者数 ②同上 ③個別通知の送付実施 ④広報掲載・回覧配布・防災行政無線での寄 り ①受診券希望者への早期発送数(一斉送付 前) ②特定健診と人間ドックとの同時受診が可能 であり、受診券の提示によって、ドックの自己 負担が軽減されること、また、残った自己負担 にも、町の人間ドック助成事業(15,000円)が受 けられることの周知ができたか	①電話動員実施者数:600件 ②電話動員実施者数:100件 ③前年同月受診者(かつ現時点での未受診 者)への確実な送付(9月～2月まで) ④広報(6月号)・回覧(10月)・防災行政無線(3 月) ①発送数:4月～6月までで100件 ②関係保険証の送付(H30.2下旬)にチラシを 同封	①-(a) 動員件数 ①-(b) 受診につながった割合 ②-(a) 動員件数 ②-(b) 受診につながった割合 ③送付月数(6月) ①発送数 ②実施の有無	H31.6 H31.6 H31.6 H31.6 H31.6	データヘルスチーム(担当) データヘルスチーム(担当) データヘルスチーム(担当) データヘルスチーム(担当) データヘルスチーム(担当)	【最終評価(H31.3.19)】 ①-(a)・(b) 電話動員件数は477件。受診につながった割合 についてはH30年度の受診者が確定してから確 認する予定(H31.6)である。 ②-(a)・(b) 電話が繋がった件数 166件 ②-(b) H31.2への受診結果はまだ分からないので受診 に繋がった割合はまだ出せない。受診最終結果 はH31.6に出るので、それから割合を出す。 ③7月より毎月送付している。3月送付までの 合計送付数は353件 ④ドック助成事業についての回覧(回覧7月・全戸 配布12月) ①発送数:123件(対象者の8.5%) 内訳 ・人間・脳ドック助成申請による発送:73件 ・個別依頼による発送:50件 ②保険証の年度更新時の世帯にドックのチラシ を同封できた。	・特定健診の動員チラシの回覧・戸別配布 JMC及び町から特定健診動員チラシを適時配 布する。時期としては8・9・10月受診の伸びない 時期を重点的に行う予定。 ・防災無線 年間を通して、特定健診の受診動員及びドック助 成事業の動員を行う。 ・医療機関との連携 個別健診のうち、町内の病院で受ける人が6割を 超えており、町内医療機関との連携が重要であ り、H31年度は4月、夏、秋、3月に医療機関に訪 問し、受診動員の協力依頼をする予定である。 医療機関に町独自のリーフレットを置かしてもら う。 ・町内事業所の事業所健診の把握 町健診では個人情報、データの管理上課題が多 い。 ・関係委員会で、事業所健診の委託事業を進め ていくとあり、動向を注視していく。 ・みなし健診 連合会に委託した。対象者は15名程度になる予 定である。
	1 委託先への説明内容は適切だったか	1 動員者の情報が記録されている	1 動員者の情報が記録されている	動員者の情報(電子媒体)およびTKPにより集計	H31.6	データヘルスチーム(担当)	【最終評価(H31.3.19)】 1 動員者の名簿をTKPにより集計し、データ を渡している。	
	2 町職員への説明内容は適切だったか	2 期日までに担当者が決まっている 期日までに備票が提出されている	2 期日までに担当者が決まっている 期日までに備票が提出されている	TKPにより集計	H31.6	データヘルスチーム(担当)	2 担当者(JMC・藤原さん)は決まっている。 備票データは期日までにTKPで集計し、渡した。	
	3 簡票の様式は適切だったか	3 誰が見ても理解でき、次年度に 引き継げる情報が残せたか	3 誰が見ても理解でき、次年度に 引き継げる情報が残せたか	データヘルスチーム(担当)の話し合いによる	H31.6	データヘルスチーム(担当)	3 簡票の様式については、より分かりやすい形 にできるように改修していく予定である。	
	4 適切な時期に名簿を作成できたか	4 職員による電話動員ができたか (達成率)	4 職員による電話動員ができたか (達成率)	TKPにより集計	H31.6	データヘルスチーム(担当)	4 現時点での職員による電話動員数 148件(電話が繋がった件数)	
	5 対象者に応じた方法で動員を実施する ことができたか	5 動員方法別の受診動員者数	5 動員方法別の受診動員者数	TKPにより集計	H31.6	データヘルスチーム(担当)	5 ①JMCによる電話動員477件②お礼通知353 件③職員による電話動員148件	
6 受診者データと名簿の突合は効率的に できたか	6 TKPの運用状況	6 TKPの運用継続	データヘルスチーム(担当)の話し合いによる	H31.6	データヘルスチーム(担当)	6 毎月の月例データをTKPを更新し、突合でき ている。		
ストラクチャー	1 電話動員が実施できる臨時職員および 雇用するための予算を確保できたか。 2 名簿作成を担当する事務職員がいたか。 同職員が、業務時間内に、作業できる 時間を確保することができたか。 3 町職員が、業務時間内に、動員電話をかける時間を 確保することができたか。 4 町内4医療機関との連携体制は良好 であったか。 5 事業所(職場)健診との連携に向けた 情報収集が行えたか。	1 臨時職員の雇用状況 調整交付金・国保特別会計予算 2 TKPの運用状況 3 アウトプット(受診動員者数) 4 町内医療機関の実施状況 (受付時間・予約の要否等)の把握 5 町内事業所の実施状況 (国保かつ事業所健診)の把握	1 臨時職員を雇用できたか 雇用する予算を確保できたか 2 TKPを運用することができたか 3 アウトプット(受診動員者数) 4 町内医療機関の実施状況 (受付時間・予約の要否等)の把握 5 町内事業所の実施状況 (国保かつ事業所健診)の把握	1～3について以下の評価手段を用いる 【中間】データヘルスチーム(担当者)の話し合いによる 【最終】データヘルスチーム(管理職含む)の話し合いによる	【中間】 H31.6 【最終】 H31.6	データヘルスチーム(担当) データヘルスチーム (管理職含む)	【最終評価(H31.3.19)】 1 H31年度は予算及び臨時職員は確保できた。 2 業務時間内にTKPのデータを更新することが できている。 3 時間を確保できた。 H31.2から実施。 実績 148件(電話が繋がった件数) 4 H30.10.30に町内医療機関へ事業主旨を説明 したうえで、特定健診の受診動員を依頼した。 5 マルナカ・なかとき病院・山尾建設から情報取 集する機会を設けられなかった。	

事業評価計画

事業評価計画					個別保健事業名：平成30年度 特定保健指導実施率の向上			
評価の枠組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策
アウトカム	1. 特定保健指導利用者の割合の増加★ 2. 各対象者に対する行動目標は適切に設定されたか 3. 対象者の健康状態の改善	1. ①実施率(終了者数/対象者数) ②終了率(終了者数/利用者数) 2. ①行動目標達成率 ②プログラム参加継続率 3. ①指導前のBMI・体重・血圧・生活習慣 ②終了時のBMI・体重・血圧・生活習慣	1. ①実施率 14.7% ②終了率 100% 2. 各対象者に対する行動目標が適切に達成される 3. 特定保健指導終了者の測定値・生活習慣が改善する	1. 法定報告 2. 支援記録、 3. 支援記録、担当管理栄養士への聞き取り	1～3. H31.3月  法定報告は H31.10月頃	データヘルス チーム (担当)	【中間評価(H30.10.19)】 1～3. 中間評価時点で終了者がいない 【最終評価(H31.3.8)】 1. ①最終的な実施率は法定報告で確認 ②現時点の終了者 11名/16名 2. ①現時点で脱落者はいない ②現時点で脱落者はいない 3. 委託による保健指導の支援記録は、 まだ受け取っておらず評価出来ない。 町実施分は現状維持or目標達成には いたらない改善。悪化はなかった。	【中間評価(H30.10.19)】 ・利用動員では休日・昼間・夜間等、時間を 充てて複数回電話してくれており、これ まで利用歴のなかった対象者等、新規 の利用につながっている。 ・委託の場合も、特定保健指導来所日は 面談室の設置や利用者の誘導等、随時 対応が必要。 ・委託した対象者の情報が把握しづらく、 次年度直営実施となった場合や今後の フォローをするうえで情報が限られる。 (H30は指導内容・行動計画等は指導終 了後に聞き取りで確認)
アウトプット	1. 利用動員の実施 2. 特定保健指導の実施	1. 利用動員の実施 ①特定保健指導対象者数 ②利用動員実施件数 2. 特定保健指導実施件数(うち委託件数) ①動機付け支援実施件数(うち委託件数) ②積極的支援実施件数(うち委託件数)	1. 特定保健指導対象者 全員	1. 対象者名簿、電話動員業務報告書	1～2. 2ヶ月毎	データヘルス チーム (担当)	【中間評価(H30.10.19)】 1. 対象者全員に利用動員実施 2. 特定保健指導の実施 13件(11件) ①動機付け支援 10件(9件) ②積極的支援 3件(2件) 【最終評価(H31.3.8)】 1. ①55名 ②55名 2. 特定保健指導の実施 16件(13件) ①動機付け支援 12件(11件) ②積極的支援 4件(2件)	★委託を活用しつつ、特定保健指導の 質・量の確保を図るためにも、年度当初 に委託先と支援の流れや情報共有方法を 再確認・再検討する必要があった。 (H28.7月打合せ以降は、随時の電話調 整のみだった) ★高知県特定保健指導体制強化事業費 補助金(県→栄養士会)がH30年度で終 了となるため、次年度以降の委託先の体 制の確認と、状況に応じて新たな委託先 を検討する必要がある。 【最終評価(H31.3)】
プロセス	1. 対象者の抽出 2. 事前通知の送付 3. 利用動員の実施 ①直営・集団健診結果報告会の実施 ②委託・電話動員の実施 ③直営・訪問動員の実施(電話不通・電話番号未把握等) 4. 動員結果の集約 5. 特定保健指導の実施	1. 対象者の抽出状況 2. 事前通知の送付状況 3. アウトプット(利用動員実施件数) ①結果報告会未所者数 ②通話件数 ③訪問件数 4. ①特定保健指導利用につながった人数 ②特定保健指導未利用者数・未利用理由 5. アウトプット(特定保健指導利用者数)	1. おおむね2ヶ月毎に対象者の抽出が出来る 2. 対象者抽出後、2週間以内に送付 3. アウトプット(利用動員実施件数) ①集団健診での特定保健指導対象者 全員 ②電話番号把握者 全員 ③電話番号未把握者 全員 4. 動員後、未利用者数・未利用理由を把握できる 5. ①対象者に応じた方法で特定保健指導を実施できる ②業務時間内に特定保健指導を実施できる	1. 対象者名簿 2. 対応記録、電話動員業務報告書 3. 電話動員業務報告書 4. 支援記録 5. 支援記録	1～5. 2ヶ月毎	データヘルス チーム (担当)	【中間評価(H30.10.19)】 1～2. 実施できている 3. 利用動員 34名(対象者全員) ①3名訪問+2名委託 ②委託:19名、③訪問:該当なし 4. 電話動員業務報告書により把握 5. 実施できている 【最終評価(H31.3)】 3. 利用動員 55名(対象者全員) ①3名訪問+2名委託 ②52名 ③該当なし	・委託先と打合せを行い、保健指導の詳細な 実施内容(支援記録)のコピーが受領 できるようになったが、今年度実施分 はまだ受け取っていない。また、シス テムに取り込むためのデータの不具合、それ に対する相手先の対応にも気になる点 がある。 ・県→委託先(栄養士会)への補助金が 終了となり、次年度から保健指導のボー ダーラインが3名→4名となることや、これ までの経過、次年度の他の保健事業の 実施に鑑みて、一旦栄養士会への特定 保健指導事業の委託を終了とする。 ・未利用理由としては、「忙しい」「病院に かかっている(生活習慣病の診断あつても 服薬しなければ保健指導の対象)」「自 分でやってみる」等が多く、指導する側 のスキル不足(案内のお手紙・声掛け実 際の指導も含む)も感じる。次年度から は国保保健事業の委託先が一木になり、 利用動員や指導の時間等も融通が 利くようなので、運動教室と特定保健 指導を組み合わせた等工夫しながら利用 率UPに繋げたい。
ストラクチャー	1. 事業実施に必要な予算が確保できたか 2. 事業実施に必要な人員が確保できたか 3. 健診・実施記録の集約方法 4. 委託先への説明内容は適切だったか 5. 保健指導実施者の研修の機会を確保できたか	1. 予算の確保状況 2. 人員 3. ①個人情報適切に管理している ②健診やレセプト情報で評価できる体制を整えている ③特定保健指導の内容について記録を残している 4. 未設定 5. 県等が開催する研修への参加状況	1. 事業実施に必要な予算が確保されている 2. 事業実施に必要な人員が確保されている 3. 評価指標①～③の達成 4. 必要時、委託先と情報共有を実施している 5. 保健指導実施者の研修の機会が確保されている	1～5. 管理職を含むデータヘルステームの話し合い	中間評価 H30.11月  最終評価 H31.3月	データヘルス チーム (管理職含む)	【中間評価(H30.10.19)】 1～3. 達成できている 4. 気になる点が出てきた 5. 保健指導従事者育成研修会に参加 【最終評価(H31.3)】 4. 新たな委託先と打合せを進めている。 利用動員や保健指導の流れや町で 実施すること等の具体的な内容につ いて確認が必要。	・JMOと詳細な打合せが必要。(利用動 員や保健指導の流れ、支援記録を含む 個人情報の受渡し、町で実施すること 等)→3/20にJMO来町予定。

事業評価計画

事業評価計画				個別保健事業名:糖尿病性腎症重症化予防事業				
評価の枠組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策
アウトカム	<p>【プログラムⅠ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診者の割合の増加</li> <li>治療継続者の割合の増加</li> </ol> <p>【プログラムⅡ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>血糖コントロール不良者の割合の減少 (HbA1cが8.4%以上)</li> <li>糖尿病性腎症による新規透析導入患者数の減少</li> </ol>	<p>【プログラムⅠ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>保健師等の受診勧奨により、医療機関受診につながった未治療者の割合</li> <li>保健師等の受診勧奨により、医療機関受診につながった治療中断者の割合</li> </ol> <p>【プログラムⅡ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>血糖コントロール不良者の割合</li> <li>糖尿病性腎症による新規透析導入患者数</li> </ol>	<p>【プログラムⅠ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率 ●% (未治療者)</li> <li>治療継続率 ●% (治療中断者)</li> </ol> <p>【プログラムⅡ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>未設定</li> <li>糖尿病性腎症による新規透析患者 0名</li> </ol>	<p>【プログラムⅠ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>受診勧奨から6か月後のレセプト情報</li> <li>受診勧奨から6か月後のレセプト情報</li> </ol> <p>【プログラムⅡ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>情報提供書、糖尿病連携手帳</li> <li>KDBより抽出</li> </ol>	<p>中間 H30.10月</p> <p>最終 H31.3月</p>	データヘルスチーム (担当)	<p>【中間評価(H30.10.19)】</p> <p>I・IIとも評価時点で実績なし</p> <p>【最終評価(H31.3.12)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>50%? (1/2)レセプト未</li> <li>100% (1/1)</li> <li>評価時点で実績なし</li> </ol>	<p>【中間評価(H30.10.19)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施体制が整っておらず、中間評価時点では実績が無い。今後、町内医療機関へ事業主旨を説明したうえで、まずは町内医療機関をかりつけ医とする方を対象としていく方向で準備をする。</li> <li>他市町も医療機関へ事業説明に回っているため、情報収集が必要(11/7管内担当者会)</li> </ul>
アウトプット	<p>【プログラムⅠ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>受診勧奨の実施</li> </ol> <p>【プログラムⅡ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>医療機関と連携した保健指導の実施</li> </ol>	<p>【プログラムⅠ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①未治療・治療中断対象者数</li> <li>②未治療・治療中断者への受診勧奨件数</li> </ol> <p>【プログラムⅡ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①保険者による保健指導の対象となった人数</li> <li>②保健指導の実施人数</li> </ol>	<p>【プログラムⅠ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>受診勧奨対象者 全員</li> </ol> <p>【プログラムⅡ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>対象者本人・かかりつけ医の同意の得られた保健指導対象者 全員</li> </ol>	<p>【プログラムⅠ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>対応記録</li> </ol> <p>【プログラムⅡ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>対応記録</li> </ol>	毎月	データヘルスチーム (担当)	<p>【中間評価(H30.10.19)】</p> <p>I・IIとも評価時点で実績なし</p> <p>【最終評価(H31.3.12)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①未治療対象2名・中断対象1名</li> <li>②未治療勧奨2名・中断勧奨1名</li> <li>①0名</li> <li>②0名</li> </ol>	<p>【最終評価(H31.3.19)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムⅠ対象者から勧奨を進めている。</li> <li>プログラムⅡは医療機関の協力が不可欠であるが、プログラム自体が浸透していない。町内医療機関には保健所とともに事業説明・協力依頼に回ったが、1か所を除き良好な反応ではなかった。</li> </ul>
プロセス	<p>【プログラムⅠ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>対象者の選定</li> <li>事前通知の送付</li> <li>訪問又は電話での受診勧奨の実施</li> <li>受診勧奨後の受診状況・治療継続状況の把握</li> </ol> <p>【プログラムⅡ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>対象者の抽出</li> <li>プログラム連絡票の送付(町一かかりつけ医)</li> <li>情報提供書の送付(町一かかりつけ医)</li> <li>専門医療機関との連携</li> <li>保健指導の実施</li> </ol>	<p>【プログラムⅠ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>対象者の選定状況</li> <li>事前通知の送付状況</li> <li>アウトプット(受診勧奨実施件数)</li> <li>受診勧奨から3か月後の受診状況・治療継続状況</li> </ol> <p>【プログラムⅡ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>対象者の抽出状況</li> <li>かかりつけ医にプログラム連絡票を送付した件数</li> <li>保険者へ送られた情報提供書の件数</li> <li>①専門医療機関と連携した人数</li> <li>②外来栄養食事指導推進事業に基づき、他の医療機関に紹介された人数</li> <li>アウトプット(保健指導実施件数)</li> </ol>	<p>【プログラムⅠ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①毎月対象候補者リストが県から配信されている</li> <li>②対象者の抽出基準が明確である</li> <li>対象者選定後、●以内に送付</li> <li>アウトプット(受診勧奨)</li> <li>レセプト情報・訪問等により受診状況を把握している</li> </ol> <p>【プログラムⅡ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>I-1と同じ</li> <li>同意が得られた対象者 全員</li> <li>同意が得られた対象者 全員分</li> <li>未設定</li> <li>アウトプット(保健指導)</li> </ol>	<p>【プログラムⅠ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>対象者名簿</li> <li>対象者名簿</li> <li>アウトプット(受診勧奨)</li> <li>レセプト情報、対応記録</li> </ol> <p>【プログラムⅡ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>対象者名簿</li> <li>連絡票送付状況、対応記録</li> <li>情報提供書受付状況</li> <li>情報提供書</li> <li>アウトプット(保健指導)</li> </ol>	毎月	データヘルスチーム (担当)	<p>【中間評価(H30.10.19)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6月から対象者リストが配信されている</li> </ol> <p>I・IIとも評価時点で実績なし</p> <p>【最終評価(H31.3.12)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>訪問済3名</li> <li>未治療勧奨2名のうち、1名が受診済</li> <li>レセプトはまだ出ていない</li> <li>中断勧奨1名は治療再開している</li> <li>2件(クリニック土佐久礼、高陵病院)</li> <li>0件</li> <li>0件</li> <li>0件</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験的に町内医療機関(クリニック土佐久礼)通院中の1名・武田保健師が「動員した」歴がある1名(高陵病院通院中)について、主治医に連絡票を送付する予定だが、プログラムの利用にはつながらないと思われる。(7-8月にかけて須崎市も保健所とともに医療機関を訪問している。須崎市は今年度菅野医院のみ実施・医師が協力的)</li> <li>プログラムⅡを本格的に実施するとすれば、配信される対象者の優先順位付けも必要。(血圧150程度のみで引かかっている人もいる)→来年度から県の糖尿病アドバイザー派遣事業が開始される。来年度の体制によって活用を検討する。</li> </ul>
ストラクチャー	<ol style="list-style-type: none"> <li>事業実施に必要な予算が確保できたか</li> <li>事業実施に必要な事務職・専門職が確保できたか</li> <li>健診・医療データの集約方法</li> <li>関係者間の理解が得られ、連携体制が構築できたか</li> <li>保健指導実施者の研修の機会を確保できたか</li> </ol>	<p>【プログラムⅠ・Ⅱ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1～5. 評価項目の達成状況</li> </ol>	<p>【プログラムⅠ・Ⅱ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業実施に必要な予算が確保されている</li> <li>2. 滞りなく、効率的に事業が実施できる人員が確保されている</li> <li>3. ①個人情報適切に管理している</li> <li>②長期的に健診やレセプト情報で評価できる体制を整えている</li> <li>③受診勧奨・保健指導の内容について記録を残している</li> <li>4. ①関係者間で情報共有やケース会を実施している</li> <li>②係内で進捗状況の共有ができています</li> <li>③かかりつけ医と、治療状況・保健指導の内容について連携ができています</li> <li>5. 保健指導実施者の研修の機会が確保されている</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1～5.</li> </ol> <p>管理職を含むデータヘルスチームの話し合い</p>	<p>中間 H30.10月</p> <p>最終 H31.3月</p>	データヘルスチーム (管理職含む)	<p>【中間評価(H30.10.19)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1～2. 達成できている</li> <li>3～4. 評価時点で実績がない</li> <li>5. 県主催の研修会や担当者会に参加</li> </ol> <p>【最終評価(H31.3.12)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 達成できている</li> <li>4. ①国保(事務・嘱託保健師)とヘルス担当間で情報共有できている。</li> <li>②保健定例会で進捗を報告。</li> <li>③評価時点で実績がない。</li> <li>5. 各説明会・研修会に参加。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月の研修会で、医療機関からはプログラムⅠ対象者を優先的に進めるように話があり、担当として、も今の体制等をふまえると、未治療者・治療中断者への対応を優先させた。</li> </ul>

事業評価計画				個別保健事業名 H30年度 ハイリスク者の受療勧奨事業(重症化予防)				
評価の枠組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策
アウトカム	対象者がどれだけ医療機関を受診したか★	1 医療機関受診率	1 医療機関受診率 50%	1 レセプト情報、対応記録で確認	H31.6月	データヘルスチーム(担当者)	【最終評価(H31.3.19)】 1 H30年度ハイリスク対象者30名(30年度でハイリスク該当かつ保健指導した人数) 上記のうち、生活習慣病で医療機関受診した人は15名よって、受診率は50% 2 H29年度ハイリスク該当者45名(29年度でハイリスク該当かつ保健指導した人数) 上記のうち、H30年度特定健診受診者は24名 そのなかでH30年度ハイリスク該当者6名、ハイリスク非該当になった人18人 よって、H29年度ハイリスク該当者45名のうちハイリスク非該当になった方は18人であり、改善率は40パーセント。	【最終評価(H31.3.19)】 TKPで管理しているデータが膨大になり、エクセル管理が難しくなっている。特に訪問指導の対応経過が分かりにくい。よって、今後、ログヘルスシステム(健康福祉課)にはコーラスの中にも導入されている。を国保担当のパソコンにも導入し、データの共有を図りたい。そのためには、使いやすいログヘルスの仕様を構想する必要がある。国保担当・保健師及び電算と協議していく。
	2 29年度対象者のリスク因子が改善したか	2 リスク該当項目の改善の有無	2 リスク該当項目の改善率 50%	2 29年度対象者の、30年度の健診結果を確認する				
アウトプット	1 受診勧奨(保健指導)を行う★ ①集団健診受診者 ・健診結果報告会の実施 ②個別健診受診者 ・嘱託保健師による面接(ℓa/訪問)	1 受診勧奨者数 ①集団健診受診者 ・健診結果報告会への来所者数 ②個別健診受診者 ・嘱託保健師による対応数	1 受診勧奨(保健指導)の実施  ②対象者数 60名程度  勧奨者数 60名程度(対象者 全員)	1 対応記録で確認	H30.12月 H31.6月	データヘルスチーム(担当者)	【最終評価(H31.3.19)】 1 ① 集団健診受診者のうち、受診勧奨(保健指導)対象者は7人(74健診2人、122健診5人)であったが、保健師による直接指導及び郵送での結果報告することにしたので、健診結果報告会の実施はしていない。 1 ②対象者数 嘱託保健師による面接(ℓa/訪問) 47件(31.3.12現在)	
プロセス	1 結果を把握して、レセプトを確認したうえで対象者を選定することができたか ①集団健診受診者 ②個別健診受診者	1 対象者の選定 ①健診終了後1ヶ月半以内 ②毎月	1~5 評価指標の達成状況	1~5 勧奨判断整理表、対応記録をデータヘルsteamで確認	H30.12月 H31.6月 H30.12月	データヘルスチーム(担当者)	【最終評価(H31.3.19)】 1 ①・② レセプトを確認したうえで、対象者を選定している。 2 30年度は対象者は直接、武田保健師が訪問するといった形をとったので案内は送付していない。 3 ファイルで個人特性等を記録しており、記録を確認したうえで受診勧奨(保健指導)をしている。 4 訪問前に打ち合わせをし、判断している。 5 訪問後、保健師が対象者のレセプトを確認し、受診医療機関、受診日等を記録している。	
	2 対象者への案内文書が送付できたか (集団健診受診者のみ、結果報告会の案内送付)	3 アウトカム(医療機関受診率)			H31.6月			
	3 個人特性を把握したうえで、受診勧奨(保健指導)を実施できたか	4 対応記録に基づくケース会の開催			H31.6月			
	4 対応記録を確認し、チームで支援の方向性・継続支援の必要性を判断できたか	5 受診状況の把握 ①受診状況をレセプトで確認する ②受診医療機関、受診日を記録する			H31.6月			
	5 医療機関の受診状況を把握できたか				H31.6月			
ストラクチャー	1 事業実施人員は妥当だったか 2 予算の確保ができたか 3 次年度も引き続き管理できる体制か	1 次年度の事業実施に向けて、専門職(保健師)の不足状況 2 予算の確保 3 システムの運用	1 受診勧奨(保健指導)実施人員の不足がない 2 事業実施に必要な予算が確保できる 3 記録を管理するシステムが整理され、運用されている	1~3 データヘルsteam(管理職含む)での話し合い	H31.6月	データヘルスチーム(管理職含む)	【最終評価(H31.3.19)】 1 実施人員については、増員したいところだが、H31年度はH30年度の体制のまま(嘱託保健師1名)。 1 31年度の嘱託保健師・車のリース代の予算は確保できた。 3 TKPにより、データは整理し、運用できているが、改良する必要がある。	

# 令和元年度

令和元年度個別保健事業計画									
事業名	目的	目標	対象者	事業内容	方法	実施者	期間	場所	評価
(若者けんしん ～発症予防～)	将来、生活習慣病にならないために、若い時から健診を受診を勧め、健診を受ける習慣をつける	20・30歳代は年に1回生活習慣病に着目した健診を受ける習慣が身につけている H30年度 30人 R01年度 30人	①町内在住 ②20～39歳 ③勤務先等では健康診査を受ける機会のない方 ※①～③のすべてに該当する方	20歳・30歳代健診、追加項目の実施	1. 対象者への周知・個別通知、広報等 2. 20・30歳代健診、追加項目の実施、健康情報手帳の配布(年間2回・追加項目については年間1回) 3. 受診者への結果通知 4. 健診結果が要精密、要医療者へは、来所により、受療勧奨及び保健指導を行う ・未受診者へは、再度来所日を設定する又は訪問等で受療勧奨及び保健指導を行う(受療後は、保健師へ連絡をいただく) 5. 受療勧奨を行った方の受療結果の確認(内服状況などレセプトで確認) 6. 未受診者へ、電話等で受療勧奨を行う	健康福祉課 健康増進担当	H30～R01年度(年間2回)	保健センター	受診者数 継続受診者数 健診結果
特定健診受診率の向上 (～発症予防～)	特定健診の受診率を向上させ、生活習慣病の発症・重症化を予防することで、健康寿命を延伸する	特定健診の重要性が分かり、年に1回特定健診を受診する人が増える H30年度47.7% R01年度50.7%	40歳から74歳までの中土佐町国保加入者	特定健診未受診者への訪問、電話、ハガキ等の勧奨	1. 未受診者への訪問(40～64歳) 2. 未受診者への電話勧奨の実施(町民環境課及び健康福祉職員) 3. 郵便ハガキの送付 4. 広報、回覧、防災無線等での周知 5. 健康づくりサポーターからの啓発	町民環境課 国保担当保健師 健康福祉課 健康増進担当保健師	H30～R01年度	被保険者宅	受診率 未受診者への訪問数
特定保健指導実施率の向上 (～発症予防～)	動機づけ支援: 対象者が自らの生活習慣を振り返り、行動目標を立てることができ、終了後、対象者がすぐに実践(行動)に移り、その生活が継続できる 積極的支援: 対象者が自らの生活習慣を振り返り、行動目標を設定し、目標達成に向けた実践(行動)に取り組みながら、終了後にはその生活が継続できる	動機づけ支援: 対象者本人が自分の生活習慣の改善点等を自覚し、自ら目標を設定し行動に移すことができる 積極的支援: 対象者自らが自身の身体に生じている変化への理解を促すとともに、実践可能な行動目標を対象者自身が選択できる H30年度15.7% R01年度18.7%	特定健診の受診結果により健康の保持に努める必要がある方(特定保健指導対象者)	特定保健指導対象者への勧奨 特定保健指導の実施	1. 特定保健指導対象者の抽出 2. 対象者への個別通知 3. 特定保健指導の実施 ・申込み者には、来所又は訪問により特定保健指導の実施 ・申込みのない方へは、対象者宅への訪問又は電話により勧奨を行い、希望者へは特定保健指導を行う	町民環境課 国保担当保健師 健康福祉課 健康増進担当保健師	H30～R01年度	被保険者宅 保健センター 上ノ加江支所 大野見保健福祉センター	特定保健指導実施率 特定保健指導終了率
ハイリスク者の受療勧奨事業(重症化予防)	医療機関への受療が必要な者が適切な検査・治療を受けることができ、生活習慣病の重症化を予防する	1. 高血圧の改善 2. 血糖コントロール不良者の割合の減少 3. 脂質異常症の減少 4. 肝機能異常者の減少 5. 腎機能異常者の減少	1. 最大血圧180以上、最小血圧110以上 2. HbA1c7.4以上 3. LDLコレステロール180以上 4. GOT100以上 5. GPT100以上 6. 血色素量 男性10.9以下、女性9.9以下 7. 尿酸10.0以上	1. 個別面談による受療勧奨および保健指導(40歳から74歳までの中土佐町国保加入者)	[集団健診] 1. 健診結果報告会の案内通知 2. 健診結果報告会の実施 ・来所者に対して、治療の必要性を説明し、医療機関を受療勧奨及び保健指導を行う ・健診結果報告会未受診者へは、再度来所日を設定する又は訪問等で受療勧奨及び保健指導を行う(受療後は、保健師へ連絡をいただく) 3. 受療勧奨を行った方の受療結果の確認(内服状況などレセプトで確認) 4. 未受診者へ、電話等で受療勧奨を行う [個別健診] 1. 対象者の受療結果の確認(内服状況などレセプトで確認) 2. 未受診者に対し、対象者宅を訪問し、治療の必要性を説明し、医療機関を受療勧奨及び保健指導を行う	健康福祉課 健康増進担当保健師 町民環境課 保健師	H30～R01年度	保健センター 上ノ加江支所 大野見保健福祉センター 被保険者宅	ハイリスク対象者の医療機関受療率 ハイリスク対象者のフォローアップの実施率
			1. 最大血圧160～179、最小血圧100～109 2. HbA1c6.5-7.3 3. LDLコレステロール140～179 4. 中性脂肪(空腹時)300以上、(食後4時間)未満400以上 5. HDL34以下 6. GOT61-99 7. GPT61-99 8. $\gamma$ -GTP101以上 9. 血色素量 男性10.0-11.0、18.0以上 10. 尿酸9.0-9.9 11. eGFR49.9以下 12. 眼底検査 Sheie-S 2以上、Sheie-H 2以上、K-W IIa以上、Scott 1b期以上	1. 個別面談による受療勧奨および保健指導(40歳から59歳までの中土佐町国保加入者)	[集団健診] 1. 健診結果報告会の案内通知 2. 健診結果報告会の実施 ・来所者に対して、治療の必要性を説明し、医療機関を受療勧奨及び保健指導を行う ・健診結果報告会未受診者へは、再度来所日を設定する又は訪問等で受療勧奨及び保健指導を行う(受療後は、保健師へ連絡をいただく) 3. 受療勧奨を行った方の受療結果の確認(内服状況などレセプトで確認) 4. 未受診者へ、電話等で受療勧奨を行う [個別健診] 1. 対象者の受療結果の確認(内服状況などレセプトで確認) 2. 未受診者に対し、対象者宅を訪問し、治療の必要性を説明し、医療機関を受療勧奨及び保健指導を行う	健康福祉課 健康増進担当保健師 町民環境課 保健師	H30～R01年度	保健センター 上ノ加江支所 大野見保健福祉センター 被保険者宅	ハイリスク対象者の医療機関受療率 ハイリスク対象者のフォローアップの実施率

事業評価計画

事業評価計画				個別保健事業名:令和元年度 若者けんしん				
評価の枠組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策
アウトカム	1. 対象者のうち、何人が受診したか★	1. 受診者数	1. 30名	1. 対象者名簿		データヘルスチーム(担当)	【中間評価 R1.11.13】 1. 受診者数41名 【最終評価 R2.3.25】 中間評価に同じ。	
アウトプット	1. 受診動員の実施件数 2. 要医療者への保健指導実施件数	1. ①動員ハガキの送付件数 ②広報での啓発記事の掲載 2. ①要医療対象者数 ②保健指導実施件数	1. ①対象者 全員(899件・平成30年11月末時点) ②仮:6月号、9月号 2. 要医療対象者 全員	1. 対象者名簿 2. 対応記録、レセプト情報		データヘルスチーム(担当)	【中間評価 R1.11.13】 1. 対象者849名のうち、役場・消防・障害等で把握している方を除いた733名に動員ハガキを送付。 2. 対象者は6月集団健診で1名、9月集団健診で1名。対象者全員に保健指導を実施した。 【最終評価 R2.3.25】 中間評価に同じ。	【中間評価 R1.11.13】 ・目標の受診者数は達成できた。 ・健康増進計画の改定により、今年度より対象年齢の拡大と胸部検診が追加された。対象者の拡大と個別の動員通知が、受診者の増加につながったと思われ、引き続き個別の動員通知を継続し、地域へのアピールとして広報や回覧を通して若者けんしんについての周知を図る。 ・集団健診の定員は、(特定・後期・若者合わせて)半日で100名なので、若者けんしんとしての枠は1回15名前後かと考える。特定健診の受診動員の進捗状況や予約状況との兼ね合いを見ながら、動員を行っていく必要がある。
プロセス	1. 対象者の抽出 2. 対象者へ周知を行う 3. 健診・胸部検診を実施する 4. 健診・胸部検診の結果を集約する 5. 健診・胸部検診の結果を通知する 6. 保健指導(情報提供、生活指導、受診動員)を行う 7. 要医療者の受診結果を確認する	1. 対象者の抽出状況 2. 周知の実施状況 3. 健診・胸部検診の実施状況 4. 健診・胸部検診の集約状況 5. 健診・胸部検診の結果通知状況 6. 保健指導の実施状況(アウトプット) 7. 要医療者の受診状況	1. 対象者の抽出基準が明確である 2. ①動員ハガキの作成(3月) ②動員ハガキの送付(4月) ③広報へ啓発記事の掲載(仮:6月号、9月号) 3. ①受診票・問診票等の送付(各健診の2週間前) ②待ち時間が短くなるよう、受付時間をずらす(若者9:30~) ③オプションの実施(脳年齢など) 4. 健診結果に応じた結果通知の準備ができる 5. 受診から1ヶ月半以内に結果通知を行う 6. 受診から1ヶ月半以内に結果通知・保健指導を行う(来所/訪問) 7. レセプト情報、電話、訪問等で確認(動員から3ヶ月後)	1. 対象者名簿 2. 課内で決裁、健康増進定例会で進捗報告 3. 健康増進定例会で進捗報告 4. 総協からの結果提供、ロゲルムの運用 5. 課内で決裁 6. 課内で決裁、健康増進定例会で進捗報告 7. レセプト情報、対応記録	【中間】 2019.10月 【最終】 2020.3月	データヘルスチーム(担当)	【中間評価 R1.11.13】 1~6 おおむね計画通り実施できている。 3. ③は担当が変更になったこともあり、今年度は実施できていない。 7. 今後レセプト情報を確認し、未受診の場合は動員予定。 【最終評価 R2.3.25】 7. すべての要医療者が受診につながっていた。	【最終評価 R2.3.25】 前年度の受診者数を大きく上回り、目標は概ね達成できた。次年度以降は受診者数だけでなく、受診の継続性の確認を行いながら、必要であれば健診日程を増やすなどの検討も必要であると考え、今年度は20歳代での要医療者が2名あがってきており、受診状況の確認・受診動員を継続して行っていく必要がある。
ストラクチャー	1. 事業実施に必要な予算が確保できたか 2. 事業実施に必要な人員が確保できたか 3. 会場の設定は適切だったか 4. 健診・医療データの集約方法	1. 事業実施に必要な予算が確保されている 2. 事業実施に必要な人員が確保されている 3. 健診実施に十分なスペースが確保されている 4. ①個人情報適切に管理している ②長期的に健診やレセプト情報を評価できる体制を整えている ③保健指導の内容について記録を残している	1~4. 評価指標の達成状況	1~4. 管理職を含むデータヘルスチームの話し合い		データヘルスチーム(管理職含む)	【中間評価 R1.11.13】 1~4. 達成できている。 【最終評価 R2.3.25】 中間評価に同じ。	

事業評価計画				個別保健事業名 令和元年度 特定健診受診率の向上（発症予防）				
	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策
アウトカム	1 どれだけ受診につながったか	1 受診率	受診率(法定報告):46.0%以上 受診率(月例報告):46.0%以上	【中間①】◆TKPIにより、受診勧奨実施者数と そのうちの受診割合・受診者数を集計	H32.1 H32.6 H32.10	データヘルスチーム(担当)	JMO受診勧奨予定600件 うち、受診割合・受診者数 94名 15.7%  H31.10月の月例報告の数値(8月受診分まで) 受診者数 254名 受診率 18.07%(前年同月比0.83ポイント上昇)	
アウトプット	1 未受診者に受診勧奨をしたか ①JMC専門職電話勧奨(TKPIに電話連絡先がある40～74歳の世帯のうちH28・29・30年度のいずれも受診していない世帯を除く世帯) JMCへはできるだけ3年以上受けたことのない人のリスト抽出。1人1人確認してリストを作った ②電話勧奨(町職員・町臨時職員)により、上記の専門職勧奨後、電話につながらなかったケース等について電話勧奨 ③前年度受診者(個別)への個別通知 ④広報掲載・回覧配布・防災行政無線 2 特定健診の受診意欲が強く、健康意識も高い対象者の要望に応えられたか	①受診勧奨者数 ②同上 ③個別通知の送付実施 ④広報掲載・回覧配布・防災行政無線での啓発の有無 ⑤受診希望者への早期発送数(一斉送付時) ⑥特定健診と人間ドックとの同時受診が可能であり、受診券の提示によって、ドックの自己負担が軽減されること。また、残った自己負担にも、町の間人ドック助成事業(15,000円)が受けられることの周知ができたか	①電話勧奨実施者数:600件 ②電話勧奨実施者数:100件 ③前年同月受診者(かつ現時点での未受診者)への確実な送付(9月～2月まで) ④広報(6月号)・回覧(10月)・防災行政無線(3月) ⑤発送数:4月～6月までで100件 ⑥国保保険証の送付(H31.3下旬)にチラシを同封	①-(a)勧奨件数 ①-(b)受診につながった割合  ②-(a)勧奨件数 ②-(b)受診につながった割合  ③送付月数(6月)  ①発送数 ②実施の有無	H32.6 H32.6 H32.6 H32.6	データヘルスチーム(担当)	②電話による受診勧奨は準備ができていたので手が空いた時間に電話をかける予定。 訪問による勧奨・地域の職員による声掛けは、矢井真地区は坂井支所長・世帯地区は若瀬補佐が地域への声掛けを行っている。  ③前年度受診者への個別通知は6月より毎月行っている。10月送付分までで250件のハガキを送付している。 ④人間ドック脇ドックの回覧は、4月8日に実施 ⑤保険証の年度更新時に世帯にドックのチラシを同封した。 ⑥8月(集団検診の1回目と2回目の間)に電話番号がなく、今まで全く勧奨できていなかった方(711名464世帯)はがき464通発送うち35名が受診。	○現状の勧奨を引き続き行っていく
プロセス	1 委託先への説明内容は適切だったか 2 町職員への説明内容は適切だったか。 3 個票の様式は適切だったか。 4 適切な時期に名簿を作成できたか。 5 対象者に応じた方法で勧奨を実施することができたか 6 受診者データと名簿の突合は効率的にできたか。	1 勧奨者の情報が記録されている 2 期日までに担当者が決まっている 期日までに個票が提出されている 3 誰が見ても理解でき、次年度に引き継げる情報が残せたか 4 職員による電話勧奨ができたか (達成率) 5 勧奨方法別の受診勧奨者数 6 TKPの運用状況	1 勧奨者の情報が記録されている 2 期日までに担当者が決まっている 期日までに個票が提出されている 3 誰が見ても理解でき、次年度に引き継げる情報が残せたか 4 職員による電話勧奨ができたか (達成率) 5 勧奨方法別の受診勧奨者数 6 TKPの運用継続	勧奨者の情報(電子媒体)およびTKPIにより集計  TKPIにより集計  データヘルスチーム(担当)の話し合いによる  TKPIにより集計  TKPIにより集計  データヘルスチーム(担当)の話し合いによる	H32.6 H32.6 H32.6 H32.6 H32.6 H32.6	データヘルスチーム(担当)	1.勧奨者名簿はTKPIにより集計 2.担当者(JMC・藤原)期日までにTKPで集計し渡している 3.現在の個票で十分対応している。次年度への引継ぎの情報も十分に記載されている 4.地区別の勧奨名簿ができたので、時間の合間に電話勧奨をおこなっていく 5.電話勧奨(JMC)600件 お礼通知250件 6.毎月の月例データをTKPで更新し突合できている	次年度はJMCへの勧奨を検討課題とする。     電話勧奨については、できるだけ多く電話を掛けるようにしていく
ストラクチャ	1 電話勧奨が実施できる臨時職員および 雇用するための予算を確保できたか。 2 リスト作成を担当する事務職員がいたか。 同職員が、業務時間内に、作業できる時間を確保することができたか。 3 町職員が、業務時間内に、勧奨電話をかける時間を確保することができたか。 4 町内4医療機関との連携体制は良好であったか。 5 事業所(職場)健診との連携に向けた情報収集が行えたか。	1 臨時職員の雇用状況 調整交付金・国保特別会計予算 2 TKPの運用状況 3 アウトプット(受診勧奨者数) 4 町内医療機関の実施状況 (受付時間・予約の要否等)の把握 5 町内事業所の実施状況 (国保かつ事業所健診)の把握	1 臨時職員を雇用できたか 雇用の予算を確保できたか 2 TKPを運用することができたか 3 アウトプット(受診勧奨者数) 4 町内医療機関の実施状況 (受付時間・予約の要否等)の把握 5 町内事業所の実施状況 (国保かつ事業所健診)の把握	1～3について以下の評価手段を用いる  【中間】データヘルスチーム(担当者)の話し合いによる 【最終】データヘルスチーム(管理職含む)の話し合いによる	【中間】 H32.6 【最終】 H32.6	データヘルスチーム(担当) データヘルスチーム(管理職含む)	31年度はできている。令和2年度に関しても、予算の確保はしていく予定  TKPが今年度で使用ができなくなる。ログヘルスでの対応を検討中。 時間内に作業はできている  1日に数件でも電話をかける時間を確保するようにしたい。  5月に各医療機関を訪問し、受診勧奨のお願いに回っている。  現在は未実施である。今後情報収集を検討する。(みなし健診が可能かどうか含めて検討)	

事業評価計画

個別保健事業名: 令和元年度 特定保健指導実施率の向上

評価の枠組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策
アウトカム	1. 特定保健指導利用者の割合の増加★ 2. 各対象者に対する行動目標は適切に設定されたか 3. 対象者の健康状態の改善	1. ①実施率(終了者数/対象者数) ②終了率(終了者数/利用者数) 2. ①行動目標達成率 ②プログラム参加継続率 3. ①指導前の腹囲・体重・血圧・生活習慣 ②終了時の腹囲・体重・血圧・生活習慣	1. ①実施率 16.7% ②終了率 100%(脱落者なし) 2. 各対象者に対する行動目標が適切に設定される 3. 特定保健指導終了者の測定値・生活習慣が改善する	1. 法定報告 2. 支援記録 3. 支援記録、担当管理栄養士への聞き取り	1～3. H32.3月 法定報告は H32.10月頃	データヘルス チーム (担当)	【中間評価 R1.11.13】 1～3. 現時点で終了者がいない。 【最終評価 R2.3.25】 対象者数69人 指導中19人(JMO6人、町環保健師3人、直	
アウトプット	1. 利用助奨の実施件数 2. 特定保健指導の実施件数	1. 利用助奨の実施 ①特定保健指導対象者数 ②利用助奨実施件数 2. 特定保健指導実施件数(うち委託件数) ①動機付け支援実施件数(うち委託件数) ②積極的支援実施件数(うち委託件数)	1. 特定保健指導対象者 全員 2. アウトカム(特定保健指導の実施率)	1. 対象者名簿、電話動奨業務報告書 2. 支援記録	1～2. 2ヶ月毎	データヘルス チーム (担当)	【中間評価 R1.11.13】 1. 対象者全員に利用助奨実施 2. 特定保健指導実施件数14人(3人) 動機づけ支援:7人(3人) 積極的支援:4人(0人) 【最終評価 R2.3.25】	【中間評価 R1.11.13】 ・利用助奨では休日・昼間・夜間等、時間を要して複数回要電してくれているが、保健指導までつながる件数が少ない。 ・支援内容や電話動奨の状況などの情報は、面接後に委託先が市町村へ送しづけるため、情報共有はできていない。
プロセス	1. 対象者の抽出 2. 事前通知の送付 3. 利用助奨の実施 ①集団健診結果報告会の実施 ②電話動奨の実施 ③訪問動奨の実施(電話不通・電話番号未把握等) 4. 動奨結果の集約 5. 特定保健指導の実施	1. 対象者の抽出状況 2. 事前通知の送付状況 3. アウトプット(利用助奨実施件数) ①結果報告会来所者数 ②通話件数(うち委託件数) ③訪問件数 4. ①特定保健指導利用につながった人数 ②特定保健指導未利用者数・未利用理由 5. アウトプット(特定保健指導利用者数)	1. おおむね2ヶ月毎に対象者の抽出が出来る 2. 対象者抽出後、2週間以内に送付 3. アウトプット(利用助奨実施件数) ①集団健診での特定保健指導対象者 全員 ②電話番号把握者 全員 ③電話不通・電話番号未把握者 全員 4. 動奨後、未利用者数・未利用理由を把握できる 5. ①対象者に応じた方法で特定保健指導を実施できる ②業務時間内に特定保健指導を実施できる	1. 対象者名簿 2. 対応記録、電話動奨業務報告書 3. 電話動奨業務報告書 4. 支援記録 5. 支援記録	1～5. 2ヶ月毎	データヘルス チーム (担当)	【中間評価 R1.11.13】 1～2. 実施できている。 3. 委託先の契約内容に利用助奨も含まれているため、委託先が実施。 ①の対象者には結果をお返しする際に、電話動奨があることをお伝えしている。 ③は2件いるため直営で実施予定。 4～5. 実施できている。 【最終評価 R2.3.25】	・特定健診の結果をお返しするタイミングで初回面接を行うと、特定保健指導につながりやすい。しかし、初回面接を直営で行ってしまうと、契約上JMOへの依頼ができなくなる。集団健診は直営で実施し、個別検診をJMCIに委託する形で検討している。 【最終評価 R2.3.25】
ストラクチャー	1. 事業実施に必要な予算が確保できたか 2. 事業実施に必要な人員が確保できたか 3. 健診・実施記録の集約方法は適切か 4. 委託先との調整は十分できたか 5. 保健指導実施者の研修の機会を確保できたか	1. 事業実施に必要な予算が確保されている 2. 事業実施に必要な人員が確保されている 3. ①個人情報適切に管理している ②健診やレポート情報で評価できる体制を整えている ③特定保健指導の内容について記録を残している ④委託先から支援記録が提出されている 4. ①年度当初に委託先と委託内容について確認を行う ②必要時、委託先と情報共有を行っている 5. 県等が開催する研修への参加状況	1～5. 評価指標の達成状況	1～5. 管理職を含むデータヘルsteamの話し合い	中間評価 H31.11月 最終評価 H32.3月	データヘルス チーム (管理職含む)	【中間評価 R1.11.13】 1～4. 達成できている。 5. 県主催の研修会に参加できた。 【最終評価 R2.3.25】 中間評価に同じ。	

事業評価計画

個別保健事業名：令和元年度糖尿病性腎症重症化予防事業

評価の特長	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策
アウトカム	<p>【プログラムⅠ】</p> <p>1. 医療機関受診者の割合の増加</p> <p>2. 治療継続者の割合の増加</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>1. 治療継続者の割合の増加</p> <p>2. 血糖コントロール不良者の割合の減少 (HbA1cが8.4%以上)</p> <p>3. 糖尿病性腎症による新規透析導入患者数の減少</p>	<p>【プログラムⅠ】</p> <p>1. 保健師等の受診勧奨により、医療機関受診につながった未治療者の割合</p> <p>2. 保健師等の受診勧奨により、医療機関受診につながった治療中断者の割合</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>1. 治療継続者の割合</p> <p>2. 血糖コントロール不良者の割合</p> <p>3. 糖尿病性腎症による新規透析導入患者数</p>	<p>【プログラムⅠ】</p> <p>1. 医療機関受診率 100%(未治療者)</p> <p>2. 治療継続率 100%(治療中断者)</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>1. 治療継続率 100%</p> <p>2. 未設定</p> <p>3. 糖尿病性腎症による新規透析患者 0名</p>	<p>【プログラムⅠ】</p> <p>1. 受診勧奨から6か月後のレセプト情報</p> <p>2. 受診勧奨から6か月後のレセプト情報</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>1. レセプト情報、対応記録</p> <p>2. 情報提供書、糖尿病連携手帳</p> <p>3. KDBより抽出</p>	<p>中間 H31.10月</p> <p>最終 H32.3月</p>	データヘルスチーム(担当)	<p>【中間評価 R1.11.13】</p> <p>I・Ⅱとも評価時点で実績なし。</p> <p>【最終評価 R2.3.25】</p> <p>【プログラムⅠ】</p> <p>1. 33.3%</p> <p>2. 33.3%</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>実績なし。</p>	
アウトプット	<p>【プログラムⅠ】</p> <p>1. 受診勧奨の実施</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>1. 医療機関と連携した保健指導の実施 (クニツク主佐・小谷医師)</p>	<p>【プログラムⅠ】</p> <p>1. ①未治療・治療中断対象者数</p> <p>②未治療・治療中断者への受診勧奨件数</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>1. ①なかとさ病院に紹介された人数</p> <p>②保険者による保健指導の対象となった人数</p> <p>③保健指導の実施人数</p>	<p>【プログラムⅠ】</p> <p>1. 受診勧奨対象者 全員</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>1. 対象者本人・かかりつけ医の同意の得られた保健指導対象者 全員</p>	<p>【プログラムⅠ】</p> <p>1. 対応記録</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>1. 情報提供書、対応記録</p>	毎月	データヘルスチーム(担当)	<p>【中間評価 R1.11.13】</p> <p>【プログラムⅠ】</p> <p>1. 対象者は、未治療者3名・治療中断者1名、受診勧奨件数は3件。</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>1. 0名。</p> <p>【最終評価 R2.3.25】</p> <p>未治療者の3人すべてに勧奨し1人受診、治療中断者3人中2人に勧奨し、1人受診につながった。(うち1名は3月に勧奨)</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>実績なし。</p>	<p>【中間評価 R1.11.13】</p> <p>・勧奨後から時間が経過していないため、現時点で受診率や治療継続率の実績がない。プログラムⅠの対象者として上がってきた方については受診勧奨を行い、レセプト情報で受診の確認をとっていく予定。</p> <p>・昨年度の最終評価から、今年度はプログラムⅠを優先的に介入している。管内の他市町も同様で、プログラムⅡについては今年度にも未実施。医療機関との連絡頻に問わず、プログラムⅡの対象者の中でも優先順位をつけて関わっていくよう検討している。</p>
プロセス	<p>【プログラムⅠ】</p> <p>1. 対象者の選定</p> <p>2. 事前通知の送付</p> <p>3. 訪問又は電話での受診勧奨の実施</p> <p>4. 受診勧奨後の受診状況・治療継続状況の把握</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>5. 対象者の抽出</p> <p>6. 対象者を訪問し、事業概要の説明</p> <p>7. 情報提供書の送付(町一主治医)</p> <p>8. 情報提供書の返信(主治医一町)</p> <p>9. 保険者による保健指導の実施</p>	<p>【プログラムⅠ】</p> <p>1. 対象者の選定状況</p> <p>2. 事前通知の送付状況</p> <p>3. アウトプット(受診勧奨実施件数)</p> <p>4. 受診勧奨から3か月後の受診状況・治療継続状況</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>5. 対象者の抽出状況</p> <p>6. 訪問の実施状況</p> <p>7. 保険者へ送られた情報提供書の件数</p> <p>8. ①プログラム利用無しの件数</p> <p>②専門医療機関に紹介された件数</p> <p>③外来栄養食事指導に紹介された件数</p> <p>④保険者による保健指導に紹介された件数</p> <p>9. 保健指導の実施件数</p>	<p>【プログラムⅠ】</p> <p>1. 対象者の優先順位付けが出来ている</p> <p>2. 対象者選定後、1週間以内に送付</p> <p>3. 事前通知後、2週間以内に訪問</p> <p>4. レセプト情報・訪問等により受診状況を把握している</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>5. 対象者の優先順位付けが出来ている</p> <p>6. プログラムの参加について同意が得られる</p> <p>7. 同意が得られた対象者 全員分</p> <p>8. 未設定</p> <p>9. アウトプット(保健指導)</p>	<p>【プログラムⅠ】</p> <p>1. 対象者名簿</p> <p>2. 対象者名簿</p> <p>3. アウトプット(受診勧奨)</p> <p>4. レセプト情報、対応記録</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>1. 対象者名簿</p> <p>2. 連絡票送付状況、対応記録</p> <p>3. 情報提供書受付状況</p> <p>4. 情報提供書</p> <p>5. アウトプット(保健指導)</p>	毎月	データヘルスチーム(担当)	<p>【中間評価 R1.11.13】</p> <p>【プログラムⅠ】</p> <p>1~4. おおむね計画通りに実施できている。</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>5~9. 実績なし。</p> <p>【最終評価 R2.3.25】</p> <p>【プログラムⅠ】</p> <p>1~4. おおむね計画通りに実施できた。</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>実績なし。</p>	<p>【最終評価 R2.3.25】</p> <p>・糖尿病腎症重症化予防の対象者の中には、町のハイリスクと重複している人も多い。受診勧奨・保健指導の記録の残し方について、ログヘルスで管理できないか検討していく。</p>
ストラクチャー	<p>【プログラムⅠ】</p> <p>1. 事業実施に必要な予算が確保できたか</p> <p>2. 事業実施に必要な事務職・専門職が確保できたか</p> <p>3. 健診・医療データの集約方法</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>上記1~3に加え、</p> <p>4. 関係者間の理解が得られ、連携体制が構築できたか</p> <p>5. 保健指導実施者の研修の機会を確保できたか</p>	<p>【プログラムⅠ・Ⅱ】</p> <p>1~5. 評価項目の達成状況</p>	<p>【プログラムⅠ】</p> <p>1. 事業実施に必要な予算が確保されている</p> <p>2. 滞りなく、効率的に事業が実施できる人員が確保されている</p> <p>3. ①個人情報適切に管理している</p> <p>②長期的に健診やレセプト情報で評価できる体制を整えている</p> <p>③受診勧奨・保健指導の内容について記録を残している</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>4. ①係内で進捗状況の共有ができています</p> <p>②かかりつけ医と、治療状況・保健指導の内容について情報共有ができています。</p> <p>5. 保健指導実施者の研修の機会が確保されている</p>	<p>1~5.</p> <p>管理職を含むデータヘルステームの話し合い</p>	<p>中間 H31.10月</p> <p>最終 H32.3月</p>	データヘルスチーム(管理職含む)	<p>【中間評価 R1.11.13】</p> <p>【プログラムⅠ】</p> <p>1~2. おおむね計画通りに実施できている。</p> <p>3. 町ハイリスク者と重複している人も多く、記録の残し方については検討していく必要がある。</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>4. 実績なし。</p> <p>5. 県主催の研修会や担当者会へ参加できている。</p> <p>【最終評価 R2.3.25】</p> <p>【プログラムⅠ】</p> <p>1~4. おおむね計画通りに実施できた。</p> <p>【プログラムⅡ】</p> <p>実績なし。</p>	<p>健診受診後時間が空いてしまうと、受診勧奨をしても、「次の健診の結果を見てから考える」など受診につながりにくいケースがみられた。特にプログラムⅠの対象者には、抽出後早期に関わっていく必要があると考える。今年度は担当が重要になったことや、訪問による勧奨のみを行ったため、介入が遅れたことも要因と考えられるため、状況に応じて手帳や電話などの勧奨手段を活用していくことも必要である。</p>

事業評価計画				個別保健事業名 令和元年度 ハイリスク者の受療勧奨事業(重症化予防)				
評価の枠組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策
アウトカム	1 対象者がどれだけ医療機関を受診したか★	1 医療機関受診率	1 医療機関受診率 50%	1 レセプト情報、対応記録で確認	H32.6月	データヘルスチーム(担当者)	1 現時点で現状把握は出来ていない状況である。(R2.3 確認予定)	県の糖尿病性腎症重症化予防事業の対象者と町のハイリスク県事業と該当者が重複していることも多いが、県の基準だけでは絞り切れないため、町独自の基準を新たに設ける。既存のシステムが使えなくなることもあり、数値の一本化。数値的には対象者の絞り込みが必要のため少し高い数値とする(対応できる保健師が少ない)
	2 30年度対象者が治療を継続できたか	2 30年度対象者の治療継続状況	2 31年度対象者の治療継続状況が把握できる	2 レセプト情報、対応記録で確認			1 現時点で現状把握は出来ていない状況である。(R2.3 確認予定)	
	3 30年度対象者のリスク因子が改善したか	3 リスク該当項目の改善の有無	3 リスク該当項目の改善率 50%	3 31年度対象者の、今年度の健診結果を確認する			1 現時点で現状把握は出来ていない状況である。(R2.3 確認予定)	
アウトプット	1 受診勧奨(保健指導)を行う★ ①集団健診受診者 ・健診結果報告会の実施 ②個別健診受診者 ・嘱託保健師による面接(Te/訪問)	1 受診勧奨者数 ①集団健診受診者 ・健診結果報告会への来所者数 ②個別健診受診者 ・嘱託保健師による対応数	1 受診勧奨(保健指導)の実施 対象者数 60名程度 勧奨者数 60名程度(対象者 全員)	1 対応記録で確認	H31.12月 H32.6月	データヘルスチーム(担当者)	1 ① 集団健診受診者のうち、受診勧奨(保健指導)対象者は2人であったが、保健師による直接指導することにしたので、健診結果報告会の実施はしていない。 1 ② 嘱託保健師による面接(Te/訪問) 件	
	1 結果を把握して、レセプトを確認したうえで対象者を選定することができたか ①集団健診受診者 ②個別健診受診者 2 対象者への案内文書が送付できたか (集団健診受診者のみ、結果報告会の案内送付) 3 個人特性を把握したうえで、受診勧奨(保健指導)を実施できたか 4 対応記録を確認し、チームで支援の方向性・継続支援の必要性を判断できたか 5 医療機関の受診状況を把握できたか	1 対象者の選定 ①健診終了後1ヶ月半以内 ②毎月 2 対象者への案内文書の送付時期 3 アウトカム(医療機関受診率) 4 対応記録に基づくケース会の開催 5 受診状況の把握 ①受診状況をレセプトで確認する ②受診医療機関、受診日を記録する	1~5 評価指標の達成状況	1~5 勧奨判断整理表、対応記録をデータヘルsteamで確認	H31.12月 H32.6月 H31.12月 H32.6月 H32.6月	データヘルスチーム(担当者)	1 ①・② レセプトを確認したうえで、対象者を選定している。 2 31年度は対象者は直接、武田保健師が訪問するといった形をとったので案内は送付していない。 3 ファイルで個人特性等を記録しており、記録を確認したうえで受診勧奨(保健指導)をしている。 4 訪問前に打ち合わせをし、判断している。 (栄養指導が必要な方は正司さんをお願いしている) 3~5名 5 訪問後、保健師が対象者のレセプトを確認し、受診医療機関、受診日等を記録している。	
ストラクチャー	1 事業実施人員は妥当だったか 2 予算の確保ができたか 3 次年度も引き続き管理できる体制か	1 次年度の事業実施に向けて、専門職(保健師)の不足状況 2 予算の確保 3 システムの運用	1 受診勧奨(保健指導)実施人員の不足がない 2 事業実施に必要な予算が確保できる 3 記録を管理するシステムが整理され、運用されている	1~3 データヘルsteam(管理職含む)での話し合い	H32.6月	データヘルスチーム(管理職含む)	事業実施人員は、本来なら増員して希望だが、次年度より事業見直しにつき現状の状態で継続して連携をとる 予算は確保できたので、R2年度も引き続き予算を確保する。 TKPのシステムが使えなくなるので検討している。今後は順次ログヘルスを使用していく(打ち合わせ済)	

## 4. 経年評価指標

### 【医療情報】

#### ①医療費について

総医療費は近年、増加傾向である。また一人当たりの医療費の伸び率を見ても、平成 28 年度から毎年増加しているが、特に令和元年度の入院外の増加幅が突出している。(表 1)

疾患別医療費を見てみると、男性については、入院では「がん」、「筋・骨格系」、「精神疾患」に多くの医療費がかかっており、外来では「動脈硬化症」や「狭心症」などが増加していることが分かる。特に令和元年度には、「慢性腎不全（透析あり）」が入院、外来とも増加しており、総医療費の上昇の一因にもなっている。最も多いのは「その他」であり、その要因について分析する必要がある。

一方、女性は入院については「がん」、「筋・骨格系」、「精神疾患」に多くの医療費がかかっており、その中でも特に生活習慣に起因すると思われる「糖尿病」、「高血圧症」、「脂質異常症」、「狭心症」が令和元年度に大幅に増加している。外来については、「がん」が増加している。(図 2)

表 1

表14) 医療費の変化  
医療費分析の経年比較

(1) 総医療費

項目	総医療費【円】					
	全体		入院		入院外	
	費用額	増減	費用額	増減	費用額	増減
平成28年度	778,084,110		363,753,790		414,330,320	
平成29年度	747,233,020	-30,851,090	363,020,010	-733,780	384,213,010	-30,117,310
平成30年度	758,219,920	10,986,900	368,204,370	5,184,360	390,015,550	5,802,540
令和01年度	870,853,090	112,633,170	403,046,330	34,841,960	467,806,760	77,791,210
令和02年度						
令和03年度						

KDB帳票No.1 令和2年7月15日抽出

表14) 医療費の変化

(2) 1人あたり医療費

KDB帳票No.1 令和2年7月15日抽出

項目		1人あたり医療費【円】※			伸び率(%)		
		全体	入院	入院外	全体	入院	入院外
H28年度	保険者【地区】	30,360	14,190	16,170			
	同規模	26,490	11,510	14,980			
	高知県	29,220	13,370	15,850			
	国	25,230	10,150	15,080			
H29年度	保険者【地区】	31,600	15,350	16,250	4%	8%	0%
	同規模	27,410	12,050	15,360	3%	5%	3%
	高知県	30,300	14,020	16,280	4%	5%	3%
	国	26,090	10,560	15,530	3%	4%	3%
H30年度	保険者【地区】	34,080	16,550	17,530	8%	8%	8%
	同規模	27,880	12,450	15,430	2%	3%	0%
	高知県	30,770	14,520	16,250	2%	4%	-0%
	国	26,440	10,870	15,570	1%	3%	0%
R01年度	保険者【地区】	40,100	18,560	21,540	18%	12%	23%
	同規模	28,910	12,900	16,010	4%	4%	4%
	高知県	31,430	14,670	16,760	2%	1%	3%
	国	27,350	11,220	16,130	3%	3%	4%
R02年度	保険者【地区】						
	同規模						
	高知県						
	国						
R03年度	保険者【地区】						
	同規模						
	高知県						
	国						

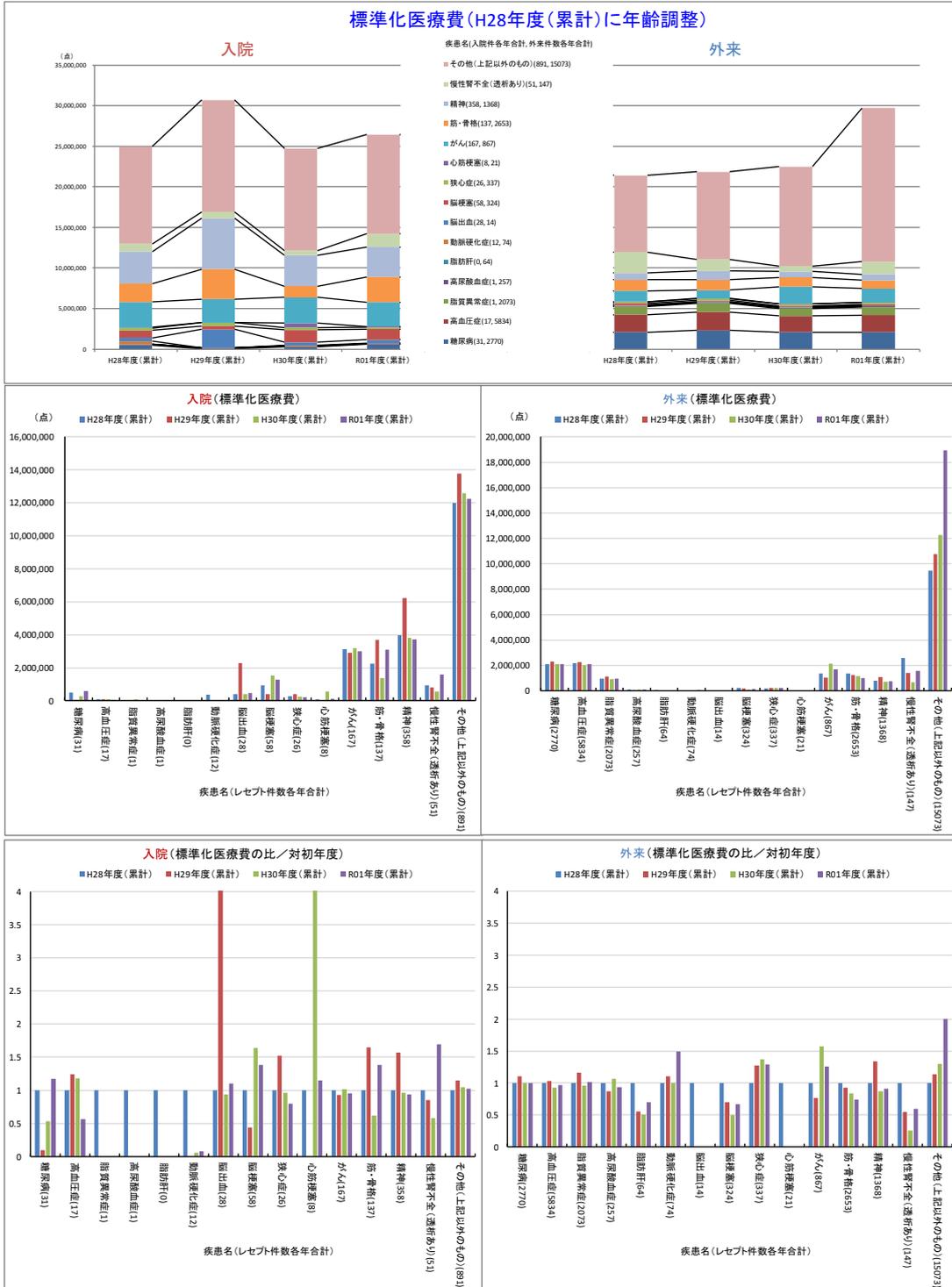
※1ヶ月医療費の年度内平均を表示

図 2

疾病別医療費分析(生活習慣病)

中土佐町 H28年度(累計)~R01年度(累計) 男性 0~74歳

2020年7月15日

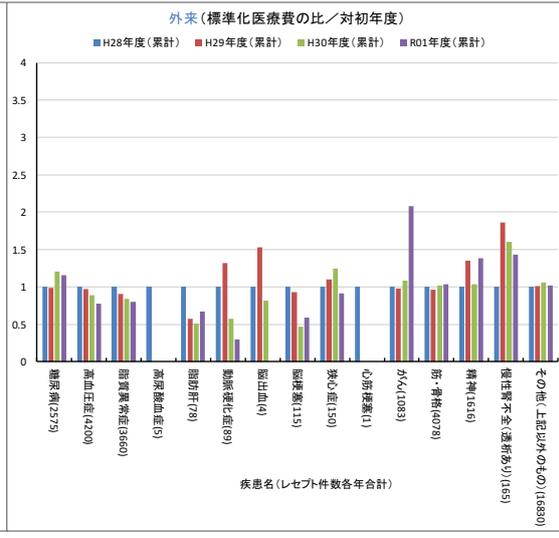
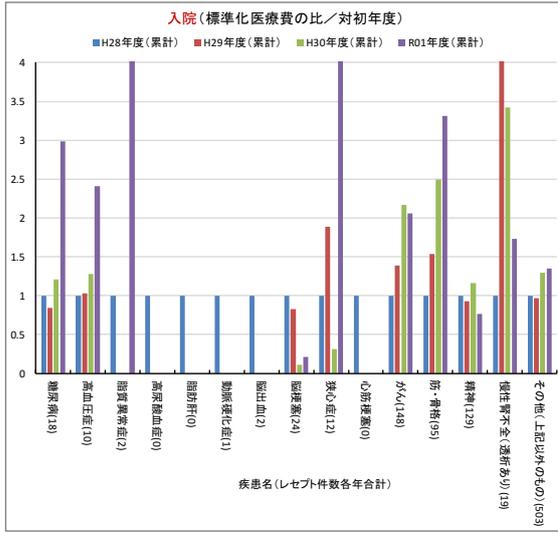
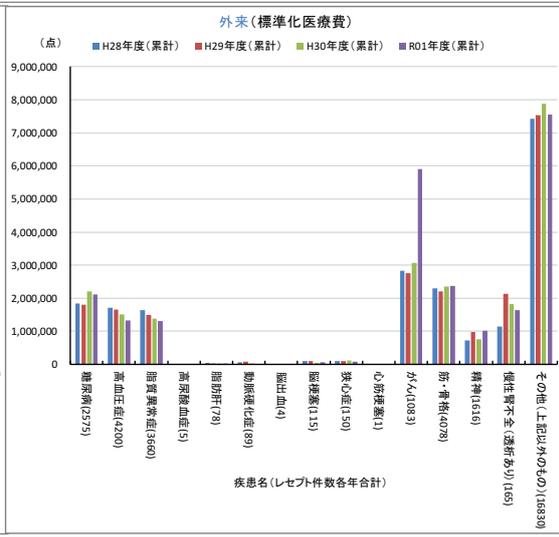
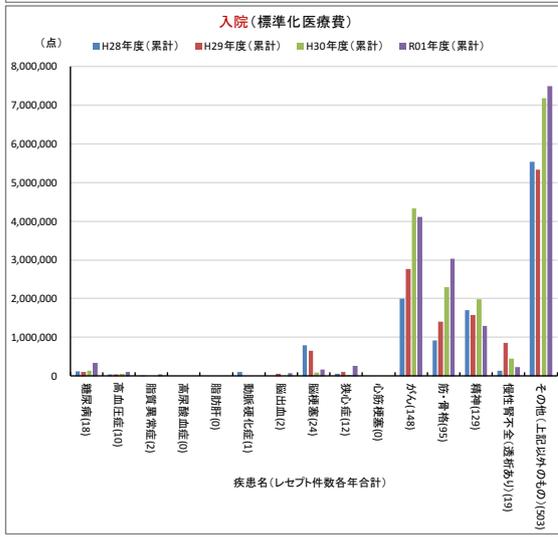
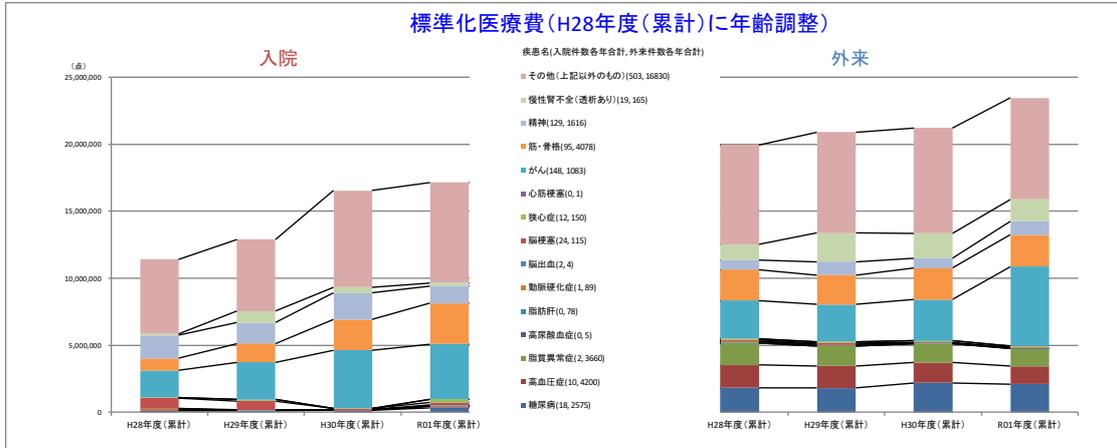


国保データベース(KDB)のCSVファイル(疾病別医療費分析(生活習慣病))より計算。  
 Ver. 1.0 (2017.12.7) 平成29年度厚生労働科学研究費補助金(政策科学推進研究事業)「都道府県医療費適正化計画推進のための健診・医療等の情報活用を担う地域の保健医療人材の育成に関する研究」(研究代表: 積山龍爾)

# 疾病別医療費分析(生活習慣病)

中土佐町 H28年度(累計)～R01年度(累計) 女性 0～74歳

2020年7月15日



国保データベース(KDB)のCSVファイル(疾病別医療費分析(生活習慣病))より計算。  
 Ver. 1.0 (2017.12) 平成29年度厚生労働科学研究費補助金(政策科学研究推進事業)「都道府県医療費適正化計画推進のための健診・医療等の情報活用を担う地域の保健医療人材の育成に関する研究」(研究代表: 横山徹爾)

## ②生活習慣病

重症疾患の発生状況については、虚血性心疾患（心筋梗塞・狭心症）の患者数は緩やかに減少傾向である。それに対し脳血管疾患（脳梗塞・脳出血）は、全体の患者数は減少しているものの、新規患者数は増加傾向である。また人工透析は、患者数はやや減少気味であるが件数が年々増えており、医療費の合計額は増加傾向にある。

基礎疾患については、高尿酸血症以外の疾患では患者数の減少がみられる。（表3，4）

表 3

### 【重症疾患】

疾病の発生状況の経年変化  
疾病の発生状況(中長期的な目標疾患)

	虚血性心疾患									
	新規患者数※1	増減	心筋梗塞				狭心症			
			患者数	増減	入院医療費(※2)	伸び率	患者数	増減	入院医療費(※2)	伸び率
H28年度	4.0		2.8		931,470		62.4		3,264,530	
H29年度	7.0	3.0	6.1	3.3	0	-100.0%	60.8	-1.8	4,568,670	39.9%
H30年度	6.0	-1.0	6.1	0.0	6,240,490		55.2	-5.6	2,127,320	-53.4%
R1年度	5.0	-1.0	5.1	-1.0	2,039,930		56.3	1.1	4,502,360	111.6%
R2年度										

	脳血管疾患													
	新規患者数※1	増減	脳梗塞						脳出血					
			新規患者数※1	増減	患者数	増減	入院医療費(※2)	伸び率	新規患者数※1	増減	患者数	増減	入院医療費(※2)	伸び率
H28年度	7.0		5		64.7		17,233,410		2.0		11.1		4,155,390	
H29年度	10.0	3.0	7	2.0	55.6	-9.1	11,318,240	-34.3%	3.0	1.0	11.0	-0.1	6,380,300	53.5%
H30年度	7.0	-3.0	5	-2.0	51.7	-3.9	16,992,500	50.1%	2.0	-1.0	10.8	-0.2	2,262,240	-64.5%
R1年度	14.0	7.0	11	6.0	49.3	-2.4	12,538,640	-26.2%	3.0	1.0	10.1	-0.7	5,661,790	150.3%
R2年度														

※1: 新規患者は費用額〇円以上のレセプトを新規とみなし患者数をカウントする  
※2: 入院医療費については最大医療資源備病者をカウントする

人工透析を算定しているレセプト集計

	件数	患者数	新規患者数	糖尿病有病者数	合計金額
H28年度	113	13人		5人	50,411,130円
H29年度	102	12人		3人	58,108,010円
H30年度	124	11人		2人	68,347,260円
R1年度	137	11人		4人	69,301,740円
R2年度					

表 4

### 【基礎疾患】

疾病の発症状況と経年変化  
共通する基礎疾患(短期的な目標疾患)

疾患	糖尿病				高血圧				脂質異常症				高尿酸血症							
	患者数(月平均)	増減	増減率	新規患者数※(健保被保千人当たり)(年度内合計)		患者数(月平均)	増減	増減率	新規患者数※(健保被保千人当たり)(年度内合計)		患者数(月平均)	増減	増減率	新規患者数※(健保被保千人当たり)(年度内合計)						
				保険者	同規模※				保険者	同規模※				保険者	同規模※	保険者	同規模※			
平成28年	251			67.89	92.12	556			91.30	91.93	442			69.76	77.89	125			20.13	18.80
平成29年	233	-17	-7%	67.49	96.07	530	-26	-5%	104.03	96.86	421	-20	-5%	81.19	79.16	119	-6	-5%	23.85	19.88
平成30年	222	-11	-5%	78.73	98.92	514	-17	-3%	118.10	97.96	405	-16	-4%	85.74	81.42	121	2	2%	33.43	20.98
令和01年	219	-3	-1%	89.52	99.52	507	-6	-1%	122.12	99.46	402	-3	-1%	88.96	81.96	126	4	4%	34.81	21.02
令和02年																				
令和03年																				

年間集計

※新規患者数は診療開始日=診療年月の場合に新規とカウントしている  
※同規模は直接法で保険者の性・年齢構成に調整している

## 【健診情報】

男性の収縮期血圧は、65~74 歳で6割程の有所見となっており、増加傾向である。拡張期血圧については40~64 歳・65~74 歳共に増加傾向である。また HbA1c については、いずれの年齢層も横ばいである。(表 5)

男性はともにメタボ該当者及び予備軍においても増加傾向にある。リスク別にみても増加傾向にある。(表 6)

拡張期血圧 85 以上は近年増加傾向にあり、令和元年度では県・国平均と比較して高くなっている。(図 7)

中性脂肪 150 以上は県平均程であるが、国と比較するとかなり高い。(図 8)

食べる速度が速い・20 歳時体重から 10k g 体重増加が増加傾向である。(表 9)

特定健診受診率の経年比較では男女ともに横ばいである(表 10)

特定保健指導では利用率も低く、また終了率も低い状態である。(表 12)

表 5

【有所見】

健診データのうち有所見者割合の高い項目や年代を把握する

		厚生労働省様式6-2~6-7																		補足項目															
男性		BMI	腹囲		中性脂肪		GPT		HDL-C		空腹時血糖		HbA1c		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDL-C		アルブミン		eGFR		尿蛋白		GOT		γ-GTP		収縮期血圧		
		25以上	85以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上	130以上	85以上	120以上	1.3以上	45未満	+	31以上	51以上	平均値																	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	mmHg	
H28	合計	94	29.7	156	49.4	90	28.5	74	23.4	16	5.1	3	0.9	185	58.5	64	20.3	152	48.1	62	19.6	110	34.8	6	1.9										
	40-64	35	31.0	55	48.7	37	32.7	31	27.4	3	2.7	3	2.7	59	52.2	31	27.4	45	39.8	24	21.2	34	30.1	2	1.8										
	65-74	59	29.1	101	49.8	53	26.1	43	21.2	13	6.4	0	0.0	126	62.1	33	16.3	107	52.7	38	18.7	76	37.4	4	2.0										
H29	合計	87	29.2	142	47.7	72	24.2	68	22.8	15	5.0	1	0.3	170	57.0	66	22.1	136	45.6	70	23.5	105	35.2	8	2.7										
	40-64	30	30.3	41	41.4	28	28.3	30	30.3	4	4.0	0	0.0	47	47.5	25	25.3	39	39.4	30	30.3	32	32.3	1	1.0										
	65-74	57	28.6	101	50.8	44	22.1	38	19.1	11	5.5	1	0.5	123	61.8	41	20.6	97	48.7	40	20.1	73	36.7	7	3.5										
H30	合計	94	32.5	148	51.2	84	29.1	65	22.5	17	5.9	0	0.0	166	57.4	58	19.0	154	53.3	71	24.6	99	34.3	7	2.4										
	40-64	29	32.6	42	47.2	31	34.8	28	31.5	2	2.2	0	0.0	49	55.1	20	22.5	43	48.3	26	29.2	27	30.3	3	3.4										
	65-74	65	32.5	106	53.0	53	26.5	37	18.5	15	7.5	0	0.0	117	58.5	38	17.5	111	55.5	45	22.5	72	36.0	4	2.0										
R01	合計	101	32.7	175	56.6	92	29.8	64	20.7	21	6.8	0	0.0	180	58.3	55	17.8	172	55.7	104	33.7	125	40.5	7	2.3										
	40-64	33	34.4	56	58.3	29	30.2	26	27.1	6	6.3	0	0.0	58	60.4	19	19.8	44	45.8	35	36.5	42	43.8	2	2.1										
	65-74	68	31.9	119	55.9	63	29.6	38	17.8	15	7.0	0	0.0	122	57.3	36	16.9	128	60.1	69	32.4	83	39.0	5	2.3										
R02	合計																																		
	40-64																																		
	65-74																																		
R03	合計																																		
	40-64																																		
	65-74																																		

		厚生労働省様式6-2~6-7																		補足項目															
女性		BMI	腹囲		中性脂肪		GPT		HDL-C		空腹時血糖		HbA1c		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDL-C		アルブミン		eGFR		尿蛋白		GOT		γ-GTP		収縮期血圧		
		25以上	90以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上	130以上	85以上	120以上	1.3以上	45未満	+	31以上	51以上	平均値																	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	mmHg	
H28	合計	85	22.3	68	17.8	72	18.9	45	11.8	6	1.6	1	0.3	238	62.5	13	3.4	176	46.2	51	13.4	201	52.8	0	0.0										
	40-64	24	19.7	20	16.4	25	20.5	19	15.6	1	0.8	0	0.0	64	52.5	1	0.8	47	38.5	21	17.2	62	50.8	0	0.0										
	65-74	61	23.6	48	18.5	47	18.1	26	10.0	5	1.9	1	0.4	174	67.2	12	4.6	129	49.8	30	11.6	139	53.7	0	0.0										
H29	合計	82	23.9	64	18.7	61	17.8	39	11.4	7	2.0	2	0.6	212	61.8	13	3.8	172	50.1	54	15.7	174	50.7	0	0.0										
	40-64	30	28.6	21	20.0	19	18.1	16	15.2	1	1.0	0	0.0	59	56.2	3	2.9	38	36.2	12	11.4	60	57.1	0	0.0										
	65-74	52	21.8	43	18.1	42	17.6	23	9.7	6	2.5	2	0.8	153	64.3	10	4.2	134	56.3	42	17.6	114	47.9	0	0.0										
H30	合計	79	23.8	65	19.6	66	19.9	33	9.9	4	1.2	1	0.3	210	63.3	11	3.3	156	47.0	54	16.3	159	47.9	0	0.0										
	40-64	26	27.7	17	18.1	19	20.2	12	12.8	2	2.1	0	0.0	57	60.6	2	2.1	28	29.8	13	13.8	56	59.6	0	0.0										
	65-74	53	22.3	48	20.2	47	19.7	21	8.8	2	0.8	1	0.4	153	64.3	9	3.8	128	53.8	41	17.2	103	43.3	0	0.0										
R01	合計	80	24.4	71	21.6	56	17.1	41	12.5	2	0.6	0	0.0	206	62.8	8	2.4	166	50.6	71	21.6	165	50.3	1	0.3										
	40-64	21	24.4	18	20.9	13	15.1	16	18.6	1	1.2	0	0.0	49	57.0	1	1.2	29	33.7	16	18.6	42	48.8	0	0.0										
	65-74	59	24.4	53	21.9	43	17.8	25	10.3	1	0.4	0	0.0	157	64.9	7	2.9	137	56.6	55	22.7	123	50.8	1	0.4										
R02	合計																																		
	40-64																																		
	65-74																																		
R03	合計																																		
	40-64																																		
	65-74																																		

表 6  
【メタボ】

メタボリックシンドローム該当者・予備群の把握（厚生労働省様式6-8）

性別		健診受診者		腹囲のみ		予備群		高血糖			高血圧		脂質異常症		該当者		血糖+血圧		血糖+脂質		血圧+脂質		3項目全て		
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
H28	合計	316	40.1	23	7.3	52	16.5	3	0.9	42	13.3	7	2.2	81	25.6	16	5.1	3	0.9	36	11.4	26	8.2		
	40-64	113	31.7	12	10.6	13	11.5	0	0.0	10	8.8	3	2.7	30	26.5	5	4.4	2	1.8	14	12.4	9	8.0		
	65-74	203	47.0	11	5.4	39	19.2	3	1.5	32	15.8	4	2.0	51	25.1	11	5.4	1	0.5	22	10.8	17	8.4		
H29	合計	298	39.8	18	6.0	54	18.1	7	2.3	38	12.8	9	3.0	70	23.5	12	4.0	2	0.7	36	12.1	20	6.7		
	40-64	99	31.7	5	5.1	14	14.1	3	3.0	9	9.1	2	2.0	22	22.2	2	2.0	1	1.0	11	11.1	8	8.1		
	65-74	199	45.5	13	6.5	40	20.1	4	2.0	29	14.6	7	3.5	48	24.1	10	5.0	1	0.5	25	12.6	12	6.0		
H30	合計	289	40.3	15	5.2	48	16.6	3	1.0	40	13.8	5	1.7	85	29.4	17	5.9	2	0.7	44	15.2	22	7.6		
	40-64	89	31.2	7	7.9	10	11.2	1	1.1	8	9.0	1	1.1	25	28.1	6	6.7	1	1.1	11	12.4	7	7.9		
	65-74	200	46.3	8	4.0	38	19.0	2	1.0	32	16.0	4	2.0	60	30.0	11	5.5	1	0.5	33	16.5	15	7.5		
R01	合計	309	43.1	16	5.2	66	21.4	4	1.3	53	17.2	9	2.9	93	30.1	14	4.5	1	0.3	47	15.2	31	10.0		
	40-64	96	34.8	8	8.3	16	16.7	3	3.1	12	12.5	1	1.0	32	33.3	6	6.3	1	1.0	15	15.6	10	10.4		
	65-74	213	48.3	8	3.8	50	23.5	1	0.5	41	19.2	8	3.8	61	28.6	8	3.8	0	0.0	32	15.0	21	9.9		
R02	合計																								
	40-64																								
	65-74																								
R03	合計																								
	40-64																								
	65-74																								

性別		健診受診者		腹囲のみ		予備群		高血糖			高血圧		脂質異常症		該当者		血糖+血圧		血糖+脂質		血圧+脂質		3項目全て		
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
H28	合計	381	49.8	9	2.4	16	4.2	2	0.5	11	2.9	3	0.8	43	11.3	5	1.3	6	1.6	14	3.7	18	4.7		
	40-64	122	41.1	3	2.5	7	5.7	0	0.0	6	4.9	1	0.8	10	8.2	0	0.0	3	2.5	4	3.3	3	2.5		
	65-74	259	55.3	6	2.3	9	3.5	2	0.8	5	1.9	2	0.8	33	12.7	5	1.9	3	1.2	10	3.9	15	5.8		
H29	合計	343	47.8	8	2.3	20	5.8	3	0.9	15	4.4	2	0.6	36	10.5	6	1.7	0	0.0	15	4.4	15	4.4		
	40-64	105	41.0	4	3.8	10	9.5	1	1.0	8	7.6	1	1.0	7	6.7	3	2.9	0	0.0	4	3.8	0	0.0		
	65-74	238	51.6	4	1.7	10	4.2	2	0.8	7	2.9	1	0.4	29	12.2	3	1.3	0	0.0	11	4.6	15	6.3		
H30	合計	332	48.6	9	2.7	20	6.0	1	0.3	17	5.1	2	0.6	36	10.8	8	2.4	2	0.6	13	3.9	13	3.9		
	40-64	94	39.2	5	5.3	8	8.5	1	1.1	6	6.4	1	1.1	4	4.3	1	1.1	2	2.1	1	1.1	0	0.0		
	65-74	238	53.7	4	1.7	12	5.0	0	0.0	11	4.6	1	0.4	32	13.4	7	2.9	0	0.0	12	5.0	13	5.5		
R01	合計	328	48.8	7	2.1	25	7.6	0	0.0	23	7.0	2	0.6	39	11.9	8	2.4	6	1.8	11	3.4	14	4.3		
	40-64	86	36.4	3	3.5	5	5.8	0	0.0	5	5.8	0	0.0	10	11.6	3	3.5	3	3.5	1	1.2	3	3.5		
	65-74	242	55.5	4	1.7	20	8.3	0	0.0	18	7.4	2	0.8	29	12.0	5	2.1	3	1.2	10	4.1	11	4.5		
R02	合計																								
	40-64																								
	65-74																								
R03	合計																								
	40-64																								
	65-74																								

尿酸・Hb A1c・血糖については、全国一律の検査項目ではないため全国比較はできない。この3項目については自保険者の経年変化をみる

図 7

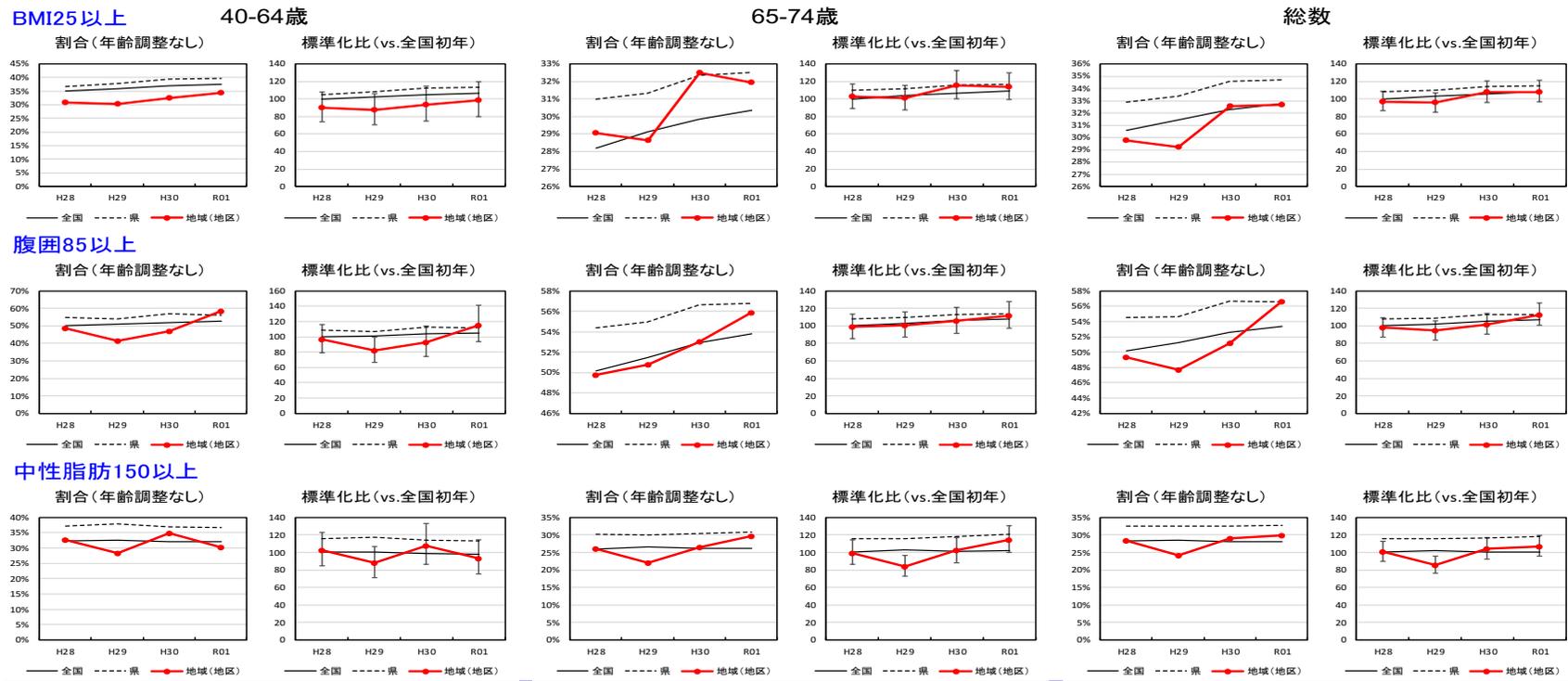
厚生労働省様式(様式5-2) 健診有所見者状況(男女別・年齢調整)の経年推移【男性】

健診受診者数		H28	H29	H30	R01	R02
40-64歳	全国	1184726	1145176	1139093	1049653	3397
	県	7065	6667	6632	6356	2
	地域(地区)	113	99	89	96	0
65-74歳	全国	2232094	2260890	2245529	2134793	5243
	県	13885	14138	14544	14210	2
	地域(地区)	203	199	200	213	0
総数	全国	3416820	3406066	3384622	3184446	8640
	県	20950	20805	21176	20566	4
	地域(地区)	316	298	289	309	0

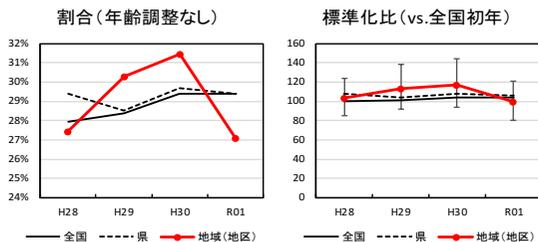
計算開始

作成日: 2020/7/17  
 保険者番号: 390724  
 保険者名: 中土佐町  
 地区:

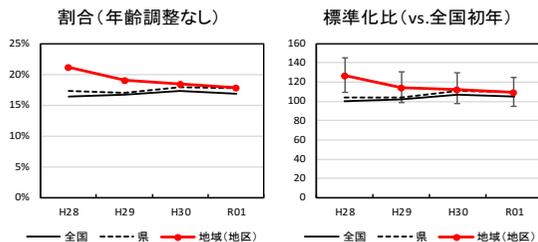
国保データベース(KDB)のCSVファイル(厚生労働省様式(様式5-2) 健診有所見者状況(男女別・年代別))より計算。  
 標準化比は全国(初年度)を基準とした間接法による。誤差線は95%信頼区間。  
 Ver. 1.2 (2019.12.20) 平成26年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)健診・医療・介護等データベースの活用による地区診断と保健事業の立案を  
 含む生活習慣病対策事業を担う地域保健人材の育成に関する研究(H25-循環器等(生醫)-一般-014)(研究代表:横山徹南)



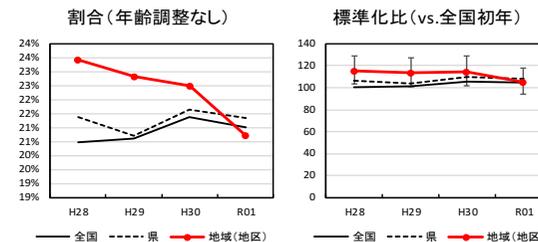
### ALT(GPT)31以上 40-64歳



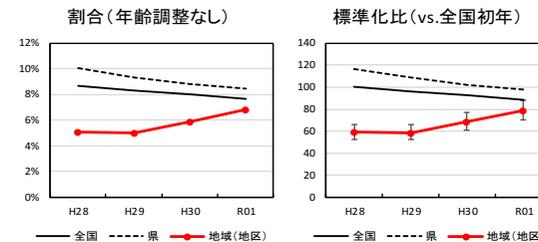
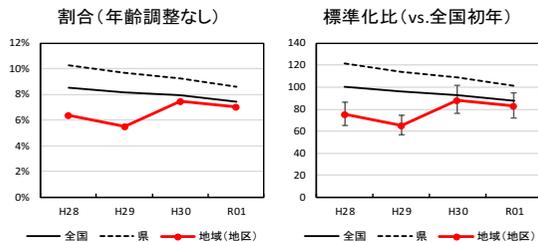
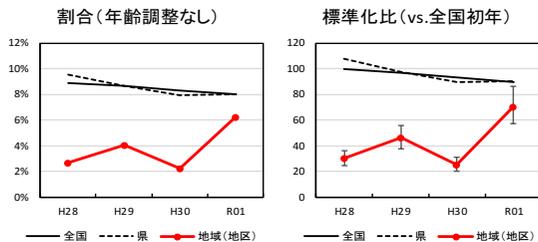
### 65-74歳



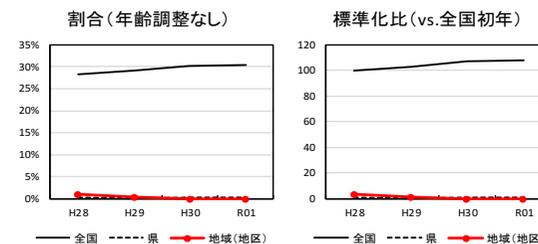
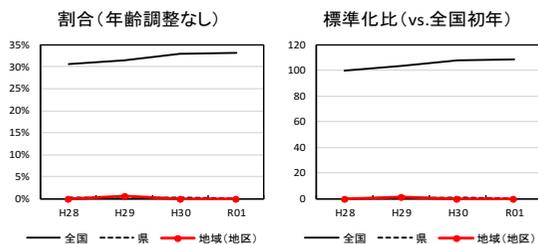
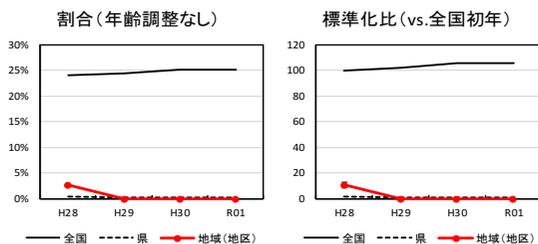
### 総数



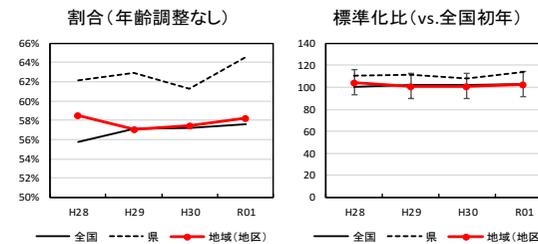
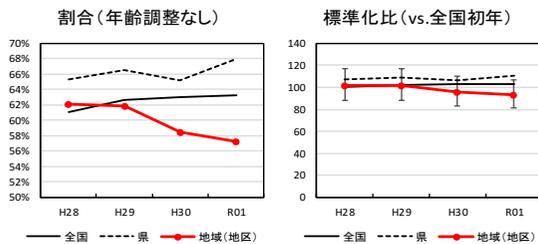
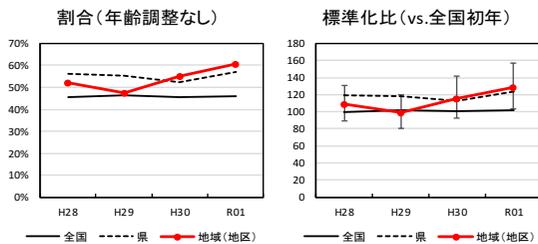
### HDLコレステロール40未満



### 血糖100以上

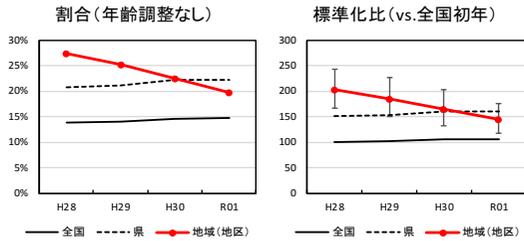


### HbA1c5.6以上

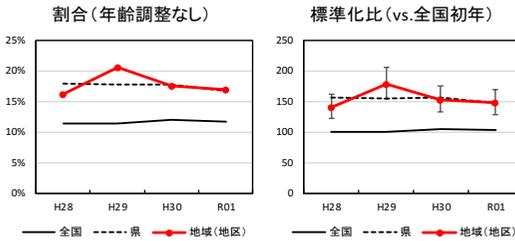


尿酸7.0以上

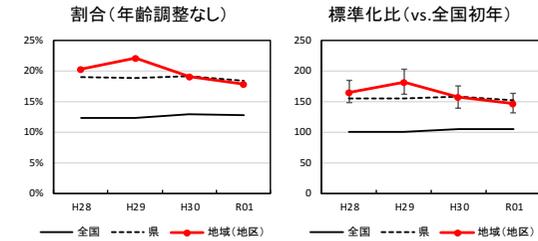
40-64歳



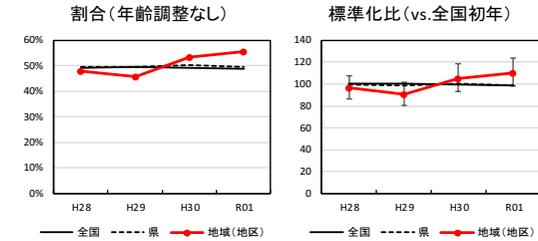
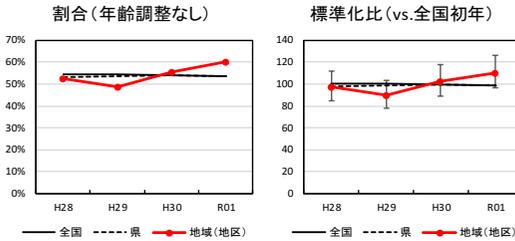
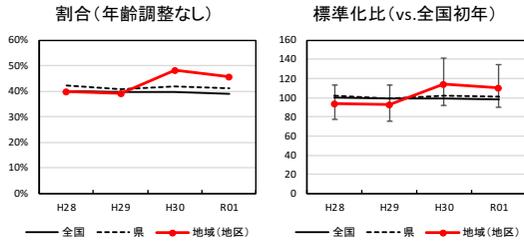
65-74歳



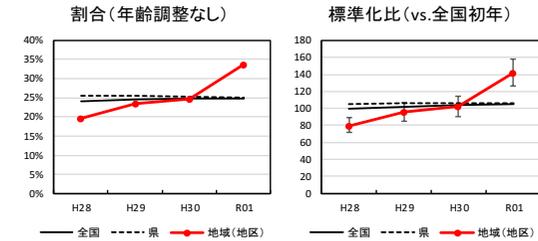
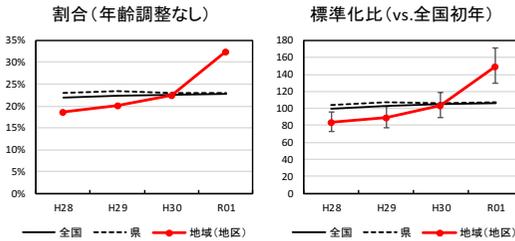
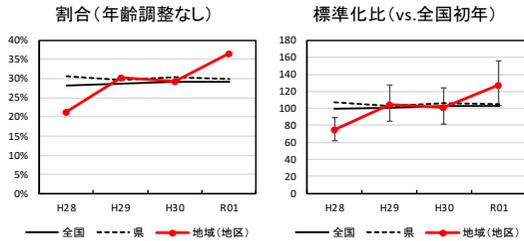
総数



収縮期血圧130以上



拡張期血圧85以上



LDLコレステロール120以上

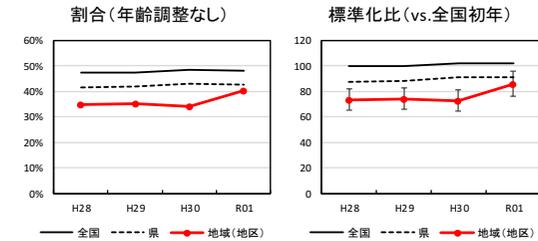
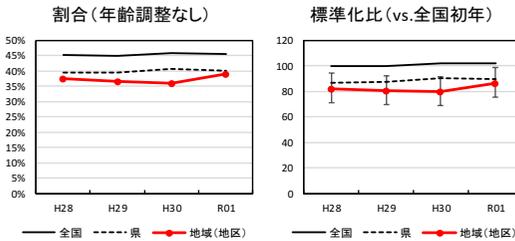
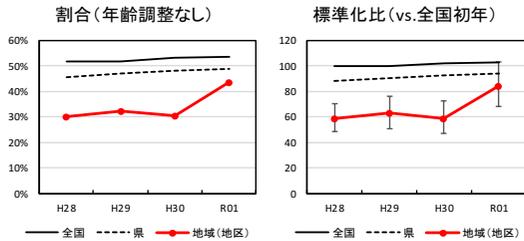


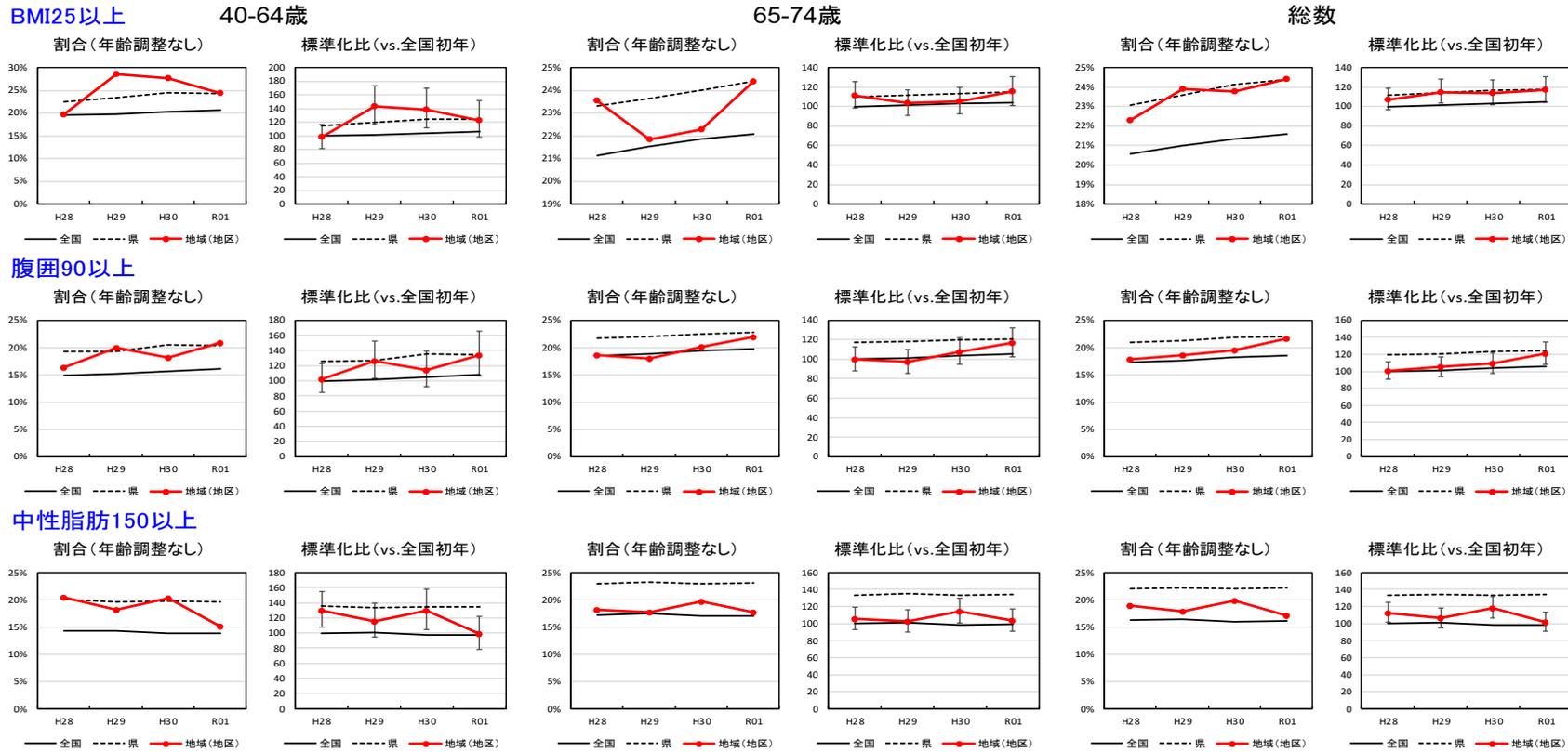
図 8

厚生労働省様式(様式5-2) 健診有所見者状況(男女別・年齢調整)の経年推移【女性】

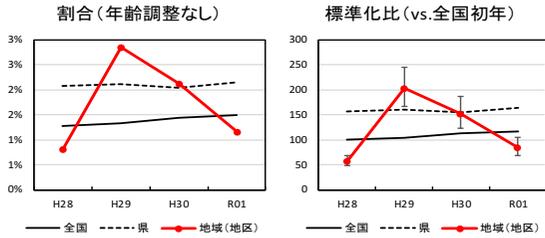
健診受診者数		H28	H29	H30	R01	R02
40-64歳	全国	1531823	1462383	1408678	1280067	1830
	県	8640	7968	7767	7106	1
	地域(地区)	122	105	94	86	0
65-74歳	全国	2949777	2984732	2961751	2818183	3864
	県	18858	18884	19358	18553	1
	地域(地区)	259	238	238	242	0
総数	全国	4481600	4447115	4370429	4098250	5694
	県	27498	26852	27125	25659	2
	地域(地区)	381	343	332	328	0

作成日: 2020/7/17  
 保険者番号: 390724  
 保険者名: 中土佐町  
 地区:

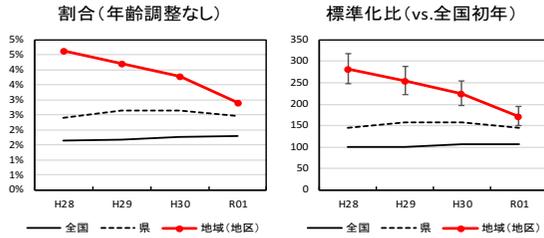
国データベース(KDB)のCSVファイル(厚生労働省様式(様式5-2) 健診有所見者状況(男女別・年代別))より計算。  
 標準化比は全国(初年度)を基準とした間接法による。誤差線は95%信頼区間。



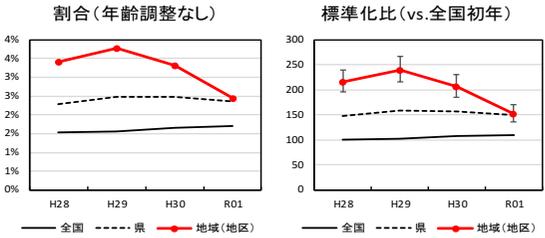
尿酸7.0以上 40-64歳



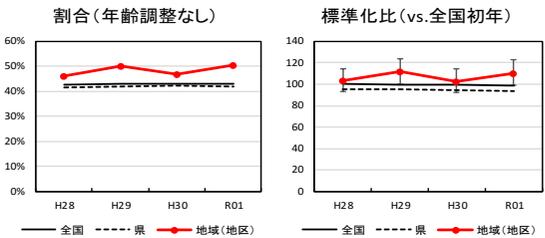
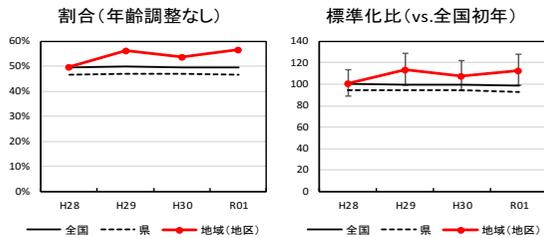
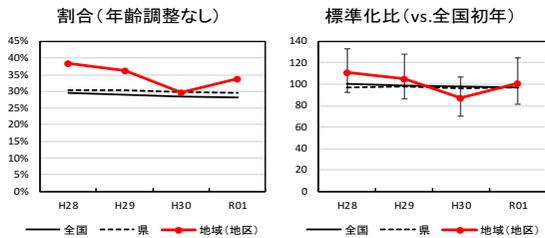
65-74歳



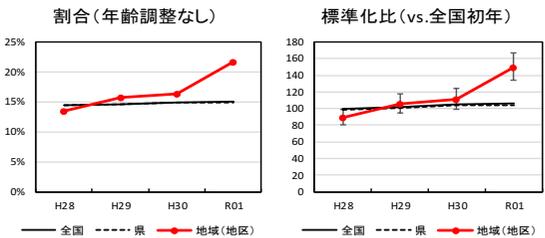
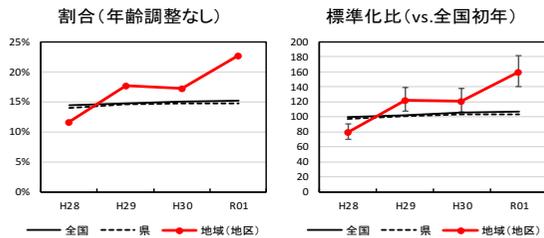
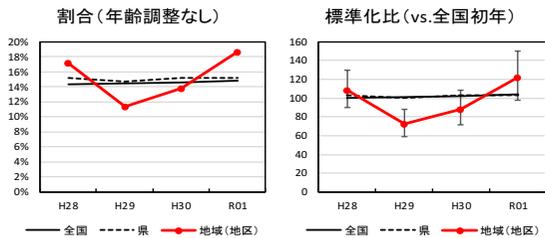
総数



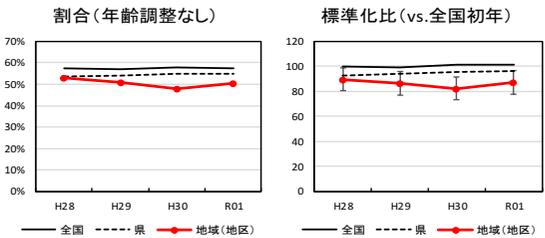
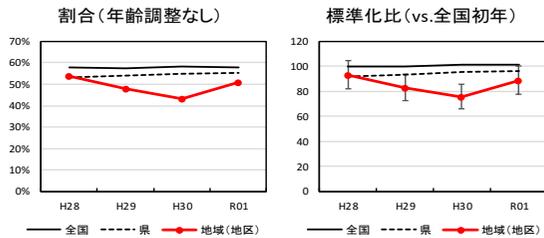
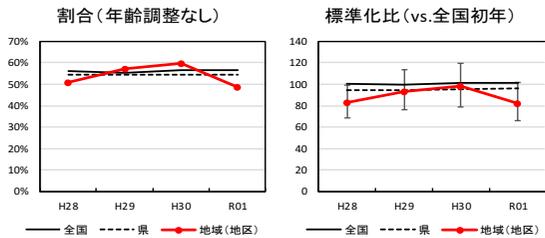
収縮期血圧130以上



拡張期血圧85以上



LDLコレステロール120以上



厚生労働省様式(様式5-2)【補足】  
健診有所見者状況(男女別・年齢調整)

保険者番号: 390724  
保険者名: 中土佐町  
地区: 0

作成年月: H28年度  
印刷日: 2020/7/27  
ページ: 1/3

性別	年齢	受診者	摂取エネルギーの過剰																								
			BMI					腹囲					中性脂肪					ALT(GPT)					HDLコレステロール				
			25以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	85以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	150以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	31以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	40未満	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40~64歳	全国	979,147	346,728	35.4%	35.4%	100(基準)	-	499,176	51.0%	51.0%	100(基準)	-	322,104	32.9%	32.9%	100(基準)	-	271,609	27.7%	27.7%	100(基準)	-	90,387	9.2%	9.2%	100(基準)	-
	県	6,994	2,566	36.7%	36.8%	*104.1	100(基準)	3,834	54.8%	54.6%	*107.2	100(基準)	2,611	37.3%	37.5%	*113.9	100(基準)	2,045	29.2%	29.7%	*107.2	100(基準)	671	9.6%	9.6%	104.7	100(基準)
	地域(地区)	113	35	31.0%	29.3%	88.8	85.0	55	48.7%	49.3%	95.2	88.8	37	32.7%	31.5%	101.0	88.5	31	27.4%	28.6%	103.0	95.5	3	2.7%	2.2%	*29.2	*27.2
65~74歳	全国	2,154,913	605,225	28.1%	28.1%	100(基準)	-	1,082,114	50.2%	50.2%	100(基準)	-	561,542	26.1%	26.1%	100(基準)	-	353,644	16.4%	16.4%	100(基準)	-	183,919	8.5%	8.5%	100(基準)	-
	県	13,849	4,296	31.0%	31.0%	*110.0	100(基準)	7,538	54.4%	54.4%	*108.2	100(基準)	4,181	30.2%	30.1%	*115.3	100(基準)	2,387	17.2%	17.1%	*104.2	100(基準)	1,428	10.3%	10.4%	*121.0	100(基準)
	地域(地区)	203	59	29.1%	29.2%	102.6	93.4	101	49.8%	50.1%	98.7	91.3	53	26.1%	25.8%	99.1	86.0	43	21.2%	20.9%	126.8	121.5	13	6.4%	6.5%	75.2	62.5
総数	全国	3,134,060	951,953	30.4%	30.4%	100(基準)	-	1,581,290	50.5%	50.5%	100(基準)	-	883,646	28.2%	28.2%	100(基準)	-	625,253	20.0%	20.0%	100(基準)	-	274,306	8.8%	8.8%	100(基準)	-
	県	20,843	6,862	32.9%	32.8%	*107.7	100(基準)	11,372	54.6%	54.5%	*107.9	100(基準)	6,792	32.6%	32.4%	*114.7	100(基準)	4,432	21.3%	21.0%	*105.6	100(基準)	2,099	10.1%	10.1%	*115.2	100(基準)
	地域(地区)	316	94	29.7%	29.2%	97.0	90.1	156	49.4%	49.9%	97.4	90.4	90	28.5%	27.6%	99.8	87.0	74	23.4%	23.3%	115.6	109.1	16	5.1%	5.2%	*58.1	*50.3

性別	年齢	受診者	摂取エネルギーの過剰																								
			BMI					腹囲					中性脂肪					ALT(GPT)					HDLコレステロール				
			25以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	90以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	150以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	31以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	40未満	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40~64歳	全国	1,366,623	271,257	19.8%	19.8%	100(基準)	-	209,749	15.3%	15.3%	100(基準)	-	200,961	14.7%	14.7%	100(基準)	-	129,752	9.5%	9.5%	100(基準)	-	21,264	1.6%	1.6%	100(基準)	-
	県	8,547	1,934	22.6%	22.6%	*113.5	100(基準)	1,654	19.4%	19.2%	*124.5	100(基準)	1,717	20.1%	19.7%	*133.8	100(基準)	811	9.5%	9.3%	98.3	100(基準)	147	1.7%	1.7%	111.5	100(基準)
	地域(地区)	122	24	19.7%	20.1%	97.3	86.1	20	16.4%	14.6%	101.5	82.4	25	20.5%	19.5%	128.5	96.7	19	15.6%	12.5%	153.0	155.7	1	0.8%	0.6%	54.7	48.5
65~74歳	全国	2,897,899	610,572	21.1%	21.1%	100(基準)	-	538,093	18.6%	18.6%	100(基準)	-	499,754	17.2%	17.2%	100(基準)	-	241,350	8.3%	8.3%	100(基準)	-	56,678	2.0%	2.0%	100(基準)	-
	県	18,825	4,388	23.3%	23.3%	*110.7	100(基準)	4,099	21.8%	21.8%	*117.4	100(基準)	4,321	23.0%	23.0%	*133.1	100(基準)	1,451	7.7%	7.7%	*92.4	100(基準)	510	2.7%	2.7%	*138.8	100(基準)
	地域(地区)	259	61	23.6%	23.5%	111.8	101.0	48	18.5%	18.5%	99.9	85.1	47	18.1%	18.1%	105.2	79.1	26	10.0%	10.1%	120.3	130.2	5	1.9%	1.9%	98.9	71.3
総数	全国	4,264,522	881,829	20.7%	20.7%	100(基準)	-	747,842	17.5%	17.5%	100(基準)	-	700,715	16.4%	16.4%	100(基準)	-	371,102	8.7%	8.7%	100(基準)	-	77,942	1.8%	1.8%	100(基準)	-
	県	27,372	6,322	23.1%	23.1%	*111.5	100(基準)	5,753	21.0%	21.0%	*119.4	100(基準)	6,038	22.1%	21.9%	*133.3	100(基準)	2,262	8.3%	8.2%	*94.4	100(基準)	657	2.4%	2.4%	*131.6	100(基準)
	地域(地区)	381	85	22.3%	22.4%	107.3	96.3	68	17.8%	17.3%	100.4	84.3	72	18.9%	18.6%	112.3	84.4	45	11.8%	10.9%	132.2	*139.9	6	1.6%	1.5%	87.2	66.1

厚生労働省様式(様式5-2)【補足】

健診有所見者状況(男女別・年齢調整)

保険者番号: 390724  
 保険者名: 中土佐町  
 地区: 0

作成年月: H28年度  
 印刷日: 2020/7/27  
 ページ: 2/3

男性	受診者	血管を傷つける																									
		血糖					HbA1c					尿酸					収縮期血圧					拡張期血圧					
		100以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	5.6以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	7.0以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	130以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	85以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	
40~64歳	全国	979,147	235,732	24.1%	24.1%	100(基準)	-	453,403	46.3%	46.3%	100(基準)	-	147,474	15.1%	15.1%	100(基準)	-	395,516	40.4%	40.4%	100(基準)	-	273,565	27.9%	27.9%	100(基準)	-
	県	6,994	23	0.3%	0.3%	*1.3	100(基準)	3,920	56.0%	55.2%	*118.8	100(基準)	1,461	20.9%	21.0%	*139.9	100(基準)	2,982	42.6%	41.8%	103.4	100(基準)	2,145	30.7%	30.4%	*108.8	100(基準)
	地域(地区)	113	3	2.7%	2.9%	*10.6	*806.8	59	52.2%	51.5%	108.7	91.9	31	27.4%	27.8%	*186.2	132.2	45	39.8%	39.6%	94.6	91.6	24	21.2%	19.6%	75.9	69.7
65~74歳	全国	2,154,913	656,003	30.4%	30.4%	100(基準)	-	1,317,813	61.2%	61.2%	100(基準)	-	251,226	11.7%	11.7%	100(基準)	-	1,169,179	54.3%	54.3%	100(基準)	-	470,357	21.8%	21.8%	100(基準)	-
	県	13,849	23	0.2%	0.2%	*0.5	100(基準)	9,041	65.3%	65.4%	*106.9	100(基準)	2,484	17.9%	17.9%	*153.4	100(基準)	7,359	53.1%	53.2%	98.1	100(基準)	3,184	23.0%	22.8%	*104.3	100(基準)
	地域(地区)	203	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	126	62.1%	62.0%	101.8	95.2	33	16.3%	16.0%	138.4	90.4	107	52.7%	52.0%	97.4	99.3	38	18.7%	18.3%	83.9	80.5
総数	全国	3,134,060	891,735	28.5%	28.5%	100(基準)	-	1,771,216	56.5%	56.5%	100(基準)	-	398,700	12.7%	12.7%	100(基準)	-	1,564,695	49.9%	49.9%	100(基準)	-	743,922	23.7%	23.7%	100(基準)	-
	県	20,843	46	0.2%	0.2%	*0.8	100(基準)	12,961	62.2%	62.2%	*110.2	100(基準)	3,945	18.9%	18.9%	*148.1	100(基準)	10,341	49.6%	49.6%	99.5	100(基準)	5,329	25.6%	25.2%	*106.1	100(基準)
	地域(地区)	316	3	0.9%	0.9%	*3.3	*422.2	185	58.5%	58.7%	103.9	94.2	64	20.3%	19.7%	*158.1	106.7	152	48.1%	48.1%	96.6	96.9	62	19.6%	18.7%	80.6	*75.9

女性	受診者	血管を傷つける																									
		血糖					HbA1c					尿酸					収縮期血圧					拡張期血圧					
		100以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	5.6以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	7.0以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	130以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	85以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	
40~64歳	全国	1,366,623	180,131	13.2%	13.2%	100(基準)	-	619,182	45.3%	45.3%	100(基準)	-	18,923	1.4%	1.4%	100(基準)	-	414,388	30.3%	30.3%	100(基準)	-	198,406	14.5%	14.5%	100(基準)	-
	県	8,547	9	0.1%	0.1%	*0.8	100(基準)	4,873	57.0%	55.4%	*122.0	100(基準)	178	2.1%	2.1%	*148.0	100(基準)	2,613	30.6%	29.6%	97.2	100(基準)	1,306	15.3%	15.0%	103.0	100(基準)
	地域(地区)	122	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	64	52.5%	46.1%	102.8	84.8	1	0.8%	0.7%	55.3	37.8	47	38.5%	30.7%	110.7	115.5	21	17.2%	14.3%	108.8	106.5
65~74歳	全国	2,897,899	553,106	19.1%	19.1%	100(基準)	-	1,768,411	61.0%	61.0%	100(基準)	-	48,283	1.7%	1.7%	100(基準)	-	1,438,655	49.6%	49.6%	100(基準)	-	418,521	14.4%	14.4%	100(基準)	-
	県	18,825	15	0.1%	0.1%	*0.4	100(基準)	12,888	68.5%	68.5%	*112.2	100(基準)	451	2.4%	2.4%	*144.1	100(基準)	8,825	46.9%	46.9%	*94.6	100(基準)	2,648	14.1%	14.0%	97.2	100(基準)
	地域(地区)	259	1	0.4%	0.4%	*2.0	484.6	174	67.2%	67.2%	110.2	98.1	12	4.6%	4.7%	*278.8	*193.4	129	49.8%	49.9%	100.5	106.3	30	11.6%	11.5%	80.0	82.3
総数	全国	4,264,522	733,237	17.2%	17.2%	100(基準)	-	2,387,593	56.0%	56.0%	100(基準)	-	67,206	1.6%	1.6%	100(基準)	-	1,853,043	43.5%	43.5%	100(基準)	-	616,927	14.5%	14.5%	100(基準)	-
	県	27,372	24	0.1%	0.1%	*0.5	100(基準)	17,761	64.9%	64.3%	*114.8	100(基準)	629	2.3%	2.3%	*145.2	100(基準)	11,438	41.8%	41.4%	*95.2	100(基準)	3,954	14.4%	14.3%	99.1	100(基準)
	地域(地区)	381	1	0.3%	0.3%	*1.5	291.4	238	62.5%	60.4%	108.1	94.1	13	3.4%	3.4%	*212.7	146.9	176	46.2%	43.8%	103.0	108.6	51	13.4%	12.4%	89.8	90.8

国保データベース(KDB)のCSVファイル(厚生労働省様式(様式5-2) 健診有所見者状況(男女別・年代別))より計算。

年齢調整(%)は全国受診者数(男女別)を基準人口とした直接法による。従って、厳密な男女比較はできない。受診者が少ない地域では、年齢調整(%)がエラーまたは異常な値となることがあるため、標準化比で評価することが望ましい。

標準化比は全国または県を基準とした間接法による。標準化比に\*が付記されたものは、基準に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。複数年度をプールした場合には過度に有意になりやすくなる。

Ver. 1.6 (2019.12.2) 平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(政策科学推進研究事業)「都道府県医療費適正化計画推進のための健診・医療等の情報活用を担う地域の保健医療人材の育成に関する研究」(研究代表: 横山徹爾)

厚生労働省様式(様式5-2)【補足】  
健診有所見者状況(男女別・年齢調整)

保険者番号: 390724  
保険者名: 中土佐町  
地区: 0

作成年月: H28年度  
印刷日: 2020/7/27  
ページ: 3/3

性別	年齢	受診者	内臓脂肪症候群以外の動脈硬化要因					臓器障害(※は詳細検査)														
			LDLコレステロール					クレアチニン					心電図※					眼底検査※				
			120以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	1.3以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40~64歳	全国	979,147	504,540	51.5%	51.5%	100(基準)	-	9,121	0.9%	0.9%	100(基準)	-	151,456	15.5%	15.5%	100(基準)	-	151,761	15.5%	15.5%	100(基準)	-
	県	6,994	3,192	45.6%	45.9%	*88.9	100(基準)	91	1.3%	1.3%	*133.9	100(基準)	35	0.5%	0.5%	*3.2	100(基準)	15	0.2%	0.2%	*1.4	100(基準)
	地域(地区)	113	34	30.1%	30.7%	*59.1	*66.8	2	1.8%	1.6%	172.6	127.7	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0
65~74歳	全国	2,154,913	972,847	45.1%	45.1%	100(基準)	-	49,837	2.3%	2.3%	100(基準)	-	457,947	21.3%	21.3%	100(基準)	-	299,967	13.9%	13.9%	100(基準)	-
	県	13,849	5,462	39.4%	39.3%	*87.1	100(基準)	378	2.7%	2.8%	*119.6	100(基準)	71	0.5%	0.5%	*2.4	100(基準)	26	0.2%	0.2%	*1.3	100(基準)
	地域(地区)	203	76	37.4%	37.9%	82.3	94.5	4	2.0%	2.2%	88.0	73.5	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0
総数	全国	3,134,060	1,477,387	47.1%	47.1%	100(基準)	-	58,958	1.9%	1.9%	100(基準)	-	609,403	19.4%	19.4%	100(基準)	-	451,728	14.4%	14.4%	100(基準)	-
	県	20,843	8,654	41.5%	41.4%	*87.8	100(基準)	469	2.3%	2.3%	*122.2	100(基準)	106	0.5%	0.5%	*2.6	100(基準)	41	0.2%	0.2%	*1.4	100(基準)
	地域(地区)	316	110	34.8%	35.6%	*73.4	83.7	6	1.9%	2.0%	105.2	85.7	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0

性別	年齢	受診者	内臓脂肪症候群以外の動脈硬化要因					臓器障害(※は詳細検査)														
			LDLコレステロール					クレアチニン					心電図※					眼底検査※				
			120以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	1.3以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40~64歳	全国	1,366,623	771,467	56.5%	56.5%	100(基準)	-	1,800	0.1%	0.1%	100(基準)	-	173,763	12.7%	12.7%	100(基準)	-	190,588	13.9%	13.9%	100(基準)	-
	県	8,547	4,647	54.4%	53.2%	*94.4	100(基準)	11	0.1%	0.1%	95.3	100(基準)	35	0.4%	0.4%	*3.2	100(基準)	16	0.2%	0.2%	*1.3	100(基準)
	地域(地区)	122	62	50.8%	43.8%	83.0	87.6	0	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0
65~74歳	全国	2,897,899	1,675,723	57.8%	57.8%	100(基準)	-	7,324	0.3%	0.3%	100(基準)	-	461,753	15.9%	15.9%	100(基準)	-	338,829	11.7%	11.7%	100(基準)	-
	県	18,825	10,015	53.2%	53.1%	*91.9	100(基準)	74	0.4%	0.4%	*156.5	100(基準)	58	0.3%	0.3%	*1.9	100(基準)	14	0.1%	0.1%	*0.6	100(基準)
	地域(地区)	259	139	53.7%	53.7%	92.7	100.9	0	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0
総数	全国	4,264,522	2,447,190	57.4%	57.4%	100(基準)	-	9,124	0.2%	0.2%	100(基準)	-	635,516	14.9%	14.9%	100(基準)	-	529,417	12.4%	12.4%	100(基準)	-
	県	27,372	14,662	53.6%	53.1%	*92.7	100(基準)	85	0.3%	0.3%	*144.5	100(基準)	93	0.3%	0.3%	*2.3	100(基準)	30	0.1%	0.1%	*0.9	100(基準)
	地域(地区)	381	201	52.8%	50.5%	89.5	96.4	0	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0

国保データベース(KDB)のCSVファイル(厚生労働省様式(様式5-2) 健診有所見者状況(男女別・年代別))より計算。

年齢調整(%)は全国受診者数(男女別)を基準人口とした直接法による。従って、厳密な男女比較はできない。受診者が少ない地域では、年齢調整(%)がエラーまたは異常な値となることあるため、標準化比で評価することが望ましい。

標準化比は全国または県を基準とした間接法による。標準化比に\*が付記されたものは、基準に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。複数年度をプールした場合には過度に有意になりやすくなる。

Ver. 1.6 (2019.12.2) 平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(政策科学推進研究事業)「都道府県医療費適正化計画推進のための健診・医療等の情報活用を担う地域の保健医療人材の育成に関する研究」(研究代表: 横山徹爾)

厚生労働省様式(様式5-2)【補足】  
健診有所見者状況(男女別・年齢調整)

保険者番号: 390724  
保険者名: 中土佐町  
地区: 0

作成年月: H29年度  
印刷日: 2020/7/27  
ページ: 1/3

性別	年齢	受診者	摂取エネルギーの過剰																								
			BMI					腹囲					中性脂肪					ALT(GPT)					HDLコレステロール				
			25以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	85以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	150以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	31以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	40未満	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40~64歳	全国	936,531	340,314	36.3%	36.3%	100(基準)	-	485,170	51.8%	51.8%	100(基準)	-	310,777	33.2%	33.2%	100(基準)	-	264,459	28.2%	28.2%	100(基準)	-	84,250	9.0%	9.0%	100(基準)	-
	県	6,599	2,499	37.9%	37.9%	*104.5	100(基準)	3,576	54.2%	54.1%	*104.3	100(基準)	2,511	38.1%	38.0%	*114.8	100(基準)	1,880	28.5%	28.8%	102.1	100(基準)	575	8.7%	8.8%	97.4	100(基準)
	地域(地区)	99	30	30.3%	31.7%	84.2	80.6	41	41.4%	41.9%	79.3	76.2	28	28.3%	29.6%	85.9	74.7	30	30.3%	33.0%	111.8	109.7	4	4.0%	4.1%	45.8	46.9
65~74歳	全国	2,181,981	633,644	29.0%	29.0%	100(基準)	-	1,124,146	51.5%	51.5%	100(基準)	-	580,742	26.6%	26.6%	100(基準)	-	362,358	16.6%	16.6%	100(基準)	-	179,614	8.2%	8.2%	100(基準)	-
	県	14,104	4,415	31.3%	31.3%	*107.5	100(基準)	7,752	55.0%	55.0%	*106.6	100(基準)	4,214	29.9%	29.8%	*111.9	100(基準)	2,401	17.0%	17.0%	102.0	100(基準)	1,367	9.7%	9.7%	*117.8	100(基準)
	地域(地区)	199	57	28.6%	28.6%	97.3	91.0	101	50.8%	50.5%	98.0	92.3	44	22.1%	21.6%	81.8	*73.2	38	19.1%	18.4%	111.9	110.4	11	5.5%	6.2%	67.3	57.5
総数	全国	3,118,512	973,958	31.2%	31.2%	100(基準)	-	1,609,316	51.6%	51.6%	100(基準)	-	891,519	28.6%	28.6%	100(基準)	-	626,817	20.1%	20.1%	100(基準)	-	263,864	8.5%	8.5%	100(基準)	-
	県	20,703	6,914	33.4%	33.3%	*106.4	100(基準)	11,328	54.7%	54.7%	*105.9	100(基準)	6,725	32.5%	32.3%	*113.0	100(基準)	4,281	20.7%	20.5%	102.0	100(基準)	1,942	9.4%	9.4%	*110.9	100(基準)
	地域(地区)	298	87	29.2%	29.5%	92.4	87.1	142	47.7%	47.9%	91.8	87.0	72	24.2%	24.0%	83.3	*73.8	68	22.8%	22.8%	111.8	110.1	15	5.0%	5.6%	59.8	*54.2

性別	年齢	受診者	摂取エネルギーの過剰																								
			BMI					腹囲					中性脂肪					ALT(GPT)					HDLコレステロール				
			25以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	90以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	150以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	31以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	40未満	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40~64歳	全国	1,294,708	261,905	20.2%	20.2%	100(基準)	-	202,790	15.7%	15.7%	100(基準)	-	190,555	14.7%	14.7%	100(基準)	-	123,405	9.5%	9.5%	100(基準)	-	18,561	1.4%	1.4%	100(基準)	-
	県	7,872	1,855	23.6%	23.5%	*116.1	100(基準)	1,532	19.5%	19.3%	*122.9	100(基準)	1,545	19.6%	19.4%	*131.1	100(基準)	768	9.8%	9.6%	101.2	100(基準)	125	1.6%	1.6%	111.6	100(基準)
	地域(地区)	105	30	28.6%	29.3%	139.0	120.0	21	20.0%	22.4%	121.4	99.9	19	18.1%	17.3%	113.6	88.1	16	15.2%	12.4%	149.2	146.0	1	1.0%	0.7%	69.5	67.9
65~74歳	全国	2,932,440	630,051	21.5%	21.5%	100(基準)	-	553,139	18.9%	18.9%	100(基準)	-	512,941	17.5%	17.5%	100(基準)	-	244,390	8.3%	8.3%	100(基準)	-	52,292	1.8%	1.8%	100(基準)	-
	県	18,844	4,456	23.6%	23.7%	*110.1	100(基準)	4,148	22.0%	22.0%	*116.8	100(基準)	4,395	23.3%	23.3%	*133.3	100(基準)	1,444	7.7%	7.7%	*91.8	100(基準)	427	2.3%	2.3%	*127.2	100(基準)
	地域(地区)	238	52	21.8%	21.8%	101.8	92.5	43	18.1%	18.1%	96.0	82.3	42	17.6%	17.6%	100.9	75.8	23	9.7%	9.7%	115.4	125.7	6	2.5%	2.5%	142.1	112.0
総数	全国	4,227,148	891,956	21.1%	21.1%	100(基準)	-	755,929	17.9%	17.9%	100(基準)	-	703,496	16.6%	16.6%	100(基準)	-	367,795	8.7%	8.7%	100(基準)	-	70,853	1.7%	1.7%	100(基準)	-
	県	26,716	6,311	23.6%	23.6%	*111.8	100(基準)	5,680	21.3%	21.2%	*118.3	100(基準)	5,940	22.2%	22.1%	*132.7	100(基準)	2,212	8.3%	8.3%	*94.9	100(基準)	552	2.1%	2.1%	*123.3	100(基準)
	地域(地区)	343	82	23.9%	24.1%	112.8	101.0	64	18.7%	19.4%	103.1	87.4	61	17.8%	17.5%	104.5	79.2	39	11.4%	10.5%	127.2	133.3	7	2.0%	1.9%	123.6	102.4

国保データベース(KDB)のCSVファイル(厚生労働省様式(様式5-2)健診有所見者状況(男女別・年代別))より計算。

年齢調整(%)は全国受診者数(男女別)を基準人口とした直接法による。従って、厳密な男女比較はできない。受診者が少ない地域では、年齢調整(%)がエラーまたは異常な値となることがあるため、標準化比で評価することが望ましい。

標準化比は全国または県を基準とした間接法による。標準化比に\*が付記されたものは、基準に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。複数年度をプールした場合には過度に有意になりやすくなる。

Ver. 1.6 (2019.12.2) 平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(政策科学推進研究事業)「都道府県医療費適正化計画推進のための健診・医療等の情報活用を担う地域の保健医療人材の育成に関する研究」(研究代表:横山徹爾)

厚生労働省様式(様式5-2)【補足】  
健診有所見者状況(男女別・年齢調整)

保険者番号: 390724  
保険者名: 中土佐町  
地区: 0

作成年月: H29年度  
印刷日: 2020/7/27  
ページ: 2/3

性別	年齢	受診者	血管を傷つける																								
			血糖					HbA1c					尿酸					収縮期血圧					拡張期血圧				
			100以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	5.6以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	7.0以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	130以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	85以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40~64歳	全国	936,531	228,305	24.4%	24.4%	100(基準)	-	439,678	46.9%	46.9%	100(基準)	-	143,892	15.4%	15.4%	100(基準)	-	373,515	39.9%	39.9%	100(基準)	-	263,635	28.2%	28.2%	100(基準)	-
	県	6,599	12	0.2%	0.2%	*0.7	100(基準)	3,641	55.2%	54.4%	*115.9	100(基準)	1,399	21.2%	21.2%	*138.9	100(基準)	2,701	40.9%	40.3%	101.0	100(基準)	1,967	29.8%	29.5%	*105.0	100(基準)
	地域(地区)	99	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	47	47.5%	46.0%	96.8	83.7	25	25.3%	23.8%	*168.0	120.0	39	39.4%	36.9%	94.1	93.7	30	30.3%	30.7%	105.4	100.7
65~74歳	全国	2,181,981	686,539	31.5%	31.5%	100(基準)	-	1,367,616	62.7%	62.7%	100(基準)	-	254,660	11.7%	11.7%	100(基準)	-	1,186,747	54.4%	54.4%	100(基準)	-	485,247	22.2%	22.2%	100(基準)	-
	県	14,104	20	0.1%	0.1%	*0.5	100(基準)	9,383	66.5%	66.6%	*106.2	100(基準)	2,496	17.7%	17.7%	*151.3	100(基準)	7,591	53.8%	53.9%	99.1	100(基準)	3,300	23.4%	23.2%	*104.6	100(基準)
	地域(地区)	199	1	0.5%	0.7%	*1.6	346.0	123	61.8%	62.8%	99.1	93.1	41	20.6%	20.4%	*174.3	115.2	97	48.7%	48.1%	90.1	90.8	40	20.1%	19.0%	87.7	83.6
総数	全国	3,118,512	914,844	29.3%	29.3%	100(基準)	-	1,807,294	58.0%	58.0%	100(基準)	-	398,552	12.8%	12.8%	100(基準)	-	1,560,262	50.0%	50.0%	100(基準)	-	748,882	24.0%	24.0%	100(基準)	-
	県	20,703	32	0.2%	0.2%	*0.5	100(基準)	13,024	62.9%	62.9%	*108.8	100(基準)	3,895	18.8%	18.7%	*146.6	100(基準)	10,292	49.7%	49.8%	99.6	100(基準)	5,267	25.4%	25.1%	*104.7	100(基準)
	地域(地区)	298	1	0.3%	0.5%	*1.1	205.8	170	57.0%	57.8%	98.4	90.3	66	22.1%	21.4%	*171.8	117.0	136	45.6%	44.7%	91.2	91.6	70	23.5%	22.5%	94.5	90.2

性別	年齢	受診者	血管を傷つける																								
			血糖					HbA1c					尿酸					収縮期血圧					拡張期血圧				
			100以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	5.6以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	7.0以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	130以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	85以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40~64歳	全国	1,294,708	172,065	13.3%	13.3%	100(基準)	-	592,927	45.8%	45.8%	100(基準)	-	18,708	1.4%	1.4%	100(基準)	-	385,630	29.8%	29.8%	100(基準)	-	189,292	14.6%	14.6%	100(基準)	-
	県	7,872	11	0.1%	0.1%	*1.0	100(基準)	4,430	56.3%	55.1%	*119.5	100(基準)	166	2.1%	2.1%	*144.3	100(基準)	2,392	30.4%	29.5%	98.7	100(基準)	1,160	14.7%	14.5%	99.1	100(基準)
	地域(地区)	105	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	59	56.2%	61.9%	109.0	92.5	3	2.9%	2.1%	184.4	135.1	38	36.2%	31.9%	106.2	108.1	12	11.4%	9.1%	72.0	73.1
65~74歳	全国	2,932,440	579,106	19.7%	19.7%	100(基準)	-	1,828,948	62.4%	62.4%	100(基準)	-	49,647	1.7%	1.7%	100(基準)	-	1,460,493	49.8%	49.8%	100(基準)	-	432,468	14.7%	14.7%	100(基準)	-
	県	18,844	18	0.1%	0.1%	*0.5	100(基準)	13,148	69.8%	69.8%	*111.9	100(基準)	496	2.6%	2.6%	*155.7	100(基準)	8,886	47.2%	47.2%	*94.8	100(基準)	2,752	14.6%	14.6%	98.9	100(基準)
	地域(地区)	238	2	0.8%	0.8%	*4.3	*864.8	153	64.3%	64.3%	103.2	92.2	10	4.2%	4.3%	*249.5	159.4	134	56.3%	56.8%	113.5	*119.8	42	17.6%	17.5%	119.1	120.3
総数	全国	4,227,148	751,171	17.8%	17.8%	100(基準)	-	2,421,875	57.3%	57.3%	100(基準)	-	68,355	1.6%	1.6%	100(基準)	-	1,846,123	43.7%	43.7%	100(基準)	-	621,760	14.7%	14.7%	100(基準)	-
	県	26,716	29	0.1%	0.1%	*0.6	100(基準)	17,578	65.8%	65.3%	*113.7	100(基準)	662	2.5%	2.5%	*152.6	100(基準)	11,278	42.2%	41.8%	*95.6	100(基準)	3,912	14.6%	14.6%	99.0	100(基準)
	地域(地区)	343	2	0.6%	0.5%	*3.2	506.3	212	61.8%	63.6%	104.8	92.3	13	3.8%	3.7%	*230.7	153.1	172	50.1%	49.1%	111.8	*117.0	54	15.7%	14.9%	104.0	105.2

国保データベース(KDB)のCSVファイル(厚生労働省様式(様式5-2) 健診有所見者状況(男女別・年代別))より計算。

年齢調整(%)は全国受診者数(男女別)を基準人口とした直接法による。従って、厳密な男女比較はできない。受診者が少ない地域では、年齢調整(%)がエラーまたは異常な値となることがあるため、標準化比で評価することが望ましい。

標準化比は全国または県を基準とした間接法による。標準化比に\*が付記されたものは、基準に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。複数年度をプールした場合には過度に有意になりやすくなる。

Ver. 1.6 (2019.12.2) 平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(政策科学推進研究事業)「都道府県医療費適正化計画推進のための健診・医療等の情報活用を担う地域の保健医療人材の育成に関する研究」(研究代表: 横山徹爾)

厚生労働省様式(様式5-2)【補足】  
健診有所見者状況(男女別・年齢調整)

保険者番号: 390724  
保険者名: 中土佐町  
地区: 0

作成年月: H29年度  
印刷日: 2020/7/27  
ページ: 3/3

性別	受診者	内臓脂肪症候群以外の動脈硬化要因					臓器障害(※は詳細検査)															
		LDLコレステロール					クレアチニン					心電図※					眼底検査※					
		120以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	1.3以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	
40~64歳	全国	936,531	481,744	51.4%	51.4%	100(基準)	-	8,982	1.0%	1.0%	100(基準)	-	146,051	15.6%	15.6%	100(基準)	-	145,484	15.5%	15.5%	100(基準)	-
	県	6,599	3,090	46.8%	47.0%	*91.3	100(基準)	92	1.4%	1.4%	*140.8	100(基準)	35	0.5%	0.5%	*3.4	100(基準)	11	0.2%	0.2%	*1.1	100(基準)
	地域(地区)	99	32	32.3%	32.9%	*63.4	*69.7	1	1.0%	0.8%	95.2	70.3	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0
65~74歳	全国	2,181,981	981,542	45.0%	45.0%	100(基準)	-	51,417	2.4%	2.4%	100(基準)	-	467,823	21.4%	21.4%	100(基準)	-	305,449	14.0%	14.0%	100(基準)	-
	県	14,104	5,569	39.5%	39.4%	*87.6	100(基準)	448	3.2%	3.2%	*136.0	100(基準)	84	0.6%	0.6%	*2.8	100(基準)	18	0.1%	0.1%	*0.9	100(基準)
	地域(地区)	199	73	36.7%	37.3%	80.7	92.4	7	3.5%	4.1%	156.4	117.5	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0
総数	全国	3,118,512	1,463,286	46.9%	46.9%	100(基準)	-	60,399	1.9%	1.9%	100(基準)	-	613,874	19.7%	19.7%	100(基準)	-	450,933	14.5%	14.5%	100(基準)	-
	県	20,703	8,659	41.8%	41.7%	*88.9	100(基準)	540	2.6%	2.7%	*136.8	100(基準)	119	0.6%	0.6%	*2.9	100(基準)	29	0.1%	0.1%	*1.0	100(基準)
	地域(地区)	298	105	35.2%	36.0%	*74.5	84.1	8	2.7%	3.1%	144.8	108.4	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0

性別	受診者	内臓脂肪症候群以外の動脈硬化要因					臓器障害(※は詳細検査)															
		LDLコレステロール					クレアチニン					心電図※					眼底検査※					
		120以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	1.3以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	
40~64歳	全国	1,294,708	723,575	55.9%	55.9%	100(基準)	-	1,719	0.1%	0.1%	100(基準)	-	166,058	12.8%	12.8%	100(基準)	-	180,756	14.0%	14.0%	100(基準)	-
	県	7,872	4,281	54.4%	53.4%	*95.7	100(基準)	14	0.2%	0.2%	130.4	100(基準)	26	0.3%	0.3%	*2.6	100(基準)	4	0.1%	0.0%	*0.4	100(基準)
	地域(地区)	105	60	57.1%	48.6%	94.3	98.1	0	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0
65~74歳	全国	2,932,440	1,684,645	57.4%	57.4%	100(基準)	-	7,426	0.3%	0.3%	100(基準)	-	470,661	16.1%	16.1%	100(基準)	-	344,817	11.8%	11.8%	100(基準)	-
	県	18,844	10,162	53.9%	53.9%	*93.8	100(基準)	63	0.3%	0.3%	*132.5	100(基準)	49	0.3%	0.3%	*1.6	100(基準)	12	0.1%	0.1%	*0.5	100(基準)
	地域(地区)	238	114	47.9%	47.9%	83.2	88.6	0	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	1	0.4%	0.4%	*3.6	633.3
総数	全国	4,227,148	2,408,220	57.0%	57.0%	100(基準)	-	9,145	0.2%	0.2%	100(基準)	-	636,719	15.1%	15.1%	100(基準)	-	525,573	12.4%	12.4%	100(基準)	-
	県	26,716	14,443	54.1%	53.7%	*94.4	100(基準)	77	0.3%	0.3%	*132.1	100(基準)	75	0.3%	0.3%	*1.9	100(基準)	16	0.1%	0.1%	*0.5	100(基準)
	地域(地区)	343	174	50.7%	48.1%	86.7	91.7	0	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	1	0.3%	0.3%	*2.3	443.9

国保データベース(KDB)のCSVファイル(厚生労働省様式(様式5-2) 健診有所見者状況(男女別・年代別))より計算。

年齢調整(%)は全国受診者数(男女別)を標準人口とした直接法による。従って、厳密な男女比較はできない。受診者が少ない地域では、年齢調整(%)がエラーまたは異常な値となることあるため、標準化比で評価することが望ましい。標準化比は全国または県を標準とした間接法による。標準化比に\*が付記されたものは、基準に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。複数年度をプールした場合には過度に有意になりやすくなる。

Ver. 1.6 (2019.12.2) 平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(政策科学推進研究事業)「都道府県医療費適正化計画推進のための健診・医療等の情報活用を担う地域の保健医療人材の育成に関する研究」(研究代表: 横山徹爾)

厚生労働省様式(様式5-2)【補足】  
健診有所見者状況(男女別・年齢調整)

保険者番号: 390724  
保険者名: 中土佐町  
地区: 0

作成年月: H30年度  
印刷日: 2020/7/27  
ページ: 1/3

性別	年齢	受診者	摂取エネルギーの過剰																													
			BMI						腹囲						中性脂肪						ALT(GPT)						HDLコレステロール					
			25以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	85以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	150以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	31以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	40未満	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)					
40~64歳	全国	904,925	337,411	37.3%	37.3%	100(基準)	-	477,875	52.8%	52.8%	100(基準)	-	294,752	32.6%	32.6%	100(基準)	-	264,104	29.2%	29.2%	100(基準)	-	78,793	8.7%	8.7%	100(基準)	-					
	県	6,564	2,596	39.5%	39.6%	*106.4	100(基準)	3,736	56.9%	56.8%	*107.6	100(基準)	2,441	37.2%	37.3%	*114.4	100(基準)	1,950	29.7%	29.9%	103.0	100(基準)	525	8.0%	8.0%	92.4	100(基準)					
	地域(地区)	89	29	32.6%	30.8%	88.0	82.4	42	47.2%	44.1%	88.6	82.3	31	34.8%	33.5%	107.5	94.2	28	31.5%	27.9%	111.8	107.7	2	2.2%	2.1%	26.2	28.5					
65~74歳	全国	2,160,522	643,393	29.8%	29.8%	100(基準)	-	1,145,440	53.0%	53.0%	100(基準)	-	566,460	26.2%	26.2%	100(基準)	-	372,598	17.2%	17.2%	100(基準)	-	172,296	8.0%	8.0%	100(基準)	-					
	県	14,504	4,690	32.3%	32.3%	*108.4	100(基準)	8,219	56.7%	56.6%	*106.8	100(基準)	4,412	30.4%	30.4%	*115.8	100(基準)	2,605	18.0%	17.9%	103.8	100(基準)	1,343	9.3%	9.3%	*116.2	100(基準)					
	地域(地区)	200	65	32.5%	32.5%	108.4	100.2	106	53.0%	52.8%	99.8	93.4	53	26.5%	25.4%	100.3	86.8	37	18.5%	18.7%	105.8	101.9	15	7.5%	7.8%	94.2	81.1					
総数	全国	3,065,447	980,804	32.0%	32.0%	100(基準)	-	1,623,315	53.0%	53.0%	100(基準)	-	861,212	28.1%	28.1%	100(基準)	-	636,702	20.8%	20.8%	100(基準)	-	251,089	8.2%	8.2%	100(基準)	-					
	県	21,068	7,286	34.6%	34.5%	*107.7	100(基準)	11,955	56.7%	56.7%	*107.1	100(基準)	6,853	32.5%	32.4%	*115.3	100(基準)	4,555	21.6%	21.4%	*103.4	100(基準)	1,868	8.9%	8.9%	*108.3	100(基準)					
	地域(地区)	289	94	32.5%	32.0%	101.2	93.9	148	51.2%	50.2%	96.3	90.0	84	29.1%	27.8%	102.8	89.4	65	22.5%	21.4%	108.3	104.3	17	5.9%	6.1%	72.2	66.7					

性別	年齢	受診者	摂取エネルギーの過剰																													
			BMI						腹囲						中性脂肪						ALT(GPT)						HDLコレステロール					
			25以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	90以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	150以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	31以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	40未満	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)					
40~64歳	全国	1,233,141	254,613	20.6%	20.6%	100(基準)	-	199,246	16.2%	16.2%	100(基準)	-	176,482	14.3%	14.3%	100(基準)	-	122,552	9.9%	9.9%	100(基準)	-	16,832	1.4%	1.4%	100(基準)	-					
	県	7,675	1,882	24.5%	24.5%	*118.5	100(基準)	1,584	20.6%	20.5%	*126.3	100(基準)	1,518	19.8%	19.5%	*135.9	100(基準)	742	9.7%	9.6%	96.2	100(基準)	110	1.4%	1.4%	106.2	100(基準)					
	地域(地区)	94	26	27.7%	26.0%	132.5	111.6	17	18.1%	18.0%	106.6	84.6	19	20.2%	18.4%	131.1	97.1	12	12.8%	11.3%	120.4	126.1	2	2.1%	1.5%	166.0	157.4					
65~74歳	全国	2,906,926	633,967	21.8%	21.8%	100(基準)	-	562,614	19.4%	19.4%	100(基準)	-	494,403	17.0%	17.0%	100(基準)	-	249,899	8.6%	8.6%	100(基準)	-	48,562	1.7%	1.7%	100(基準)	-					
	県	19,321	4,636	24.0%	24.0%	*110.0	100(基準)	4,339	22.5%	22.5%	*116.0	100(基準)	4,436	23.0%	23.0%	*135.0	100(基準)	1,523	7.9%	7.9%	*91.7	100(基準)	432	2.2%	2.2%	*133.8	100(基準)					
	地域(地区)	238	53	22.3%	22.1%	102.1	92.7	48	20.2%	19.9%	104.0	89.5	47	19.7%	19.8%	116.1	85.9	21	8.8%	8.9%	103.1	112.5	2	0.8%	0.8%	50.1	37.2					
総数	全国	4,140,067	888,580	21.5%	21.5%	100(基準)	-	761,860	18.4%	18.4%	100(基準)	-	670,885	16.2%	16.2%	100(基準)	-	372,451	9.0%	9.0%	100(基準)	-	65,394	1.6%	1.6%	100(基準)	-					
	県	26,996	6,518	24.1%	24.1%	*112.3	100(基準)	5,923	21.9%	21.9%	*118.6	100(基準)	5,954	22.1%	21.9%	*135.2	100(基準)	2,265	8.4%	8.4%	*93.1	100(基準)	542	2.0%	2.0%	*127.1	100(基準)					
	地域(地区)	332	79	23.8%	23.3%	110.4	98.2	65	19.6%	19.4%	104.7	88.1	66	19.9%	19.4%	120.1	88.9	33	9.9%	9.6%	108.8	117.1	4	1.2%	1.1%	76.9	60.2					

国保データベース(KDB)のCSVファイル(厚生労働省様式(様式5-2) 健診有所見者状況(男女別・年代別))より計算。

年齢調整(%)は全国受診者数(男女別)を基準人口とした直接法による。従って、厳密な男女比較はできない。受診者が少ない地域では、年齢調整(%)がエラーまたは異常な値となることがあるため、標準化比で評価することが望ましい。

標準化比は全国または県を基準とした間接法による。標準化比に\*が付記されたものは、基準に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。複数年度をプールした場合には過度に有意になりやすくなる。

Ver. 1.6 (2019.12.2) 平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(政策科学推進研究事業)「都道府県医療費適正化計画推進のための健診・医療等の情報活用を担う地域の保健医療人材の育成に関する研究」(研究代表: 横山徹爾)

厚生労働省様式(様式5-2)【補足】  
健診有所見者状況(男女別・年齢調整)

保険者番号: 390724  
保険者名: 中土佐町  
地区: 0

作成年月: H30年度  
印刷日: 2020/7/27  
ページ: 2/3

性別	年齢	受診者数	血管を傷つける																								
			血糖					HbA1c					尿酸					収縮期血圧				拡張期血圧					
			100以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	5.6以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	7.0以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	130以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	85以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40~64歳	全国	904,925	226,384	25.0%	25.0%	100(基準)	-	422,566	46.7%	46.7%	100(基準)	-	147,238	16.3%	16.3%	100(基準)	-	358,076	39.6%	39.6%	100(基準)	-	258,231	28.5%	28.5%	100(基準)	-
	県	6,564	17	0.3%	0.3%	*1.0	100(基準)	3,445	52.5%	51.9%	*111.0	100(基準)	1,459	22.2%	22.3%	*137.5	100(基準)	2,757	42.0%	41.5%	*104.7	100(基準)	2,005	30.5%	30.4%	*106.5	100(基準)
	地域(地区)	89	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	49	55.1%	55.4%	113.0	102.7	20	22.5%	20.5%	141.3	101.8	43	48.3%	43.1%	116.7	111.6	26	29.2%	27.1%	100.4	94.3
65~74歳	全国	2,160,522	706,776	32.7%	32.7%	100(基準)	-	1,363,702	63.1%	63.1%	100(基準)	-	263,681	12.2%	12.2%	100(基準)	-	1,170,127	54.2%	54.2%	100(基準)	-	485,137	22.5%	22.5%	100(基準)	-
	県	14,504	33	0.2%	0.2%	*0.7	100(基準)	9,458	65.2%	65.2%	*103.4	100(基準)	2,589	17.9%	17.8%	*146.0	100(基準)	7,846	54.1%	54.1%	100.0	100(基準)	3,317	22.9%	22.8%	101.4	100(基準)
	地域(地区)	200	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	117	58.5%	58.6%	92.9	89.8	35	17.5%	17.5%	*142.4	97.6	111	55.5%	56.0%	102.8	102.7	45	22.5%	22.9%	98.7	97.4
総数	全国	3,065,447	933,160	30.4%	30.4%	100(基準)	-	1,786,268	58.3%	58.3%	100(基準)	-	410,919	13.4%	13.4%	100(基準)	-	1,528,203	49.9%	49.9%	100(基準)	-	743,368	24.2%	24.2%	100(基準)	-
	県	21,068	50	0.2%	0.2%	*0.8	100(基準)	12,903	61.2%	61.3%	*105.3	100(基準)	4,048	19.2%	19.2%	*142.8	100(基準)	10,603	50.3%	50.4%	101.1	100(基準)	5,322	25.3%	25.0%	*103.3	100(基準)
	地域(地区)	289	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	166	57.4%	57.7%	98.1	93.3	55	19.0%	18.4%	*142.0	99.1	154	53.3%	52.2%	106.3	105.1	71	24.6%	24.1%	99.3	96.2

性別	年齢	受診者数	血管を傷つける																								
			血糖					HbA1c					尿酸					収縮期血圧				拡張期血圧					
			100以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	5.6以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	7.0以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	130以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	85以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40~64歳	全国	1,233,141	170,711	13.8%	13.8%	100(基準)	-	557,341	45.2%	45.2%	100(基準)	-	19,552	1.6%	1.6%	100(基準)	-	361,156	29.3%	29.3%	100(基準)	-	182,318	14.8%	14.8%	100(基準)	-
	県	7,675	13	0.2%	0.2%	*1.2	100(基準)	4,059	52.9%	51.4%	*113.6	100(基準)	158	2.1%	2.0%	*128.4	100(基準)	2,293	29.9%	29.0%	98.6	100(基準)	1,167	15.2%	15.0%	101.1	100(基準)
	地域(地区)	94	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	57	60.6%	62.8%	118.7	104.6	2	2.1%	1.5%	125.6	96.9	28	29.8%	22.9%	88.7	90.9	13	13.8%	10.2%	86.6	86.1
65~74歳	全国	2,906,926	601,290	20.7%	20.7%	100(基準)	-	1,832,053	63.0%	63.0%	100(基準)	-	51,981	1.8%	1.8%	100(基準)	-	1,447,342	49.8%	49.8%	100(基準)	-	438,868	15.1%	15.1%	100(基準)	-
	県	19,321	15	0.1%	0.1%	*0.4	100(基準)	13,054	67.6%	67.6%	*107.2	100(基準)	511	2.6%	2.6%	*147.9	100(基準)	9,127	47.2%	47.2%	*94.9	100(基準)	2,864	14.8%	14.8%	98.2	100(基準)
	地域(地区)	238	1	0.4%	0.4%	*2.0	542.1	153	64.3%	64.0%	101.9	95.0	9	3.8%	3.7%	*210.8	142.3	128	53.8%	53.4%	107.6	113.4	41	17.2%	17.5%	114.5	116.5
総数	全国	4,140,067	772,001	18.6%	18.6%	100(基準)	-	2,389,394	57.7%	57.7%	100(基準)	-	71,533	1.7%	1.7%	100(基準)	-	1,808,498	43.7%	43.7%	100(基準)	-	621,186	15.0%	15.0%	100(基準)	-
	県	26,996	28	0.1%	0.1%	*0.5	100(基準)	17,113	63.4%	62.8%	*108.7	100(基準)	669	2.5%	2.5%	*142.8	100(基準)	11,420	42.3%	41.8%	*95.6	100(基準)	4,031	14.9%	14.9%	99.0	100(基準)
	地域(地区)	332	1	0.3%	0.3%	*1.6	268.0	210	63.3%	63.6%	105.9	97.4	11	3.3%	3.1%	187.7	131.1	156	47.0%	44.3%	103.6	108.6	54	16.3%	15.3%	106.2	107.4

国保データベース(KDB)のCSVファイル(厚生労働省様式(様式5-2) 健診有所見者状況(男女別・年代別))より計算。

年齢調整(%)は全国受診者数(男女別)を基準人口とした直接法による。従って、厳密な男女比較はできない。受診者が少ない地域では、年齢調整(%)がエラーまたは異常な値となることのあるため、標準化比で評価することが望ましい。

標準化比は全国または県を基準とした間接法による。標準化比に\*が付記されたものは、基準に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。複数年度をプールした場合には過度に有意になりやすくなる。

Ver. 1.6 (2019.12.2) 平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(政策科学推進研究事業)「都道府県医療費適正化計画推進のための健診・医療等の情報活用を担う地域の保健医療人材の育成に関する研究」(研究代表: 横山徹爾)

厚生労働省様式(様式5-2)【補足】  
健診有所見者状況(男女別・年齢調整)

保険者番号: 390724  
保険者名: 中土佐町  
地区: 0

作成年月: H30年度  
印刷日: 2020/7/27  
ページ: 3/3

性別	受診者	内臓脂肪症候群以外の動脈硬化要因					臓器障害(※は詳細検査)															
		LDLコレステロール					クレアチニン					心電図※					眼底検査※					
		120以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	1.3以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	
40~64歳	全国	904,925	477,719	52.8%	52.8%	100(基準)	-	9,843	1.1%	1.1%	100(基準)	-	157,485	17.4%	17.4%	100(基準)	-	181,950	20.1%	20.1%	100(基準)	-
	県	6,564	3,152	48.0%	48.3%	*91.3	100(基準)	96	1.5%	1.4%	*130.3	100(基準)	69	1.1%	1.0%	*6.0	100(基準)	15	0.2%	0.2%	*1.1	100(基準)
	地域(地区)	89	27	30.3%	31.1%	*58.0	*63.4	3	3.4%	3.4%	280.3	212.1	3	3.4%	3.2%	*18.7	309.3	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0
65~74歳	全国	2,160,522	988,901	45.8%	45.8%	100(基準)	-	58,765	2.7%	2.7%	100(基準)	-	536,159	24.8%	24.8%	100(基準)	-	411,473	19.0%	19.0%	100(基準)	-
	県	14,504	5,918	40.8%	40.8%	*89.0	100(基準)	500	3.4%	3.5%	*127.5	100(基準)	164	1.1%	1.1%	*4.6	100(基準)	49	0.3%	0.3%	*1.8	100(基準)
	地域(地区)	200	72	36.0%	36.3%	*78.3	88.0	4	2.0%	2.1%	75.2	59.0	3	1.5%	1.6%	*6.1	131.9	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0
総数	全国	3,065,447	1,466,620	47.8%	47.8%	100(基準)	-	68,608	2.2%	2.2%	100(基準)	-	693,644	22.6%	22.6%	100(基準)	-	593,423	19.4%	19.4%	100(基準)	-
	県	21,068	9,070	43.1%	43.0%	*89.8	100(基準)	596	2.8%	2.9%	*128.0	100(基準)	233	1.1%	1.1%	*4.9	100(基準)	64	0.3%	0.3%	*1.6	100(基準)
	地域(地区)	289	99	34.3%	34.8%	*71.5	*79.6	7	2.4%	2.5%	109.5	85.4	6	2.1%	2.1%	*9.2	184.9	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0

性別	受診者	内臓脂肪症候群以外の動脈硬化要因					臓器障害(※は詳細検査)															
		LDLコレステロール					クレアチニン					心電図※					眼底検査※					
		120以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	1.3以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	
40~64歳	全国	1,233,141	703,285	57.0%	57.0%	100(基準)	-	1,819	0.1%	0.1%	100(基準)	-	174,355	14.1%	14.1%	100(基準)	-	212,682	17.2%	17.2%	100(基準)	-
	県	7,675	4,185	54.5%	53.6%	*94.1	100(基準)	16	0.2%	0.2%	137.7	100(基準)	72	0.9%	0.9%	*6.5	100(基準)	23	0.3%	0.3%	*1.7	100(基準)
	地域(地区)	94	56	59.6%	50.1%	97.0	103.0	0	0.0%	0.0%	0.0	0.0	1	1.1%	0.8%	*7.1	106.2	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0
65~74歳	全国	2,906,926	1,693,864	58.3%	58.3%	100(基準)	-	8,015	0.3%	0.3%	100(基準)	-	539,463	18.6%	18.6%	100(基準)	-	461,492	15.9%	15.9%	100(基準)	-
	県	19,321	10,603	54.9%	54.9%	*94.2	100(基準)	72	0.4%	0.4%	*135.1	100(基準)	152	0.8%	0.8%	*4.2	100(基準)	44	0.2%	0.2%	*1.4	100(基準)
	地域(地区)	238	103	43.3%	43.4%	*74.4	*79.0	0	0.0%	0.0%	0.0	0.0	2	0.8%	0.8%	*4.5	108.3	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0
総数	全国	4,140,067	2,397,149	57.9%	57.9%	100(基準)	-	9,834	0.2%	0.2%	100(基準)	-	713,818	17.2%	17.2%	100(基準)	-	674,174	16.3%	16.3%	100(基準)	-
	県	26,996	14,788	54.8%	54.5%	*94.2	100(基準)	88	0.3%	0.3%	*135.6	100(基準)	224	0.8%	0.8%	*4.8	100(基準)	67	0.2%	0.2%	*1.5	100(基準)
	地域(地区)	332	159	47.9%	45.4%	*81.1	86.1	0	0.0%	0.0%	0.0	0.0	3	0.9%	0.8%	*5.1	107.6	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0

国保データベース(KDB)のCSVファイル(厚生労働省様式(様式5-2) 健診有所見者状況(男女別・年代別))より計算。

年齢調整(%)は全国受診者数(男女別)を基準人口とした直接法による。従って、厳密な男女比較はできない。受診者が少ない地域では、年齢調整(%)がエラーまたは異常な値となることがあるため、標準化比で評価することが望ましい。

標準化比は全国または県を基準とした間接法による。標準化比に\*が付記されたものは、基準に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。複数年度をプールした場合には過度に有意になりやすくなる。

Ver. 1.6 (2019.12.2) 平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(政策科学推進研究事業)「都道府県医療費適正化計画推進のための健診・医療等の情報活用を担う地域の保健医療人材の育成に関する研究」(研究代表: 横山徹爾)

厚生労働省様式(様式5-2)【補足】  
健診有所見者状況(男女別・年齢調整)

保険者番号: 390724  
保険者名: 中土佐町  
地区: 0

作成年月: R01年度  
印刷日: 2020/7/27  
ページ: 1/3

性別	年齢	受診者	摂取エネルギーの過剰																								
			BMI					腹囲					中性脂肪					ALT(GPT)					HDLコレステロール				
			25以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	85以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	150以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	31以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	40未満	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40~64歳	全国	844,616	320,159	37.9%	37.9%	100(基準)	-	451,348	53.4%	53.4%	100(基準)	-	274,506	32.5%	32.5%	100(基準)	-	246,247	29.2%	29.2%	100(基準)	-	70,717	8.4%	8.4%	100(基準)	-
	県	6,293	2,502	39.8%	39.8%	*105.3	100(基準)	3,535	56.2%	56.1%	*104.9	100(基準)	2,312	36.7%	36.8%	*113.3	100(基準)	1,846	29.3%	29.6%	101.8	100(基準)	511	8.1%	8.2%	97.5	100(基準)
	地域(地区)	96	33	34.4%	33.8%	91.2	86.7	56	58.3%	55.9%	108.6	103.5	29	30.2%	29.0%	93.4	82.2	26	27.1%	25.4%	95.3	93.6	6	6.3%	6.4%	75.3	77.2
65~74歳	全国	2,057,442	623,543	30.3%	30.3%	100(基準)	-	1,108,458	53.9%	53.9%	100(基準)	-	542,234	26.4%	26.4%	100(基準)	-	346,699	16.9%	16.9%	100(基準)	-	154,660	7.5%	7.5%	100(基準)	-
	県	14,171	4,606	32.5%	32.5%	*107.1	100(基準)	8,053	56.8%	56.8%	*105.4	100(基準)	4,378	30.9%	30.9%	*117.1	100(基準)	2,502	17.7%	17.6%	*104.5	100(基準)	1,218	8.6%	8.6%	*114.4	100(基準)
	地域(地区)	213	68	31.9%	31.9%	104.5	97.9	119	55.9%	55.0%	103.5	98.2	63	29.6%	28.2%	111.3	95.3	38	17.8%	17.5%	104.2	99.6	15	7.0%	7.2%	93.9	82.1
総数	全国	2,902,058	943,702	32.5%	32.5%	100(基準)	-	1,559,806	53.7%	53.7%	100(基準)	-	816,740	28.1%	28.1%	100(基準)	-	592,946	20.4%	20.4%	100(基準)	-	225,377	7.8%	7.8%	100(基準)	-
	県	20,464	7,108	34.7%	34.6%	*106.4	100(基準)	11,588	56.6%	56.6%	*105.3	100(基準)	6,690	32.7%	32.6%	*115.7	100(基準)	4,348	21.2%	21.1%	*103.3	100(基準)	1,729	8.4%	8.5%	*108.8	100(基準)
	地域(地区)	309	101	32.7%	32.4%	99.8	93.9	175	56.6%	55.2%	105.1	99.9	92	29.8%	28.4%	105.0	90.7	64	20.7%	19.8%	100.4	97.1	21	6.8%	6.9%	87.7	80.6

性別	年齢	受診者	摂取エネルギーの過剰																								
			BMI					腹囲					中性脂肪					ALT(GPT)					HDLコレステロール				
			25以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	90以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	150以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	31以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	40未満	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40~64歳	全国	1,122,275	235,798	21.0%	21.0%	100(基準)	-	186,429	16.6%	16.6%	100(基準)	-	160,525	14.3%	14.3%	100(基準)	-	111,386	9.9%	9.9%	100(基準)	-	14,351	1.3%	1.3%	100(基準)	-
	県	7,015	1,711	24.4%	24.4%	*115.9	100(基準)	1,432	20.4%	20.3%	*121.8	100(基準)	1,379	19.7%	19.4%	*135.5	100(基準)	693	9.9%	9.8%	98.7	100(基準)	109	1.6%	1.6%	*123.0	100(基準)
	地域(地区)	86	21	24.4%	26.0%	115.7	100.1	18	20.9%	18.3%	121.6	100.8	13	15.1%	16.3%	99.9	74.1	16	18.6%	16.1%	*180.6	*187.4	1	1.2%	0.8%	95.7	83.3
65~74歳	全国	2,768,214	609,590	22.0%	22.0%	100(基準)	-	546,080	19.7%	19.7%	100(基準)	-	472,377	17.1%	17.1%	100(基準)	-	234,233	8.5%	8.5%	100(基準)	-	42,817	1.5%	1.5%	100(基準)	-
	県	18,521	4,521	24.4%	24.4%	*110.8	100(基準)	4,209	22.7%	22.7%	*115.2	100(基準)	4,281	23.1%	23.1%	*135.5	100(基準)	1,516	8.2%	8.2%	96.8	100(基準)	383	2.1%	2.1%	*133.7	100(基準)
	地域(地区)	242	59	24.4%	24.4%	110.7	99.9	53	21.9%	21.9%	111.0	96.4	43	17.8%	17.8%	104.1	76.9	25	10.3%	10.3%	122.1	126.2	1	0.4%	0.4%	26.7	20.0
総数	全国	3,890,489	845,388	21.7%	21.7%	100(基準)	-	732,509	18.8%	18.8%	100(基準)	-	632,902	16.3%	16.3%	100(基準)	-	345,619	8.9%	8.9%	100(基準)	-	57,168	1.5%	1.5%	100(基準)	-
	県	25,536	6,232	24.4%	24.4%	*112.2	100(基準)	5,641	22.1%	22.0%	*116.8	100(基準)	5,660	22.2%	22.0%	*135.5	100(基準)	2,209	8.7%	8.7%	97.3	100(基準)	492	1.9%	1.9%	*131.1	100(基準)
	地域(地区)	328	80	24.4%	24.8%	112.0	99.9	71	21.6%	20.9%	113.5	97.5	56	17.1%	17.3%	103.1	*76.2	41	12.5%	12.0%	*139.8	*144.6	2	0.6%	0.5%	41.8	32.2

国保データベース(KDB)のCSVファイル(厚生労働省様式(様式5-2) 健診有所見者状況(男女別・年代別))より計算。

年齢調整(%)は全国受診者数(男女別)を基準人口とした直接法による。従って、厳密な男女比較はできない。受診者が少ない地域では、年齢調整(%)がエラーまたは異常な値となることがあるため、標準化比で評価することが望ましい。

標準化比は全国または県を基準とした間接法による。標準化比に\*が付記されたものは、基準に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。複数年度をプールした場合には過度に有意になりやすくなる。

Ver. 1.6 (2019.12.2) 平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(政策科学推進研究事業)「都道府県医療費適正化計画推進のための健診・医療等の情報活用を担う地域の保健医療人材の育成に関する研究」(研究代表:横山徹爾)

厚生労働省様式(様式5-2)【補足】  
健診有所見者状況(男女別・年齢調整)

保険者番号: 390724  
保険者名: 中土佐町  
地区: 0

作成年月: R01年度  
印刷日: 2020/7/27  
ページ: 2/3

性別	年齢	受診者	血管を傷つける																								
			血糖					HbA1c					尿酸					収縮期血圧					拡張期血圧				
			100以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	5.6以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	7.0以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	130以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	85以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40~64歳	全国	844,616	209,109	24.8%	24.8%	100(基準)	-	395,196	46.8%	46.8%	100(基準)	-	135,622	16.1%	16.1%	100(基準)	-	329,119	39.0%	39.0%	100(基準)	-	241,888	28.6%	28.6%	100(基準)	-
	県	6,293	12	0.2%	0.2%	*0.8	100(基準)	3,597	57.2%	56.5%	*120.6	100(基準)	1,396	22.2%	22.2%	*139.1	100(基準)	2,599	41.3%	40.8%	*104.5	100(基準)	1,887	30.0%	29.9%	104.3	100(基準)
	地域(地区)	96	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	58	60.4%	61.0%	125.4	104.7	19	19.8%	19.7%	125.3	89.6	44	45.8%	44.1%	114.0	108.8	35	36.5%	34.7%	126.2	120.3
65~74歳	全国	2,057,442	677,423	32.9%	32.9%	100(基準)	-	1,303,530	63.4%	63.4%	100(基準)	-	246,409	12.0%	12.0%	100(基準)	-	1,105,303	53.7%	53.7%	100(基準)	-	464,550	22.6%	22.6%	100(基準)	-
	県	14,171	23	0.2%	0.2%	*0.5	100(基準)	9,627	67.9%	68.0%	*107.3	100(基準)	2,368	16.7%	16.7%	*139.3	100(基準)	7,592	53.6%	53.6%	99.8	100(基準)	3,245	22.9%	22.8%	101.1	100(基準)
	地域(地区)	213	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	122	57.3%	57.5%	90.7	84.4	36	16.9%	16.3%	140.1	100.5	128	60.1%	60.8%	112.2	112.5	69	32.4%	32.4%	*141.2	*139.5
総数	全国	2,902,058	886,532	30.5%	30.5%	100(基準)	-	1,698,726	58.5%	58.5%	100(基準)	-	382,031	13.2%	13.2%	100(基準)	-	1,434,422	49.4%	49.4%	100(基準)	-	706,438	24.3%	24.3%	100(基準)	-
	県	20,464	35	0.2%	0.2%	*0.6	100(基準)	13,224	64.6%	64.6%	*110.6	100(基準)	3,764	18.4%	18.3%	*139.2	100(基準)	10,191	49.8%	49.9%	100.9	100(基準)	5,132	25.1%	24.9%	102.3	100(基準)
	地域(地区)	309	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	180	58.3%	58.5%	99.6	90.1	55	17.8%	17.3%	*134.6	96.4	172	55.7%	55.9%	112.7	111.6	104	33.7%	33.1%	*135.7	*132.4

性別	年齢	受診者	血管を傷つける																								
			血糖					HbA1c					尿酸					収縮期血圧					拡張期血圧				
			100以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	5.6以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	7.0以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	130以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	85以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40~64歳	全国	1,122,275	154,143	13.7%	13.7%	100(基準)	-	504,452	44.9%	44.9%	100(基準)	-	18,197	1.6%	1.6%	100(基準)	-	324,306	28.9%	28.9%	100(基準)	-	167,666	14.9%	14.9%	100(基準)	-
	県	7,015	8	0.1%	0.1%	*0.8	100(基準)	3,914	55.8%	54.4%	*121.1	100(基準)	152	2.2%	2.1%	*132.3	100(基準)	2,090	29.8%	29.1%	100.1	100(基準)	1,068	15.2%	15.1%	100.5	100(基準)
	地域(地区)	86	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	49	57.0%	54.0%	114.9	94.8	1	1.2%	0.8%	68.7	51.0	29	33.7%	30.1%	104.1	105.5	16	18.6%	14.0%	117.8	117.9
65~74歳	全国	2,768,214	578,935	20.9%	20.9%	100(基準)	-	1,737,955	62.8%	62.8%	100(基準)	-	50,496	1.8%	1.8%	100(基準)	-	1,373,667	49.6%	49.6%	100(基準)	-	421,802	15.2%	15.2%	100(基準)	-
	県	18,521	17	0.1%	0.1%	*0.4	100(基準)	13,065	70.5%	70.5%	*112.3	100(基準)	453	2.4%	2.4%	*134.1	100(基準)	8,634	46.6%	46.6%	*93.9	100(基準)	2,727	14.7%	14.7%	96.6	100(基準)
	地域(地区)	242	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	157	64.9%	64.9%	103.3	92.0	7	2.9%	2.9%	158.6	118.3	137	56.6%	56.6%	114.1	*121.5	55	22.7%	22.7%	*149.2	*154.3
総数	全国	3,890,489	733,078	18.8%	18.8%	100(基準)	-	2,242,407	57.6%	57.6%	100(基準)	-	68,693	1.8%	1.8%	100(基準)	-	1,697,973	43.6%	43.6%	100(基準)	-	589,468	15.2%	15.2%	100(基準)	-
	県	25,536	25	0.1%	0.1%	*0.5	100(基準)	16,979	66.5%	65.9%	*114.2	100(基準)	605	2.4%	2.4%	*133.6	100(基準)	10,724	42.0%	41.6%	*95.1	100(基準)	3,795	14.9%	14.8%	97.7	100(基準)
	地域(地区)	328	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	206	62.8%	61.7%	105.9	92.6	8	2.4%	2.3%	136.3	101.5	166	50.6%	49.0%	112.2	*118.3	71	21.6%	20.2%	*140.7	*144.3

国保データベース(KDB)のCSVファイル(厚生労働省様式(様式5-2) 健診有所見者状況(男女別・年代別))より計算。

年齢調整(%)は全国受診者数(男女別)を基準人口とした直接法による。従って、厳密な男女比較はできない。受診者が少ない地域では、年齢調整(%)がエラーまたは異常な値となることあるため、標準化比で評価することが望ましい。

標準化比は全国または県を基準とした間接法による。標準化比に\*が付記されたものは、基準に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。複数年度をプールした場合には過度に有意になりやすくなる。

Ver. 1.6 (2019.12.2) 平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(政策科学推進研究事業)「都道府県医療費適正化計画推進のための健診・医療等の情報活用を担う地域の保健医療人材の育成に関する研究」(研究代表: 横山徹爾)

厚生労働省様式(様式5-2)【補足】  
健診有所見者状況(男女別・年齢調整)

保険者番号: 390724  
保険者名: 中土佐町  
地区: 0

作成年月: R01年度  
印刷日: 2020/7/27  
ページ: 3/3

性別	年齢	内臓脂肪症候群以外の動脈硬化要因						臓器障害(※は詳細検査)														
		LDLコレステロール			クレアチニン			心電図※				眼底検査※										
		120以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	1.3以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	
40~64歳	全国	844,616	447,663	53.0%	100(基準)	-	9,361	1.1%	1.1%	100(基準)	-	150,031	17.8%	17.8%	100(基準)	-	173,397	20.5%	20.5%	100(基準)	-	
	県	6,293	3,074	48.8%	*92.5	100(基準)	75	1.2%	1.2%	103.9	100(基準)	50	0.8%	0.8%	*4.4	100(基準)	13	0.2%	0.2%	*1.0	100(基準)	
	地域(地区)	96	42	43.8%	44.2%	83.1	89.8	2	2.1%	2.4%	174.6	160.0	2	2.1%	1.6%	*11.4	258.5	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0
65~74歳	全国	2,057,442	937,320	45.6%	100(基準)	-	58,486	2.8%	2.8%	100(基準)	-	523,751	25.5%	25.5%	100(基準)	-	406,185	19.7%	19.7%	100(基準)	-	
	県	14,171	5,678	40.1%	*40.0%	*87.9	100(基準)	510	3.6%	3.6%	*127.1	100(基準)	119	0.8%	0.8%	*3.3	100(基準)	28	0.2%	0.2%	*1.0	100(基準)
	地域(地区)	213	83	39.0%	38.9%	85.1	97.0	5	2.3%	2.5%	84.6	66.6	2	0.9%	0.9%	*3.7	111.0	1	0.5%	0.4%	*2.4	232.4
総数	全国	2,902,058	1,384,983	47.7%	100(基準)	-	67,847	2.3%	2.3%	100(基準)	-	673,782	23.2%	23.2%	100(基準)	-	579,582	20.0%	20.0%	100(基準)	-	
	県	20,464	8,752	42.8%	*42.7%	*89.4	100(基準)	585	2.9%	2.9%	*123.6	100(基準)	169	0.8%	0.8%	*3.6	100(基準)	41	0.2%	0.2%	*1.0	100(基準)
	地域(地区)	309	125	40.5%	40.4%	84.4	94.4	7	2.3%	2.5%	99.2	79.9	4	1.3%	1.1%	*5.6	155.3	1	0.3%	0.3%	*1.6	158.8

性別	年齢	内臓脂肪症候群以外の動脈硬化要因						臓器障害(※は詳細検査)														
		LDLコレステロール			クレアチニン			心電図※				眼底検査※										
		120以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	1.3以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	
40~64歳	全国	1,122,275	639,519	57.0%	100(基準)	-	1,629	0.1%	0.1%	100(基準)	-	164,220	14.6%	14.6%	100(基準)	-	199,699	17.8%	17.8%	100(基準)	-	
	県	7,015	3,843	54.8%	*54.0%	*94.9	100(基準)	18	0.3%	0.2%	*172.7	100(基準)	61	0.9%	0.9%	*5.9	100(基準)	18	0.3%	0.2%	*1.4	100(基準)
	地域(地区)	86	42	48.8%	42.6%	81.3	85.6	0	0.0%	0.0%	0.0	0.0	1	1.2%	2.1%	*7.6	128.1	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0
65~74歳	全国	2,768,214	1,604,236	58.0%	100(基準)	-	7,853	0.3%	0.3%	100(基準)	-	533,250	19.3%	19.3%	100(基準)	-	462,013	16.7%	16.7%	100(基準)	-	
	県	18,521	10,209	55.1%	*55.1%	*95.1	100(基準)	78	0.4%	0.4%	*148.4	100(基準)	123	0.7%	0.7%	*3.4	100(基準)	28	0.2%	0.2%	*0.9	100(基準)
	地域(地区)	242	123	50.8%	50.8%	87.7	92.2	1	0.4%	0.4%	145.7	98.2	6	2.5%	2.5%	*12.9	*373.3	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0
総数	全国	3,890,489	2,243,755	57.7%	100(基準)	-	9,482	0.2%	0.2%	100(基準)	-	697,470	17.9%	17.9%	100(基準)	-	661,712	17.0%	17.0%	100(基準)	-	
	県	25,536	14,052	55.0%	*54.8%	*95.1	100(基準)	96	0.4%	0.4%	*152.4	100(基準)	184	0.7%	0.7%	*4.0	100(基準)	46	0.2%	0.2%	*1.1	100(基準)
	地域(地区)	328	165	50.3%	48.4%	86.0	90.4	1	0.3%	0.3%	121.5	79.0	7	2.1%	2.4%	*11.7	*293.1	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0

国保データベース(KDB)のCSVファイル(厚生労働省様式(様式5-2) 健診有所見者状況(男女別・年代別))より計算。

年齢調整(%)は全国受診者数(男女別)を基準人口とした直接法による。従って、厳密な男女比較はできない。受診者が少ない地域では、年齢調整(%)がエラーまたは異常な値となることがあるため、標準化比で評価することが望ましい。

標準化比は全国または県を基準とした間接法による。標準化比に\*が付記されたものは、基準に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。複数年度をプールした場合には過度に有意になりやすくなる。

Ver. 1.6 (2019.12.2) 平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(政策科学推進研究事業)「都道府県医療費適正化計画推進のための健診・医療等の情報活用を担う地域の保健医療人材の育成に関する研究」(研究代表: 横山徹爾)

表 9

【質問票】

表19) 質問票調査の経年変化  
生活習慣の変化

KDB横票№1 令和2年7月15日抽出

項目	① 服薬			② 喫煙	③ 週3回以上朝食を抜く	④ 週3回以上夕食後間食	⑤ 週3回以上就寝前夕食	⑥ 食べる速度が遅い	⑦ 20歳時体重から10kg体重増加	⑧ 1日30分以上運動なし	⑨ 1日1時間以上運動なし	⑩ 睡眠不足	⑪ 毎日飲酒	⑫ 時々飲酒	⑬ 咀嚼		⑭ 間食	
	高血圧症	糖尿病	脂質異常症												噛みにくい	ほとんど噛めない	毎日	時々
	平成28年	37.9%	9.9%	24.0%	14.3%	5.9%	12.6%	19.8%	28.6%	36.3%	62.8%	49.9%	27.1%	37.9%	15.4%	-	-	-
平成29年	40.6%	9.4%	23.7%	14.2%	6.6%	13.3%	19.0%	29.6%	36.3%	58.7%	50.0%	27.9%	38.8%	15.3%	-	-	-	-
平成30年	40.4%	10.1%	23.0%	13.7%	5.2%	-	20.1%	30.6%	36.6%	61.2%	46.5%	26.6%	37.2%	17.4%	23.7%	1.4%	19.8%	56.0%
令和01年	39.7%	10.0%	22.9%	14.6%	5.8%	-	19.5%	33.1%	38.0%	61.1%	44.0%	26.8%	36.1%	18.7%	26.5%	0.9%	19.0%	56.5%
令和02年																		
令和03年																		

補足

平成30年特定健康診査制度改正により「④週3回以上夕食後間食」は削除項目になっている。新たに「⑬咀嚼」「⑭間食」が追加された項目である。

表 10

【健診\_法定報告】

性・年齢階級別 特定健診受診率(法定報告)

男	H27			H28			H29			H30			R01		
	対象者	受診者	受診率												
40~44歳	64	12	18.8%	59	18	30.5%	44	10	22.7%	27	6	22.2%			
45~49歳	61	13	21.3%	43	9	20.9%	48	13	27.1%	53	17	32.1%			
50~54歳	54	9	16.7%	48	10	20.8%	47	9	19.1%	54	11	20.4%			
55~59歳	63	22	34.9%	59	20	33.9%	56	24	42.9%	47	15	31.9%			
60~64歳	181	74	40.9%	148	56	37.8%	117	43	36.8%	104	40	38.5%			
65~69歳	263	121	46.0%	269	119	44.2%	258	118	45.7%	226	99	43.8%			
70~74歳	181	91	50.3%	163	84	51.5%	179	81	45.3%	206	101	49.0%			
合計	867	342	39.4%	789	316	40.1%	749	298	39.8%	717	289	40.3%	0	0	#DIV/0!

女	H27			H28			H29			H30			R01		
	対象者	受診者	受診率												
40~44歳	30	6	20.0%	20	1	5.0%	25	3	12.0%	24	4	16.7%			
45~49歳	28	7	25.0%	28	3	10.7%	23	1	4.3%	26	1	3.8%			
50~54歳	44	16	36.4%	43	14	32.6%	29	11	37.9%	23	8	34.8%			
55~59歳	75	41	54.7%	55	28	50.9%	62	27	43.5%	59	24	40.7%			
60~64歳	146	75	51.4%	150	76	50.7%	117	63	53.8%	108	57	52.8%			
65~69歳	267	154	57.7%	247	138	55.9%	233	122	52.4%	211	101	47.9%			
70~74歳	225	115	51.1%	221	121	54.8%	228	115	50.4%	231	137	59.3%			
合計	815	414	50.8%	764	381	49.9%	717	342	47.7%	682	332	48.7%	0	0	#DIV/0!

「性・年齢階級別 特定健診受診率(法定報告)」  
 ◆集計方法  
 ・男性・女性に分けて年齢を5歳刻みに、特定健診対象者、受診者、受診率を経年集計  
 ・受診率のピラミッド作成  
 ★読み取りの視点  
 性・年齢別に対象者、受診者、受診率を把握する。  
 ・どの年代・性別で受診率が高いか  
 ・どの年代・性別で受診率が経年で、伸びているか、または低下しているか  
 ・上記の内容から優先的に受診勧奨を行う対象のターゲットを検討  
 データ元  
 法定報告実績

図 11

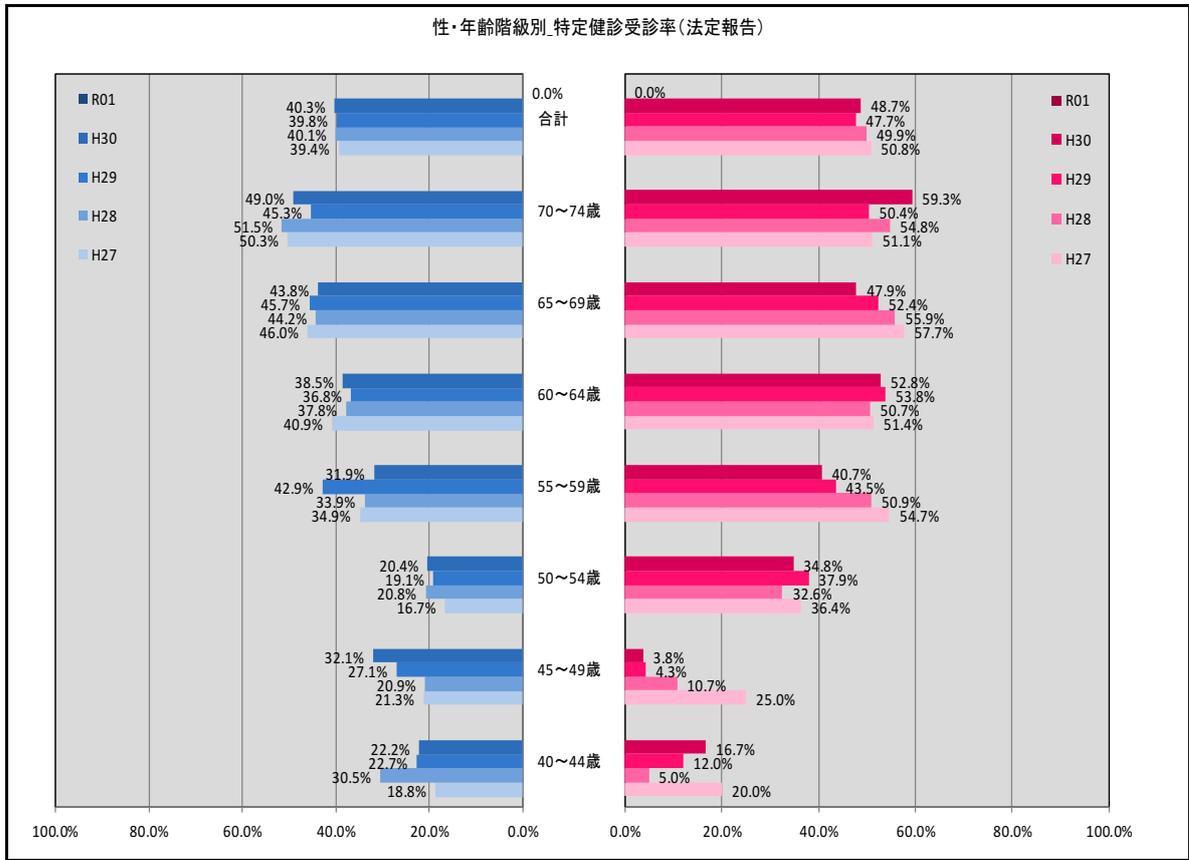
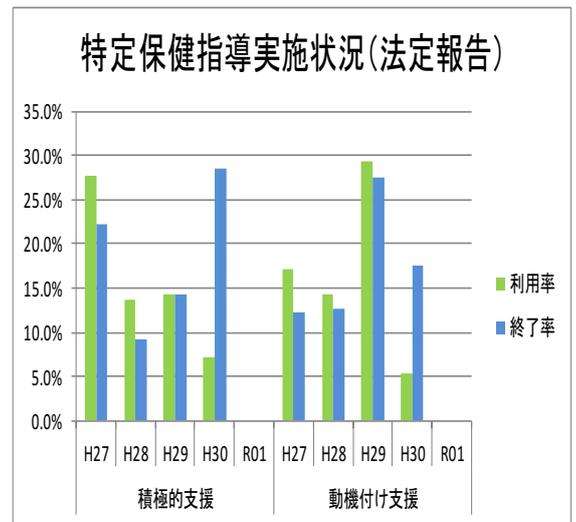


表 12

特定保健指導実施状況(法定報告)

		対象者	利用者	終了者	利用率	終了率
積極の支援	H27	18	5	4	27.8%	22.2%
	H28	22	3	2	13.6%	9.1%
	H29	21	3	3	14.3%	14.3%
	H30	14	1	4	7.1%	28.6%
	R01				#DIV/0!	#DIV/0!
動機付け支援	H27	82	14	10	17.1%	12.2%
	H28	63	9	8	14.3%	12.7%
	H29	58	17	16	29.3%	27.6%
	H30	57	3	10	5.3%	17.5%
	R01				#DIV/0!	#DIV/0!



## 5. 指標の経年データ（様式1）と判定

各指標の経年データについて、策定時と直近値を比較した判定結果を一覧に示す。A（目標値に達した）、B（目標値に達していないが、改善傾向にある）、C（変わらない）、D（悪化している）、E（判定不能）のレベルで評価判定し、課題整理を行う。

中土佐町国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）第2期 評価→目的・目標・指標の確認、達成状況と判定

A(目標値に達した)
B(目標値に達していないが、改善傾向にある)
C(変わらない)
D(悪化している)
E(判定不能)

目的:①健康寿命の延伸、②健康意識の向上

中・長期目標(2023年度評価)

	目標	対象者	評価経年モニタリング							判定	
			指標	2016年 (実績値)	2017年 (策定時 目標値)	2017年 (策定時 実績値) ※現状の数値	2018年 (目標値)	2018年 (実績値) ※現状の数値	2019年 (目標値)		2019年 (実績値) ※現状の数値
データヘルス計画 本文より	① 脳内出血による死亡率の減少	住民全体	標準化死亡率(SMR)による「脳内出血」の国に対する有意差 男性 121.0 女性 176.9	男性 118 女性 170	-	男性 115 女性 165	-	男性 112 女性 160	-	E	
		①-副指標 町内の国保被保険者	脳出血新規患者数	2	2	3	2	2	2	3	C
	② 脳梗塞による介護認定率の減少	40歳以上の住民	脳梗塞による介護認定率の減少	2号(40-64歳)55.6% 1号(65-74歳)48.8% #(75歳以上)47.3%	2号(40-64歳)54% 1号(65-74歳)47% #(75歳以上)46.5%	2号(40-64歳)50.0% 1号(65-74歳)47.5% #(75歳以上)47.3%	2号(40-64歳)52% 1号(65-74歳)46% #(75歳以上)45.5%	2号(40-64歳)40.0% 1号(65-74歳)37.2% #(75歳以上)47.9%	2号(40-64歳)50% 1号(65-74歳)45% #(75歳以上)45%	2号(40-64歳)33.3% 1号(65-74歳)38.7% #(75歳以上)49.4%	B
		特定健診受診者及び糖尿病性腎症重症化予防事業対象者	人工透析患者のうち糖尿病を有病している患者数の増加を抑制する	5	5	0	5	2	5	0	C

短期目標(毎年評価する)

目的	目標	対象者	評価経年モニタリング								判定
			指標	2016年 (実績値)	2017年 (策定時 目標値)	2017年 (策定時 実績値) ※現状の数値	2018年 (目標値)	2018年 (実績値) ※現状の数値	2019年 (目標値)	2019年 (実績値) ※現状の数値	
データヘルス計画 本文より	①高血圧の改善 男性41.7% 女性37.8%	特定健診受診者	収縮期血圧の有所見者(130以上)の割合(年齢調整後)	男性46.7% 女性42.8%	男性46% 女性41%	男性44.7% 女性49.1%	男性45% 女性40%	男性52.2% 女性44.3%	男性44% 女性39%	男性55.9% 女性49.0%	D
	②脂質異常症の減少 男性19.7% 女性16.2%	特定健診受診者	中性脂肪有所見者(150以上)の割合(年齢調整後)	男性22.7% 女性19.2%	男性22.3% 女性19%	男性24.0% 女性17.5%	男性22% 女性18.6%	男性27.8% 女性19.4%	男性21.5% 女性18.2%	男性28.4% 女性17.3%	D
	③尿酸有所見者の減少 男性20% 女性3.3%	特定健診受診者	尿酸有所見者(7.0以上)割合(年齢調整後)	男性22.3% 女性3.7%	男性22.1% 女性3.6%	男性21.4% 女性3.7%	男性21.8% 女性3.5%	男性18.4% 女性3.1%	男性21.4% 女性3.5%	男性17.3% 女性2.3%	A
	④糖尿病有病者の増加の抑制 男性57.4%以下 女性57.6%以下	特定健診受診者	HbA1c有所見者(5.6以上)割合(年齢調整後)	男性57.4% 女性57.6%	男性57.4% 女性57.6%	男性57.8% 女性63.6%	男性57.4% 女性57.6%	男性57.7% 女性63.6%	男性57.4% 女性57.6%	男性58.5% 女性61.7%	D

個別保健事業実施計画

事業名	目的	目標	対象者	評価経年モニタリング							判定	
				指標	2016年 (実績値)	2017年 (策定時) (目標値)	2017年 (策定時) (実績値) ※現状の数値	2018年 (目標値)	2018年 (実績値) ※現状の数値	2019年 (目標値)		2019年 (実績値) ※現状の数値
30歳代健診 (発症予防)	将来、生活習慣病にならないために、若い時から健診受診を勧め、健診を受ける習慣をつける	①30歳代は年に1回生活習慣病に着目した健診を受ける習慣がついている	①町内在住②30～39歳③勤務先等では健康診査を受ける機会のない方*①～③のすべてに該当する方	受診者数 (国保以外も含む)	20	25	25	26	12	-	-	D
(令和元年度から 名前と対象年齢 が変更) 若者けんしん(20 ～40歳) (発症予防)	将来、生活習慣病にならないために、若い時から健診受診を勧め、健診を受ける習慣をつける		①-副指標 ①町内在住②20～39歳③勤務先等では健康診査を受ける機会のない方*①～③のすべてに該当する方	受診者数 (国保以外も含む)	-	-	-	-	-	27	22	C
特定健診受診率 の向上 (発症予防)	特定健診の受診率を向上させ、生活習慣病の発症・重症化を予防することで、健康寿命を延伸する	②特定健診の重要性が分かり、年に1回特定健診を受診する人が増える	40歳から74歳までの中土佐町国保加入者	特定健診受診率	44.9%	45.0%	43.7%	46.0%	44.4%	47.0%	45.9%	C
特定保健指導実 施率の向上 (発症予防・重症 化予防)	動機づけ支援:対象者が自らの生活習慣を振り返り、行動目標を立てることができ、終了後、対象者がすぐに実践(行動)に移り、その生活が継続できる 積極的支援:対象者が自らの生活習慣を振り返り、行動目標を設定し、目標達成に向けた実践(行動)に取り組みながら、終了後にはその生活が継続できる	③ ・動機づけ支援:対象者本人が自分の生活習慣の改善点等を自覚し、自ら目標を設定し行動に移すことができる ・積極的支援:対象者自らが自身の身体に生じている変化への理解を促すとともに、実践可能な行動目標を対象者自身が選択できる ・中間評価(平成28年度県平均並を目指す)	特定健診の受診結果により健康の保持に努める必要がある方 (特定保健指導対象者)	特定保健指導実施率	9.1%	28.6%	14.3%	14.7%	28.6%	16.7%	-	C

個別保健事業実施計画

事業名	目的	目標	対象者	評価経年モニタリング								判定
糖尿病性腎症重症化予防事業(重症化予防)	糖尿病の重症化リスクの高い医療機関未受診者・治療中断者が適切な検査・治療を受けることができる。	④糖尿病の重症化を予防する	①医療機関未受診者 ・HbA1c6.5以上 ・最大血圧140以上又は最小血圧90以上 ・尿蛋白(+)以上又はeGFR45未満 上記のいずれか2つ以上に該当する者	医療機関受診率 (保健師等の勧奨・指導によって医療機関受診につながった者の割合)	-	-	-	30.0%	33.3%	35.0%	-	A
			②糖尿病治療中断者 通院中の患者で、6か月以上受診記録がない者のうち、糖尿病合併症(網膜症・腎症・神経障害)と診断、又はインスリン注射歴がある者	医療機関受診率	-	-	-	30.0%	100.0%	35.0%	-	A
	人工透析につながる腎症の重症化を予防する。	⑤糖尿病性腎症の病期進行を抑制する	③糖尿病で通院する患者のうち、腎症が重症化するリスクの高い者 ・HbA1c8.0以上 ・最大血圧150以上又は最小血圧90以上 ・尿蛋白(2+)以上 ・eGFR45未満 上記のいずれかに該当する者のうち、かかりつけ医の同意があった者	糖尿病性腎症の病期進行者数	-	-	-	5人→0人(中間兵庫の差設定した目標値)	0.0%	5人→0人(中間兵庫の差設定した目標値)	0.0%	A
ハイリスク者の受療勧奨事業(重症化予防)	医療機関への受療が必要な者が適切な検査・治療を受けることができ、生活習慣病の重症化を予防する	⑥ 1、高血圧の改善 2、血糖コントロール不良者の割合の減少 3、脂質異常症の減少 4、肝機能異常者の減少 5、腎機能異常者の減少	①要医療レベル(40~74歳) ・最大血圧180以上又は最小血圧110以上 ・HbA1c7.4以上 ・LDL-C180以上又はnon-HDL-C210以上 ・AST(GOT)100以上 ・ALT(GPT)100以上 ・eGFR45未満 ・尿酸10.0以上 上記のいずれかに該当する者のうち、 <b>検査項目についてレセプトがない者</b>	医療機関受診率 (保健師等の勧奨・指導によって医療機関受診につながった者の割合)	50%	11.80%	-	15.0%	-	18.0%	-	E
			②要再検査・要精密検査レベル(40~59歳) ・最大血圧160-179又は最小血圧100-109 ・HbA1c6.5-7.3 ・LDL-C140-179 ・中性脂肪(空腹時)300以上(後食後時間経過)400以上 ・HbA1c7.4以下 ・AST(GOT)71-99 ・ALT(GPT)61-99 ・γ-GPT11以上 上記のいずれかに該当する者のうち、 <b>検査項目についてレセプトがない者</b>	医療機関受診率 (保健師等の勧奨・指導によって医療機関受診につながった者の割合)	34.50%	40.0%	-	45.0%	-	50.0%	-	E
ハイリスク者の受療勧奨事業(重症化予防)	医療機関への受療が必要な者が適切な検査・治療を受けることができ、生活習慣病の重症化を予防する		⑥-副指標 国保被保険者40歳~74歳のうち ・最大血圧180以上 ・最小血圧110以上 ・LDL-Cコントロール170以上 ・AST(GOT)61以上 ・ALT(GPT)61以上 ・中性脂肪(空腹時)300以上 ・γ-GPT101以上	医療機関受診率 (保健師等の勧奨・指導によって医療機関受診につながった者の割合)	-	-	-	-	-	-	-	D

## 6. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を踏まえて、関係機関と共有するために介護の有病状況を経年的に表示する。

医療保険が中土佐町の国保と後期である介護認定者のみを集計し、レセプトの診断名より重複して計上している。赤色は血管疾患、重症化した疾患として循環器疾患と生活習慣病の基礎疾患を表示している。他、フレイル関連疾患として認知症、筋・骨格疾患、歯肉炎歯周病を表示する。

- ※ 認知症とは ICD10 コードにおける F00:アルツハイマー病の認知症、F01:血管性認知症及び詳細不明の認知症、F02:その他の疾患の認知症、F03:詳細不明の認知症。
- ※ 筋・骨格系とは ICD10 コードにおける M00~99:筋骨格系及び結合組織の疾患であり、M00~25:関節障害、M30~36:全身性結合組織障害、M40~54:脊柱障害、M60~79:軟部組織障害、M80~94:骨障害及び軟骨障害、M95~99:筋骨格系及び結合組織のその他の障害。

循環器疾患に着目すると 75 歳以上の腎不全では平成 29 年から有意に増加しており、全年齢の合計も有意に増加している。

基礎疾患では、75 歳以上の腎症・高血圧・脂質異常症が有意に増加。高血圧・脂質異常症については合計においても有意に増加している。

筋・骨格系においても 75 歳以上・全年齢の合計で有意に増加している。これらの疾患は、若い世代からのアプローチをすることが可能な疾患である。(表 1 3)

表 13

介護認定者の経年有病状況【年齢区分別】

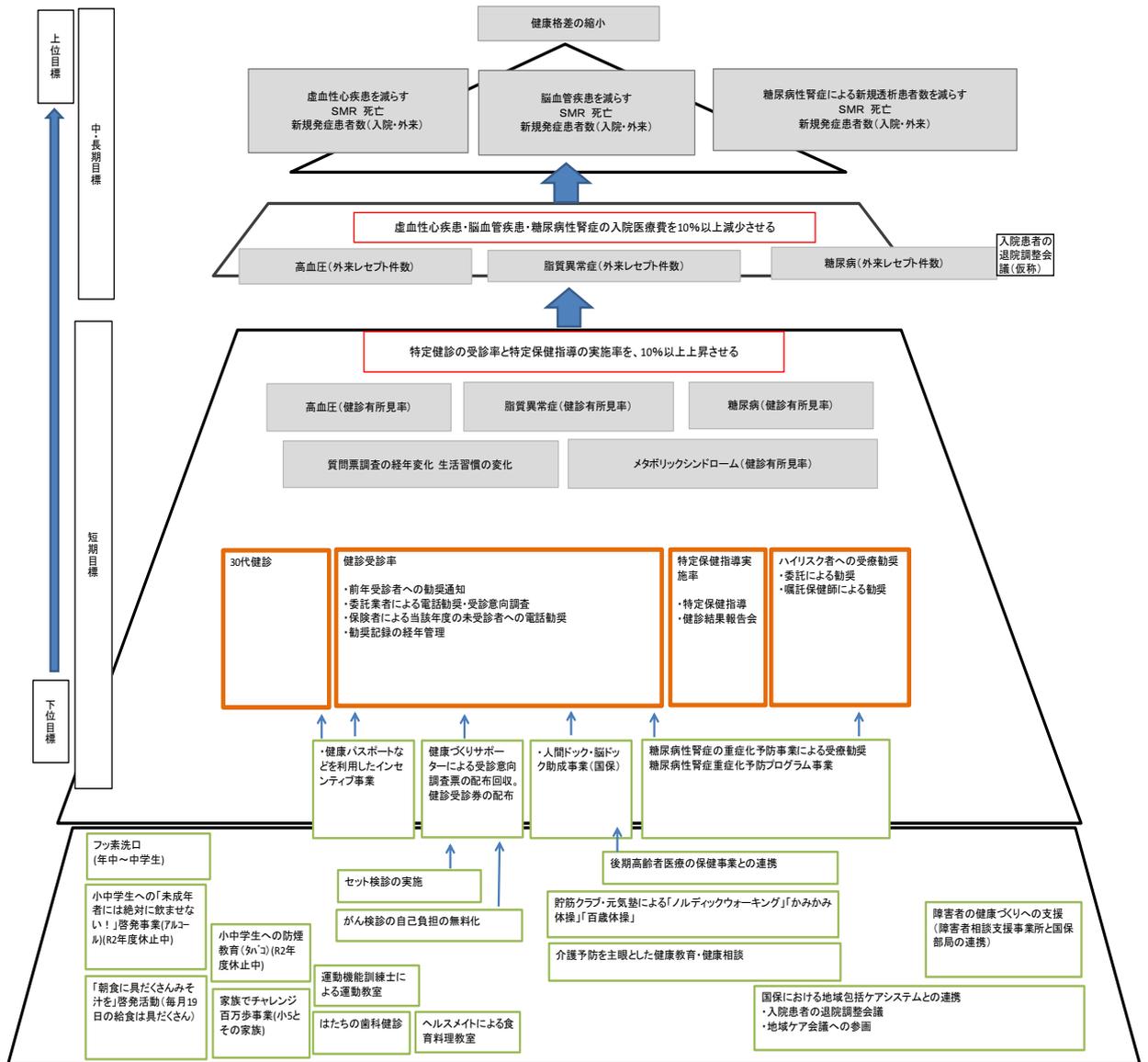
		年 齢		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和1年度		トレンド検定	
				件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	*有意差あり(P値<0.05)	
被保険者数 (国保と後期の各年齢区分被保険者数)	40～64歳			846		729		652		633			
	65～74歳			1,111		1,122		1,088		1,086			
	75歳以上			1,937		1,934		1,933		1,910			
	合 計			3,894		3,785		3,673		3,629			
認定者数	40～64歳			9		6		5		3			
	65～74歳			41		40		43		31			
	75歳以上			573		579		568		563			
	合 計			623		625		616		597			
認定率(認定者数/被保険者数)	40～64歳			1.1%		0.8%		0.8%		0.5%			
	65～74歳			3.7%		3.6%		4.0%		2.9%			
	75歳以上			29.6%		29.9%		29.4%		29.5%			
	合 計			16.0%		16.5%		16.8%		16.5%			
血管疾患 (レセプトの診断名より重複して計上)	循環器疾患	脳血管疾患	40～64歳	7	77.8%	5	83.3%	3	60.0%	2	66.7%	P値(減少)	0.517
			65～74歳	20	48.8%	20	50.0%	19	44.2%	16	51.6%	P値(増加)	0.996
			75歳以上	290	50.6%	290	50.1%	291	51.2%	296	52.6%	P値(増加)	0.454
			合 計	317	50.9%	315	50.4%	313	50.8%	314	52.6%	P値(増加)	0.544
		脳出血	40～64歳	3	33.3%	2	33.3%	2	40.0%	2	66.7%	P値(増加)	0.382
			65～74歳	2	4.9%	5	12.5%	3	7.0%	5	16.1%	P値(増加)	0.996
			75歳以上	39	6.8%	37	6.4%	43	7.6%	46	8.2%	P値(増加)	0.278
			合 計	44	7.1%	44	7.0%	48	7.8%	53	8.9%	P値(増加)	0.201
		脳梗塞	40～64歳	5	55.6%	3	50.0%	2	40.0%	1	33.3%	P値(減少)	0.451
			65～74歳	20	48.8%	19	47.5%	16	37.2%	12	38.7%	P値(減少)	0.252
			75歳以上	271	47.3%	274	47.3%	272	47.9%	278	49.4%	P値(増加)	0.468
			合 計	296	47.5%	296	47.4%	290	47.1%	291	48.7%	P値(増加)	0.711
		虚血性心疾患	40～64歳	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	P値(減少)	0.935
			65～74歳	12	29.3%	8	20.0%	9	20.9%	5	16.1%	P値(減少)	0.208
	75歳以上		167	29.1%	160	27.6%	161	28.3%	163	29.0%	P値(増加)	0.989	
	合 計		179	28.7%	169	27.0%	170	27.6%	168	28.1%	P値(減少)	0.876	
	腎不全	40～64歳	1	11.1%	1	16.7%	1	20.0%	1	33.3%	P値(増加)	0.402	
		65～74歳	10	24.4%	5	12.5%	2	4.7%	5	16.1%	P値(減少)	0.133	
		75歳以上	66	11.5%	65	11.2%	85	15.0%	93	16.5%	P値(増加)	* 0.003	
		合 計	77	12.4%	71	11.4%	88	14.3%	99	16.6%	P値(増加)	* 0.012	
	人工透析	40～64歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
		65～74歳	2	4.9%	1	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	P値(減少)	0.082	
		75歳以上	8	1.4%	6	1.0%	7	1.2%	7	1.2%	P値(増加)	0.899	
		合 計	10	1.6%	7	1.1%	7	1.1%	7	1.2%	P値(減少)	0.521	
	基礎疾患	糖尿病	40～64歳	3	33.3%	2	33.3%	1	20.0%	0	0.0%	P値(減少)	0.269
			65～74歳	27	65.9%	23	57.5%	22	51.2%	17	54.8%	P値(減少)	0.246
			75歳以上	211	36.8%	222	38.3%	230	40.5%	227	40.3%	P値(増加)	0.166
			合 計	241	38.7%	247	39.5%	253	41.1%	244	40.9%	P値(増加)	0.358
腎症		40～64歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
		65～74歳	4	9.8%	3	7.5%	2	4.7%	1	3.2%	P値(減少)	0.214	
		75歳以上	13	2.3%	17	2.9%	22	3.9%	24	4.3%	P値(増加)	* 0.040	
		合 計	17	2.7%	20	3.2%	24	3.9%	25	4.2%	P値(増加)	0.126	
網膜症		40～64歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
		65～74歳	5	12.2%	2	5.0%	1	2.3%	1	3.2%	P値(減少)	0.071	
		75歳以上	20	3.5%	22	3.8%	26	4.6%	29	5.2%	P値(増加)	0.128	
		合 計	25	4.0%	24	3.8%	27	4.4%	30	5.0%	P値(増加)	0.333	
神経障害		40～64歳	1	11.1%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	P値(減少)	0.423	
		65～74歳	2	4.9%	13	2.5%	1	2.3%	1	3.2%	P値(減少)	0.656	
	75歳以上	14	2.4%	13	2.2%	14	2.5%	9	1.6%	P値(減少)	0.401		
	合 計	17	2.7%	15	2.4%	15	2.4%	10	1.7%	P値(減少)	0.254		
高血圧	40～64歳	5	55.6%	3	50.0%	3	60.0%	2	66.7%	P値(増加)	0.736		
	65～74歳	32	78.0%	32	80.0%	31	72.1%	25	80.6%	P値(減少)	0.923		
	75歳以上	483	84.3%	483	83.4%	492	86.6%	495	87.9%	P値(増加)	* 0.033		
	合 計	520	83.5%	518	82.9%	526	85.4%	522	87.4%	P値(増加)	* 0.027		
脂質異常症	40～64歳	5	55.6%	4	66.7%	3	60.0%	1	33.3%	P値(減少)	0.661		
	65～74歳	24	58.5%	22	55.0%	23	53.5%	19	61.3%	P値(増加)	0.921		
	75歳以上	306	53.4%	321	55.4%	332	58.5%	340	60.4%	P値(増加)	* 0.010		
	合 計	335	53.8%	347	55.5%	358	58.1%	360	60.3%	P値(増加)	* 0.013		
高尿酸血症	40～64歳	3	33.3%	2	33.3%	2	40.0%	2	66.7%	P値(増加)	0.382		
	65～74歳	9	22.0%	11	27.5%	8	18.6%	7	22.6%	P値(減少)	0.797		
	75歳以上	116	20.2%	120	20.7%	123	21.7%	129	22.9%	P値(増加)	0.246		
	合 計	128	20.5%	133	21.3%	133	21.6%	138	23.1%	P値(増加)	0.284		
血管疾患合計	40～64歳	8	88.9%	5	83.3%	4	80.0%	2	66.7%	P値(減少)	0.402		
	65～74歳	41	100.0%	39	97.5%	39	90.7%	29	93.5%	P値(減少)	0.069		
	75歳以上	542	94.6%	543	93.8%	543	95.6%	536	95.2%	P値(増加)	0.379		
	合 計	591	94.9%	587	93.9%	586	95.1%	567	95.0%	P値(増加)	0.704		
認知症	40～64歳	1	11.1%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	P値(減少)	0.423		
	65～74歳	12	29.3%	11	27.5%	12	27.9%	5	16.1%	P値(減少)	0.271		
	75歳以上	278	48.5%	289	49.9%	280	49.3%	295	52.4%	P値(増加)	0.241		
	合 計	291	46.7%	301	48.2%	292	47.4%	300	50.3%	P値(増加)	0.279		
筋・骨格疾患	40～64歳	8	88.9%	6	100.0%	4	80.0%	3	100.0%	P値(増加)	0.905		
	65～74歳	35	85.4%	33	82.5%	33	76.7%	25	80.6%	P値(減少)	0.445		
	75歳以上	519	90.6%	531	91.7%	529	93.1%	531	94.3%	P値(増加)	* 0.011		
	合 計	562	90.2%	570	91.2%	566	91.9%	559	93.6%	P値(増加)	* 0.028		
肉肉炎歯周病	40～64歳	3	33.3%	2	33.3%	2	40.0%	0	0.0%	P値(減少)	0.501		
	65～74歳	19	46.3%	19	47.5%	18	41.9%	17	54.8%	P値(増加)	0.672		
	75歳以上	140	24.4%	157	27.1%	179	31.5%	200	35.5%	P値(増加)	* 0.000		
	合 計	162	26.0%	178	28.5%	199	32.3%	217	36.3%	P値(増加)	* 0.000		

\*医療保険が〇〇市の国保又は後期である介護認定者のみ集計

## 7. 事業体系図・他事業との連動（様式2）の加筆修正

国保保健事業以外の中土佐町の他事業との連動を体系図として示す。庁内や関係機関・団体との連携を強化・共通認識を持つための資料とする。

データヘルズ計画から上位目標を達成するために下位目標の確認

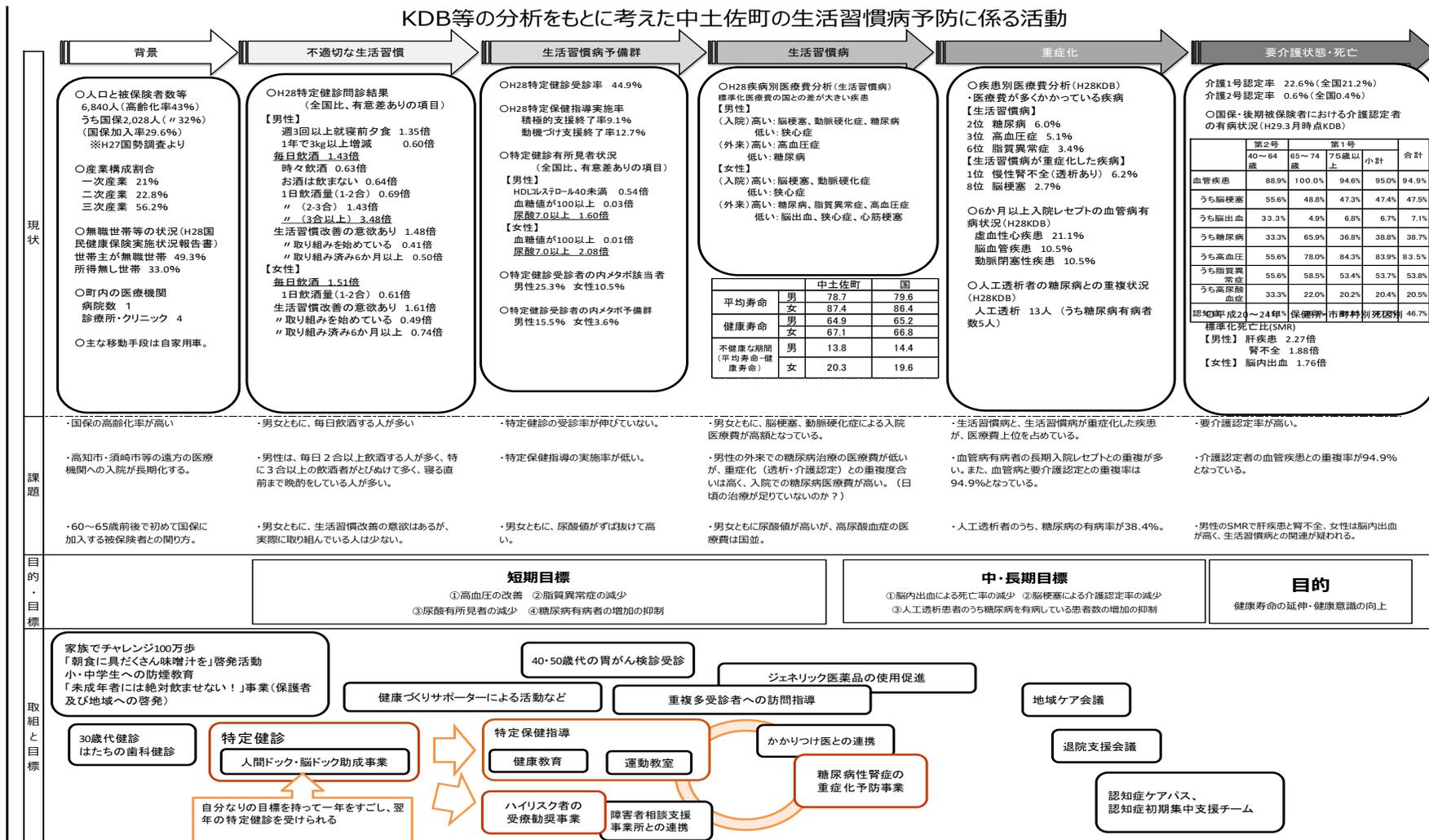


## 8. 中間評価の結果をふまえた課題整理

進捗管理・中間評価の結果をふまえた課題と対策について下記の一覧に示す。

課題	対策
<p>血圧が高い傾向にあり、内出血の患者数も増加してはいないが減少する傾向に無い。</p>	<p>要因を調査し、把握することおよび若い世代から特定健診を受けてもらう等、より健康意識を高める保健指導を行う仕組みを作っていく。</p>
<p>中・長期目標である標準化死亡比(SMR)による「脳内出血」の国に対する有意差の値を確かめることができなくなった。</p>	<p>副指標として脳出血新規患者数を設定する。</p>
<p>個別保健事業のハイリスク者の受療勧奨事業(重症化予防)の対象者を選定する自庁システムが機能しなくなることと、マンパワー不足により、当初の要医療レベルと要再検査・用精密検査レベルを分けて保健指導するということが出来なくなった。</p>	<p>令和2年度より新たな基準を設けて、より重症な方に絞って保健指導を行う。</p>
<p>より若い世代から特定健診を受けてもらい、健康意識の向上につなげる必要がある。</p>	<p>平成30年度から個別保健事業の30歳代健診の対象者を20歳代まで広げる。</p>

## 9. 国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）第2期中間見直しにおける概要図



10. 計画全体についての中間評価(R02.10.5 現在の案)

ストラクチャー	プロセス	アウトプット	アウトカム
<p>毎年度、国保部門、健康増進部門で目標に向かっての全体の事業体の確認(P54.8 事業体系図・他事業との連動(様式 2))を行い、必要な事業予算や人員配置などの確保を毎年行えた。</p> <p>特に健康づくりの第一歩であり、優先順位の高い受診勧奨事業においては、平成 30 年度から職員による電話勧奨及び外部委託に力を入れた結果、2.55 ポイント伸びたことから、引き続き予算確保を行い委託継続していく。</p>	<p>計画作成における健診・医療・介護データの集計については、KDB データを活用し、関係機関や事業担当者間で経年結果(P48.5 指標の経年データ(様式 1)と判定)を確認、要因分析(P55.7 中間評価の結果をふまえた課題整理)を行い、今後の対策として既存事業の見直しを行った。</p>	<p>計画策定時の個別保健事業は全て実施できており、中間表・最終評価を行い、目標まで達成したかのどうかの確認を行っている。</p> <p>平成 30 年度より糖尿病性腎症重症化予防プログラムが追加されたため、既存の生活習慣病重症化予防事業を見直し、対象者抽出方法を再設定し実施した。</p> <p>(P48.5 指標の経年データ(様式 1)と判定 個別保健事業の実施計画の経年結果より)</p>	<p>計画策定時の注・長期目標の経年経過を確認すると、脳内出血による死亡率の減少については、標準化死亡比(SMR)による「脳内出血」の国に対する有意差の数値が確認できなくなったので、副指標として脳出血新規患者数を設定する。患者数については横ばいである。</p> <p>脳梗塞による介護認定率の減少について、介護第 1 号・2 号被保険者において、減少し、目標を達成した。引き続き、健診受診と医療機関受診への勧奨を実施し、認定率を下げしていく。</p> <p>工透析導入患者のうち糖尿病を有病している患者数の増加の抑制については、患者数は横ばいである。</p> <p>(P28.5 指標の経年データ(様式 1)と判定 中・長期目標の経年結果より)</p>